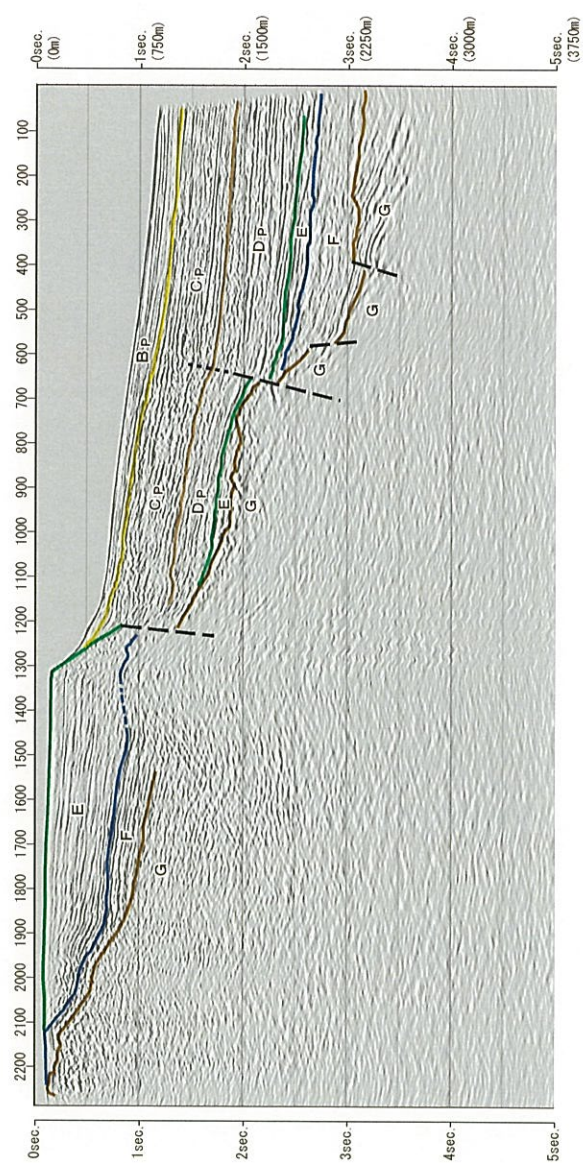
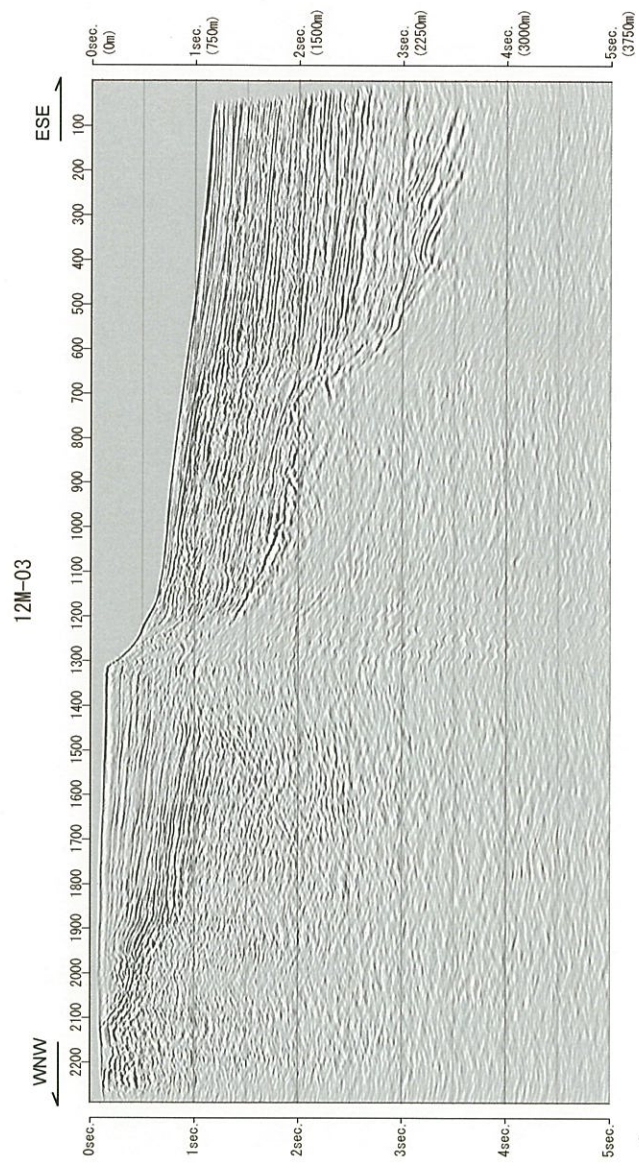
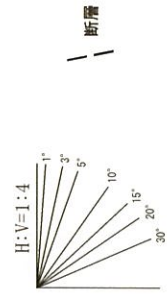
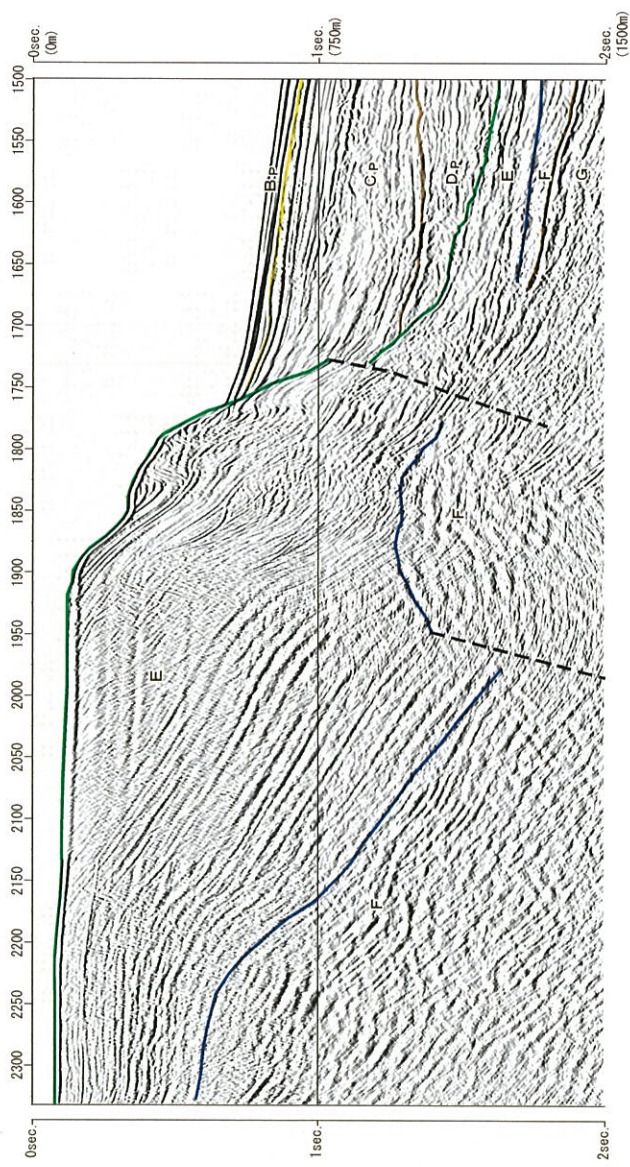
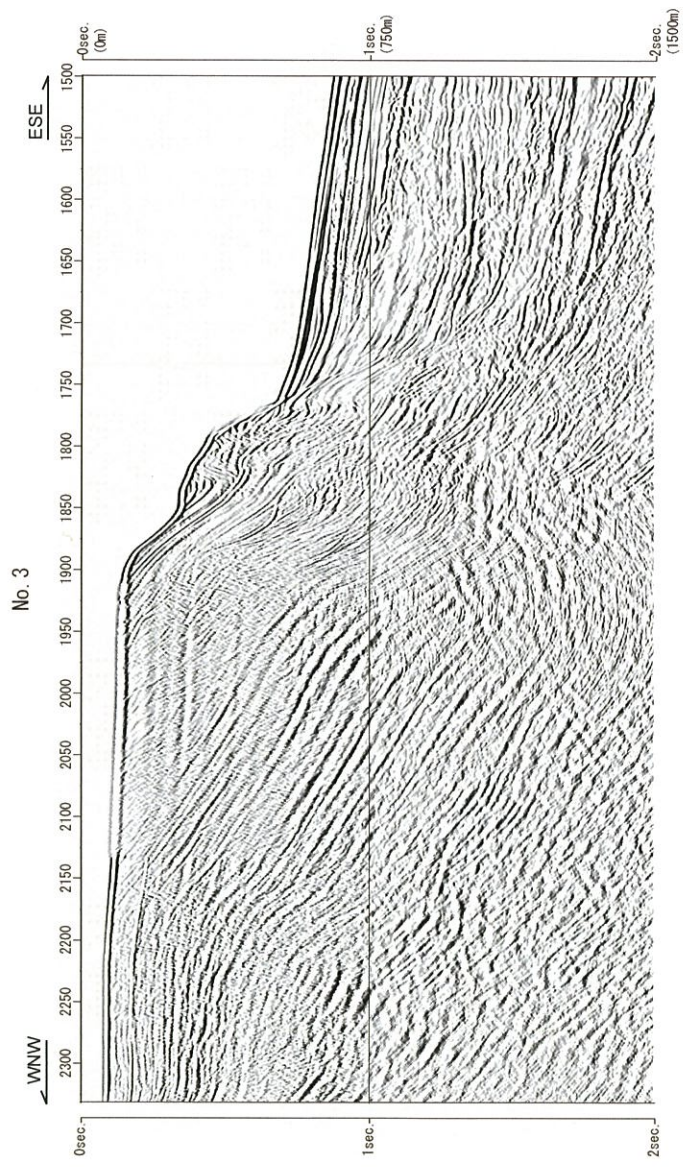


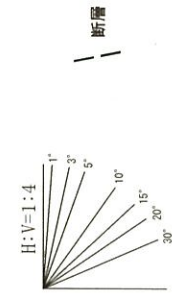
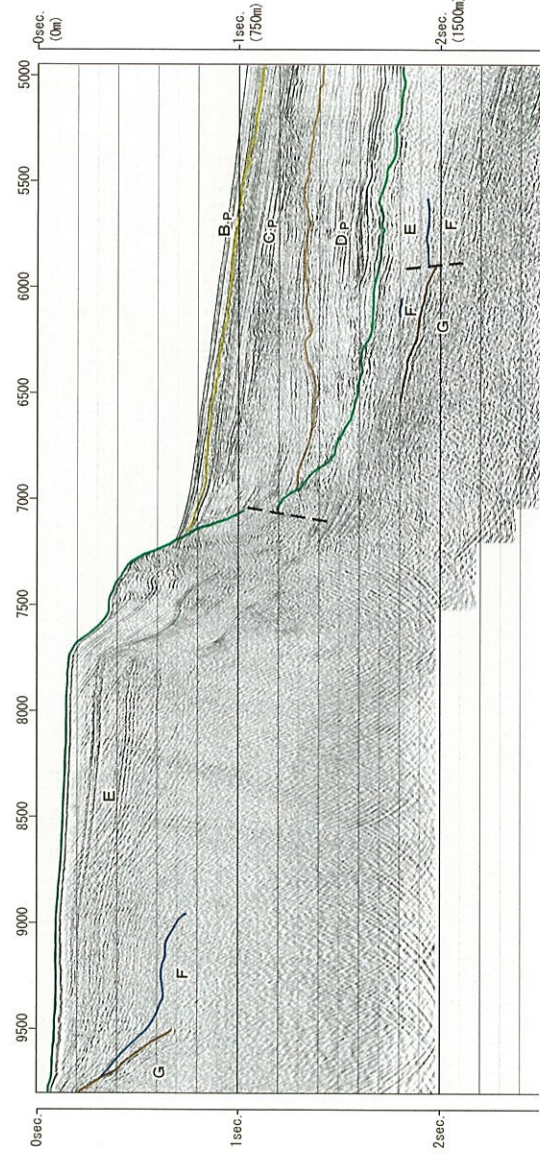
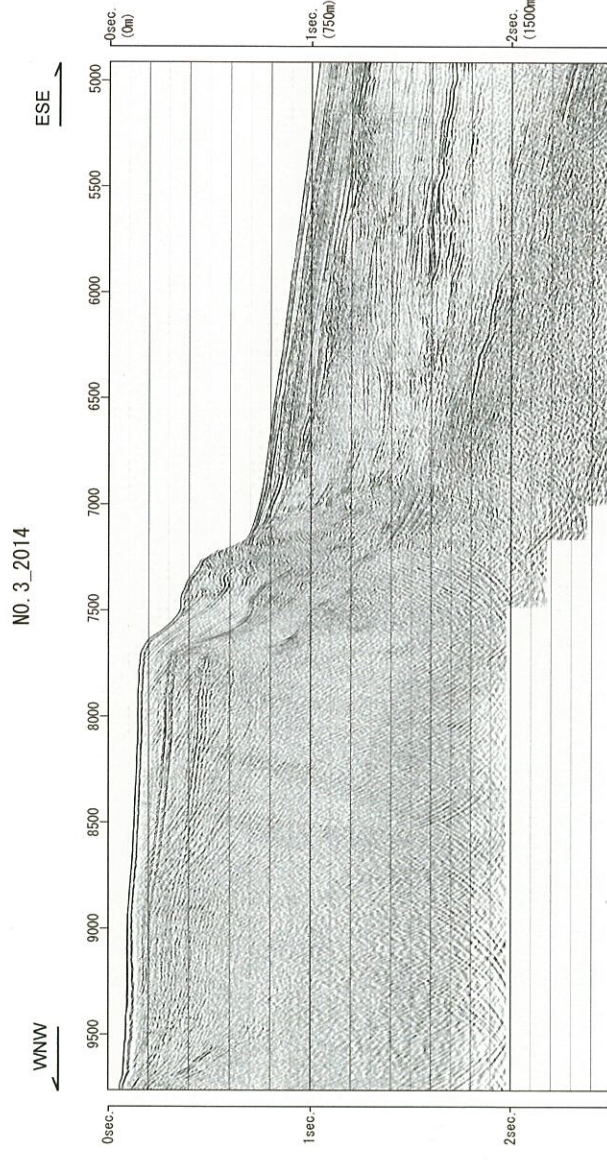
第4.2-129図(3) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 4測線)



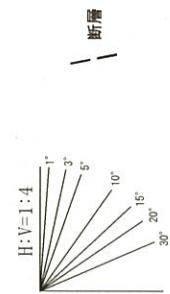
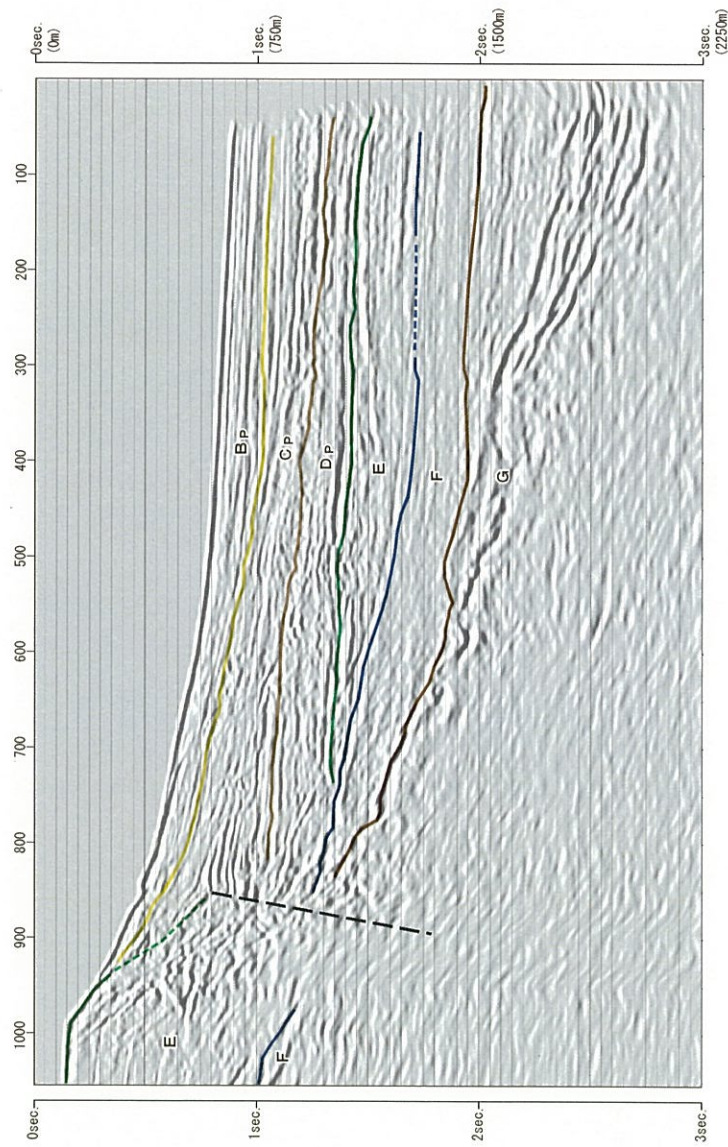
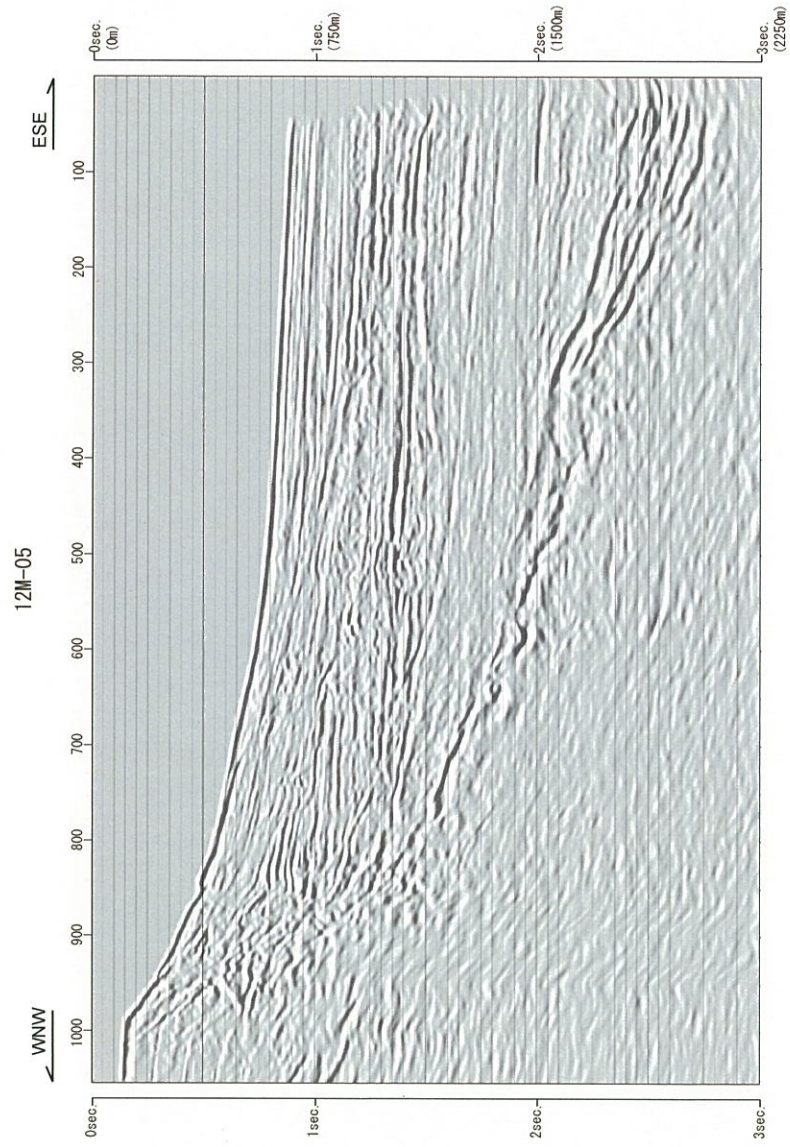




第4.2-129図(6) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3測線)



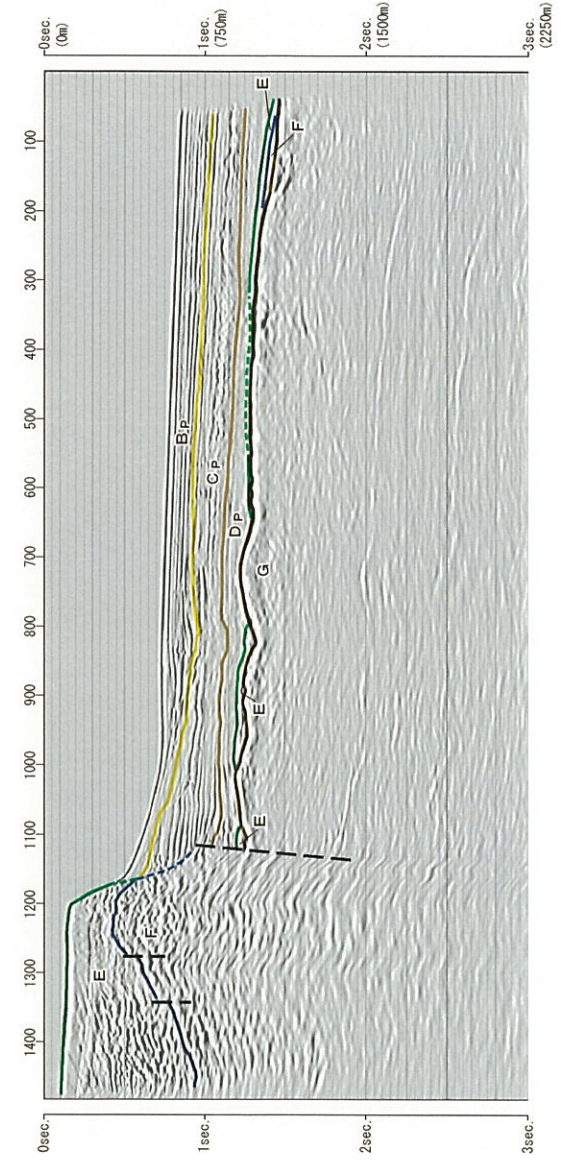
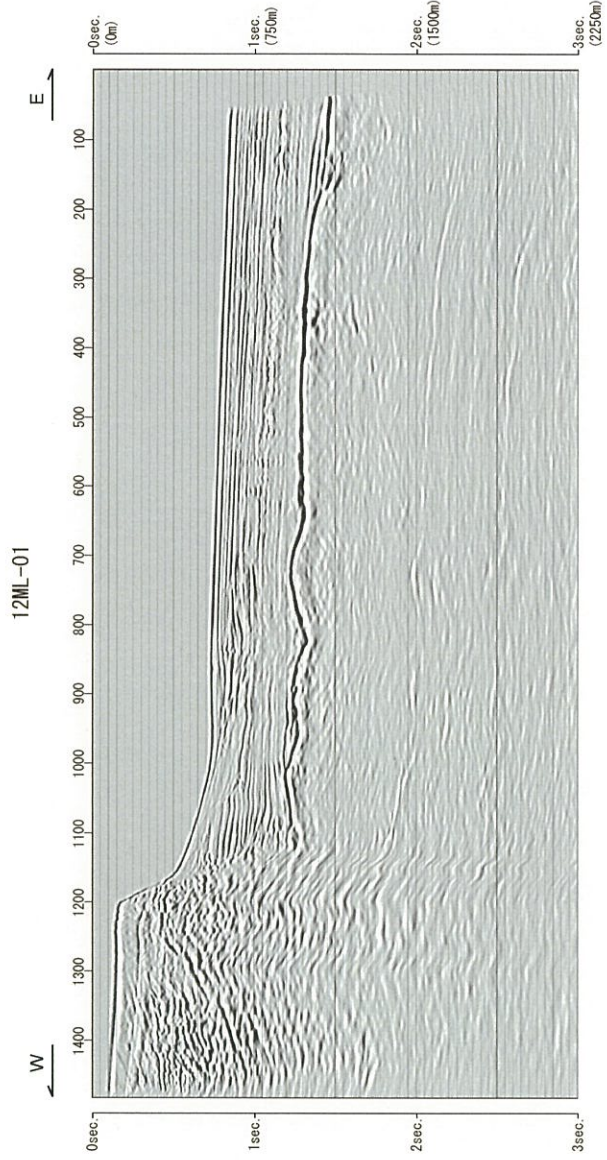
第4.2-129図(7) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3\_2014測線)



第4.2-129図(8) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-05測線)

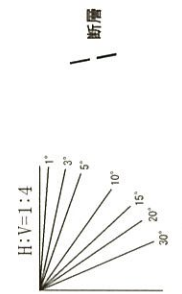
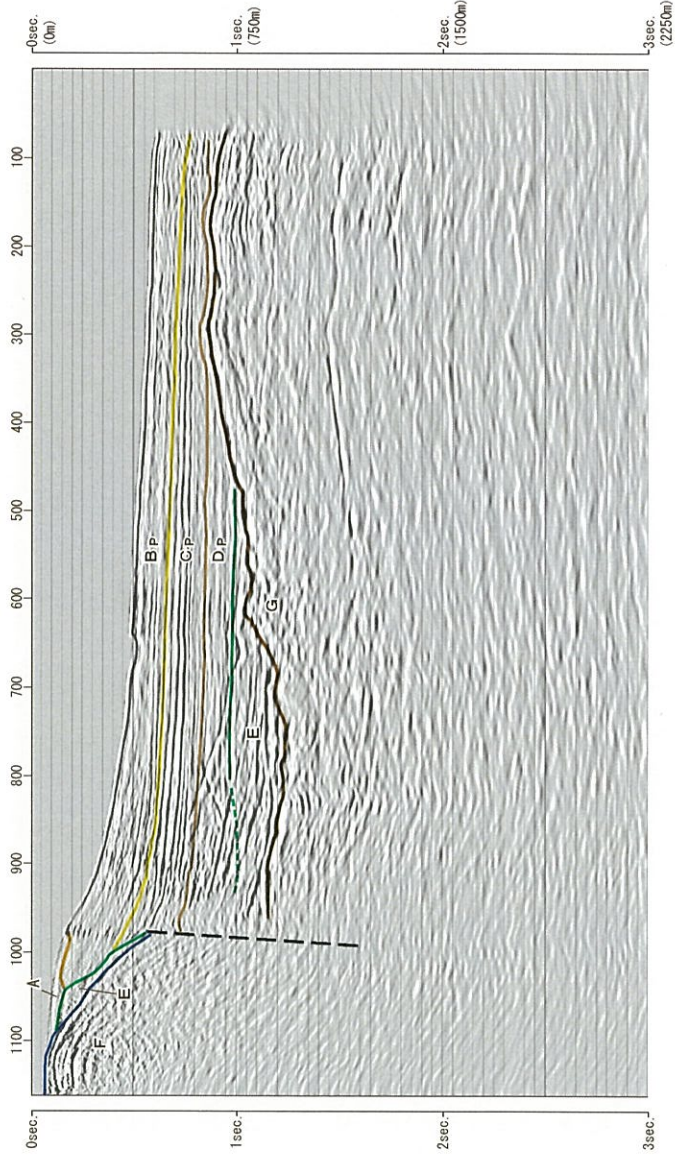
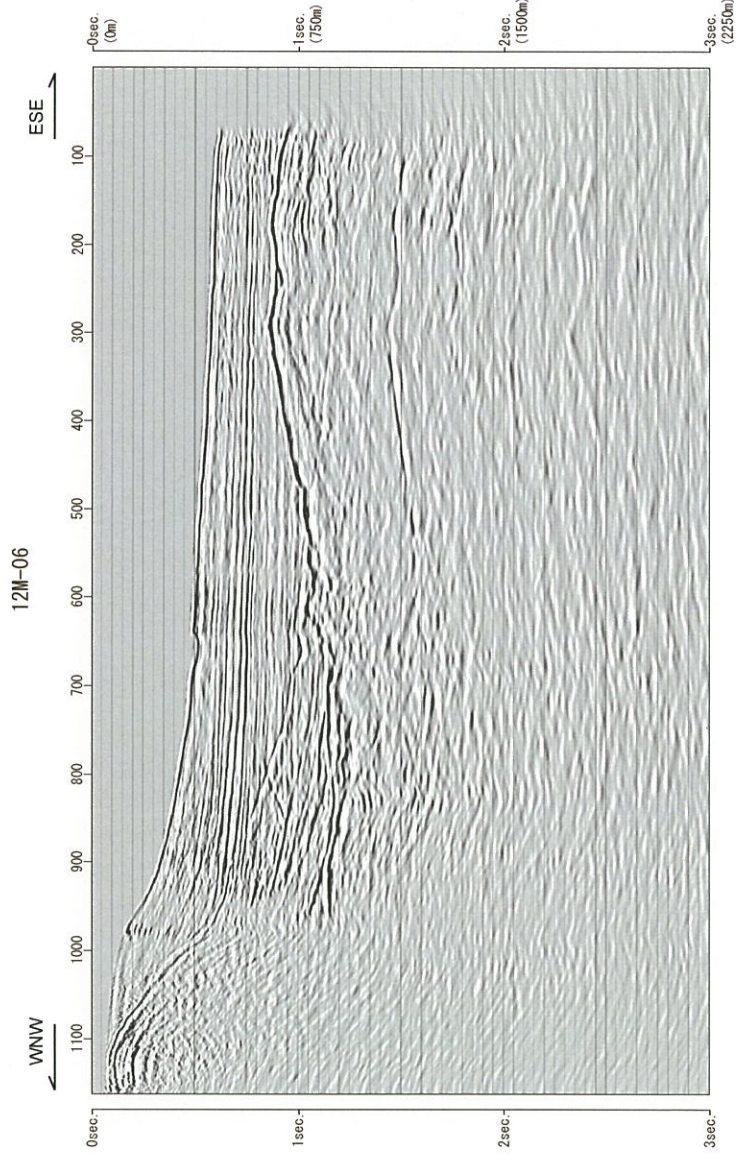




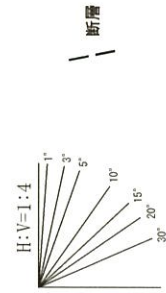
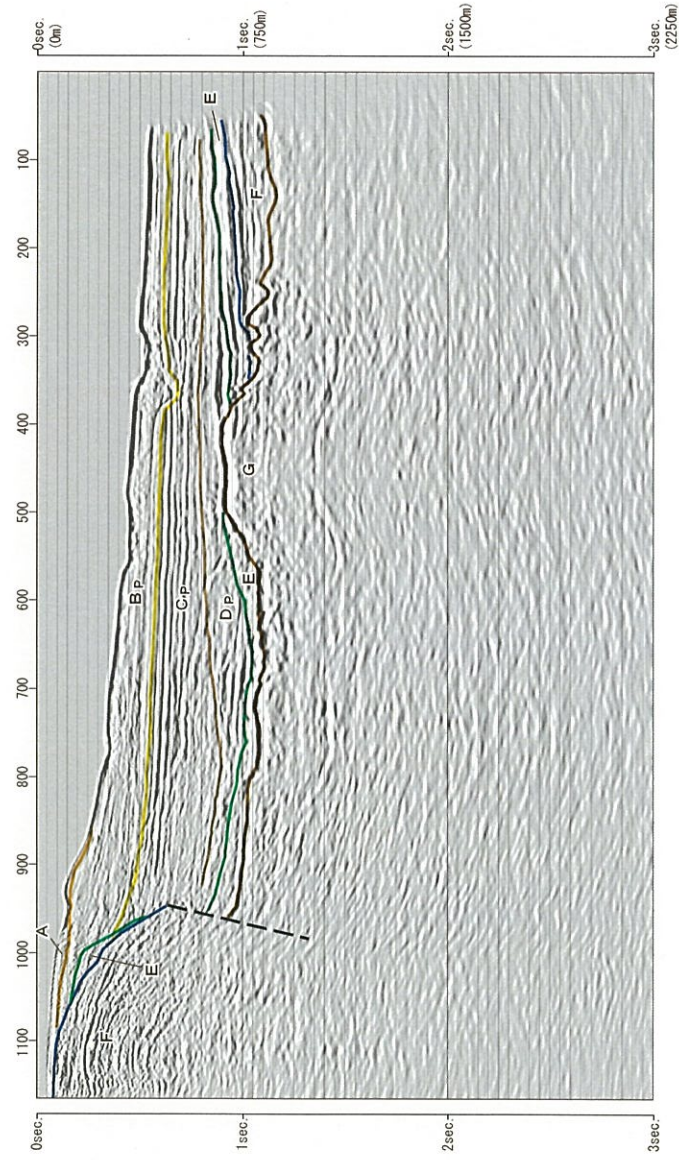
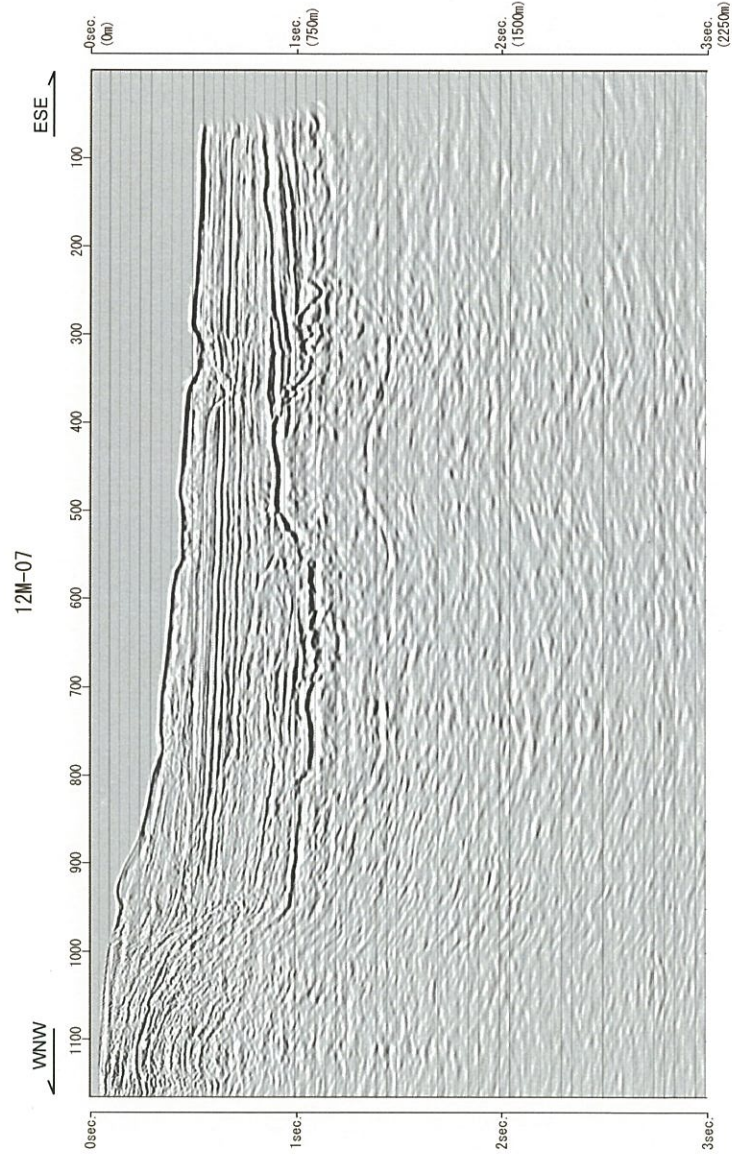


第4.2-129図(10) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01測線)

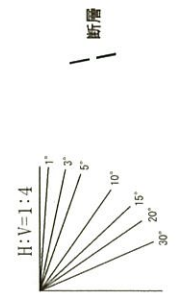
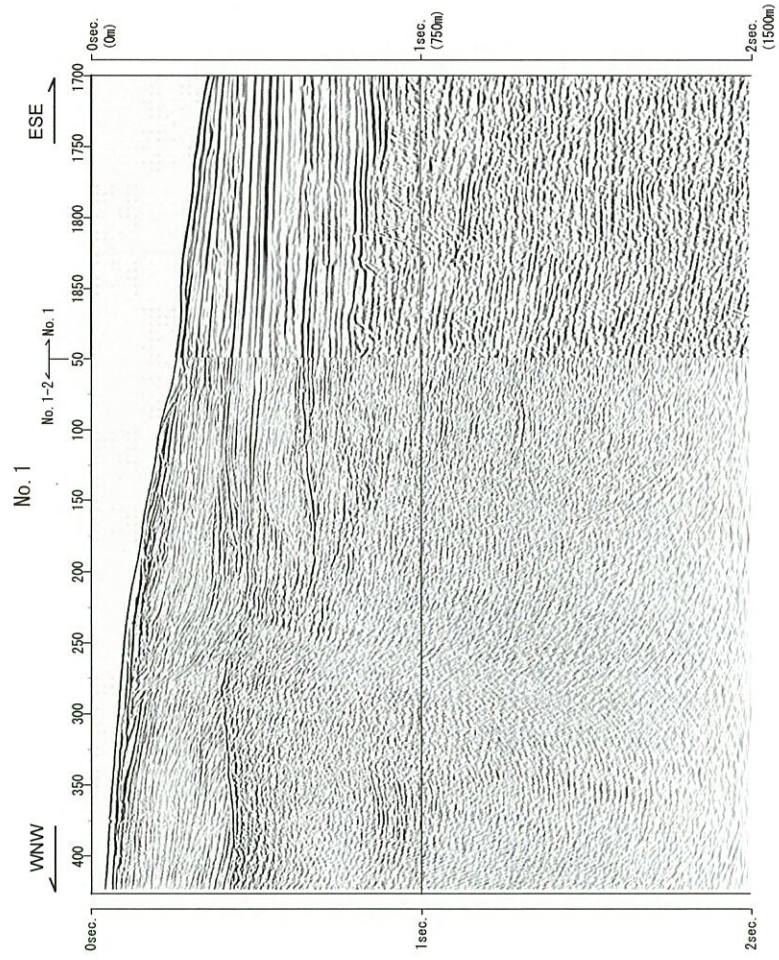




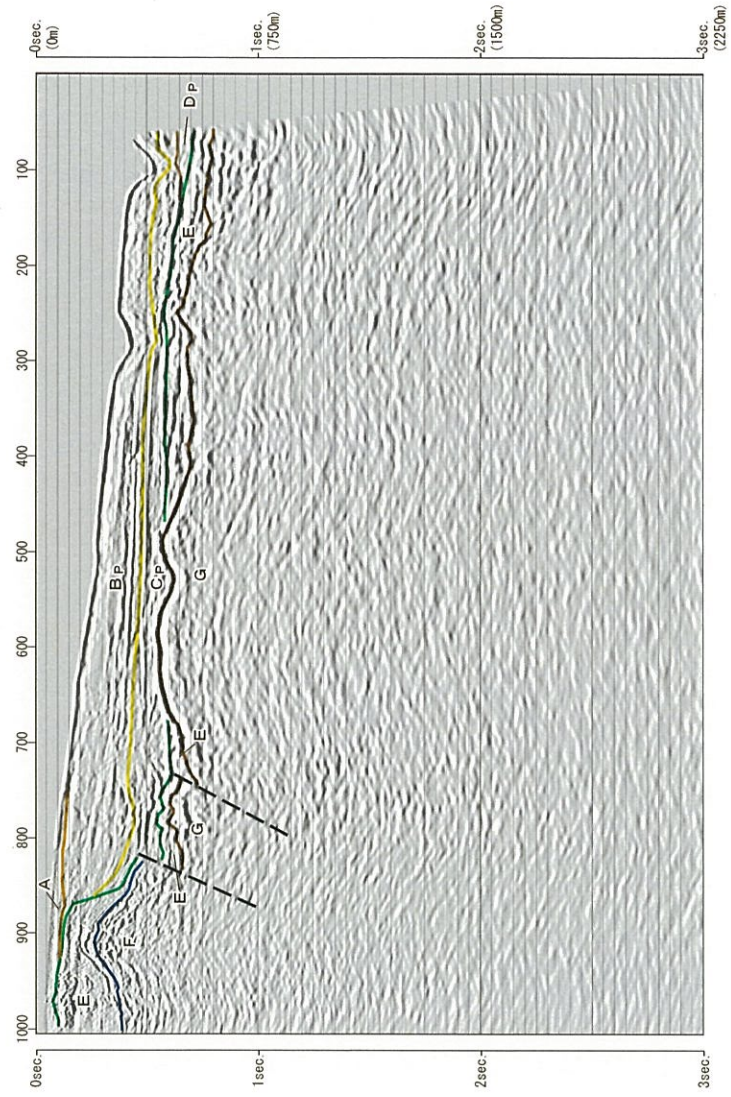
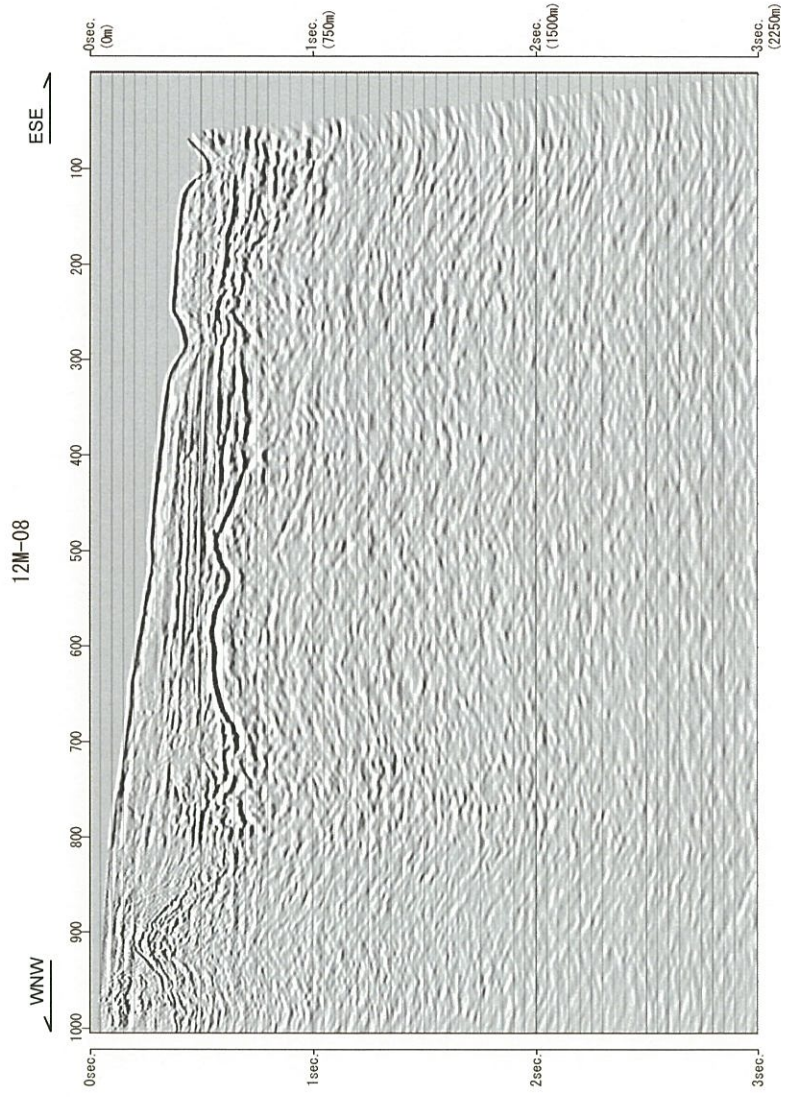
第4.2-129図(12) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-06測線)



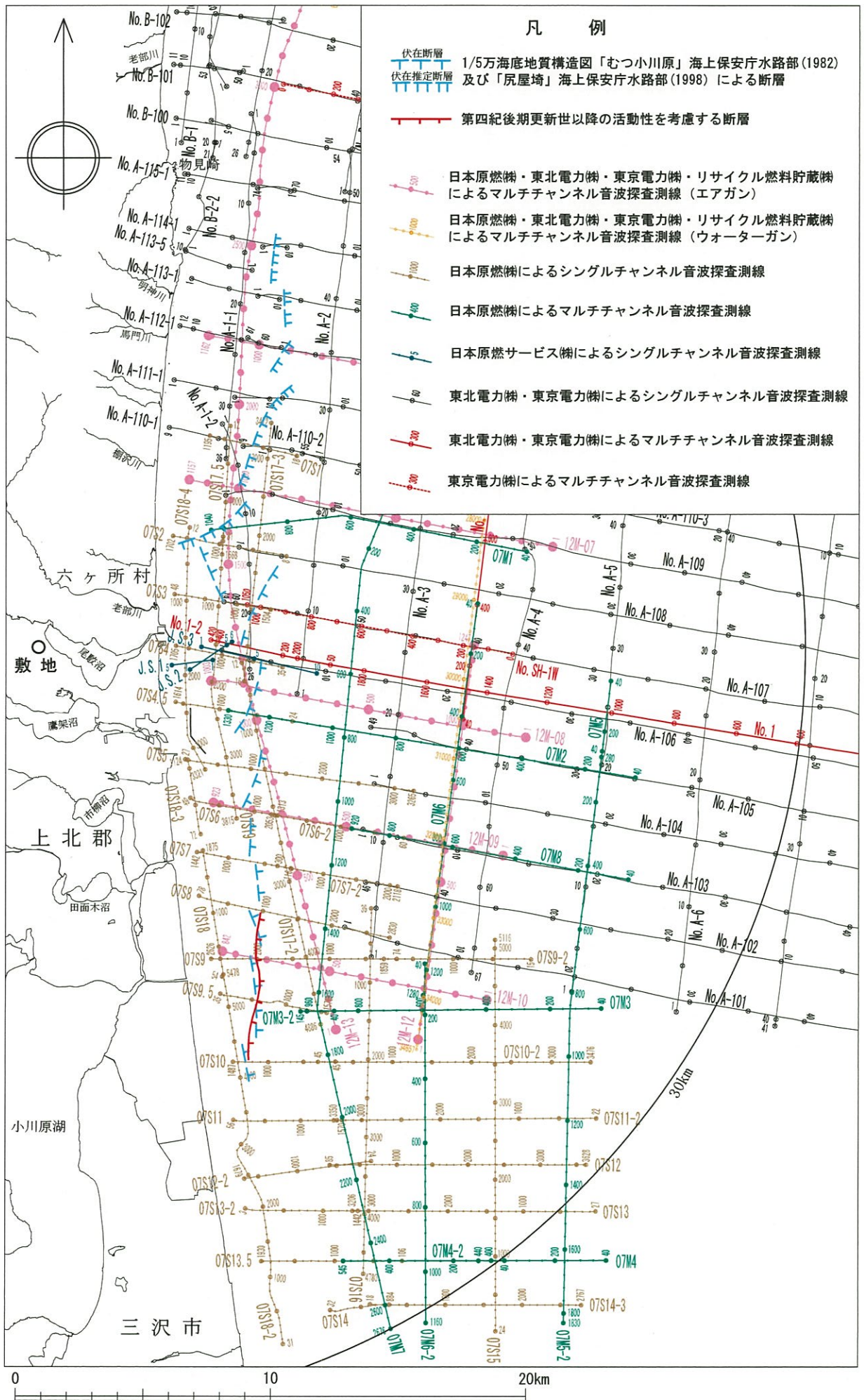
第4.2-129図(13) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-07測線)



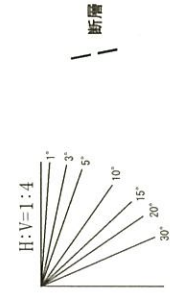
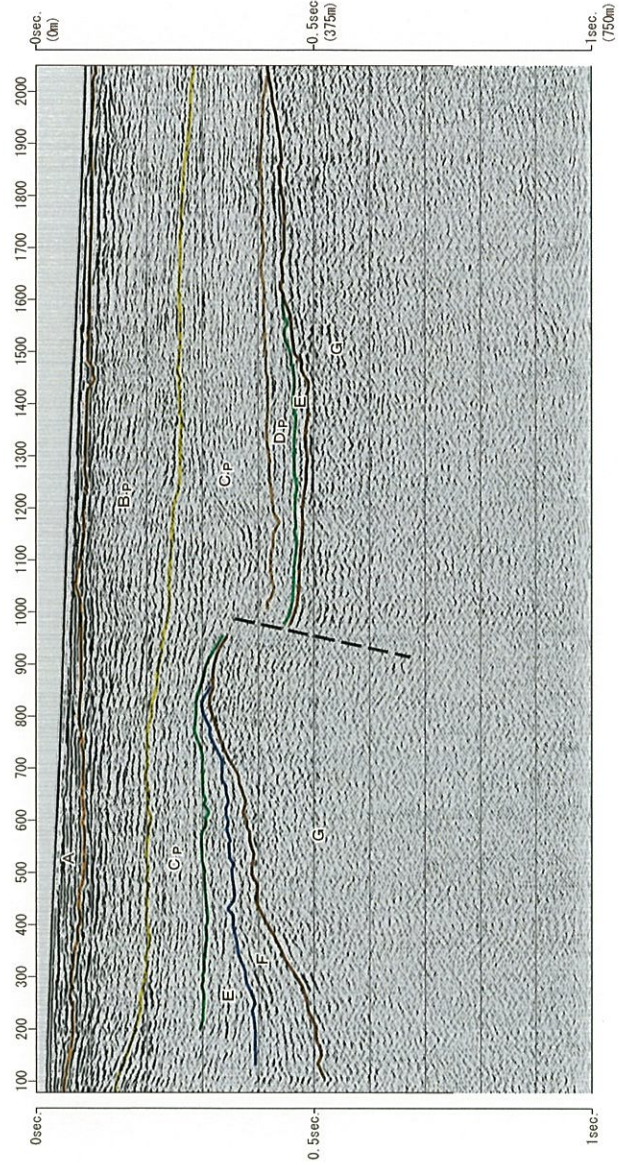
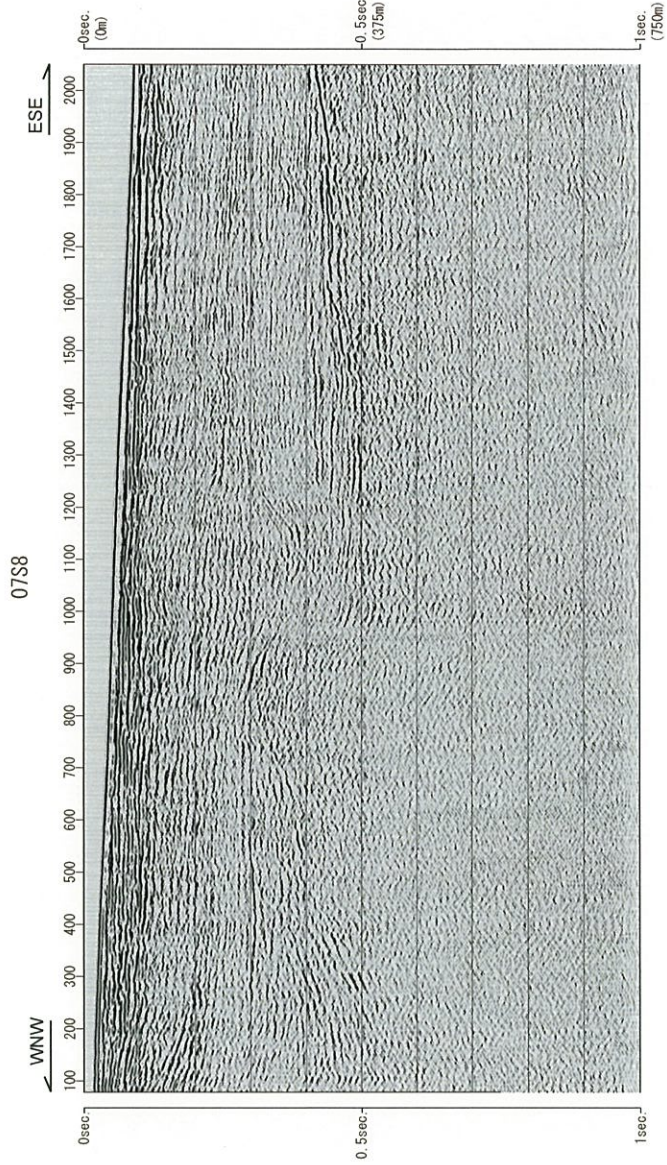
第4.2-129図(14) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 1測線)



第4.2-129図(15) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-08測線)

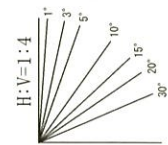
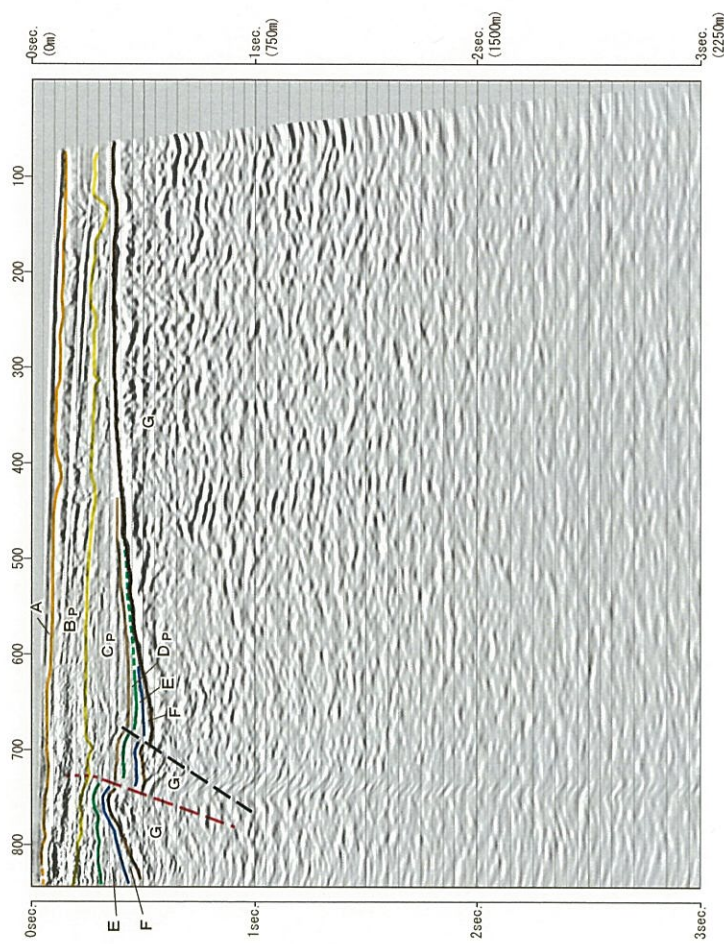
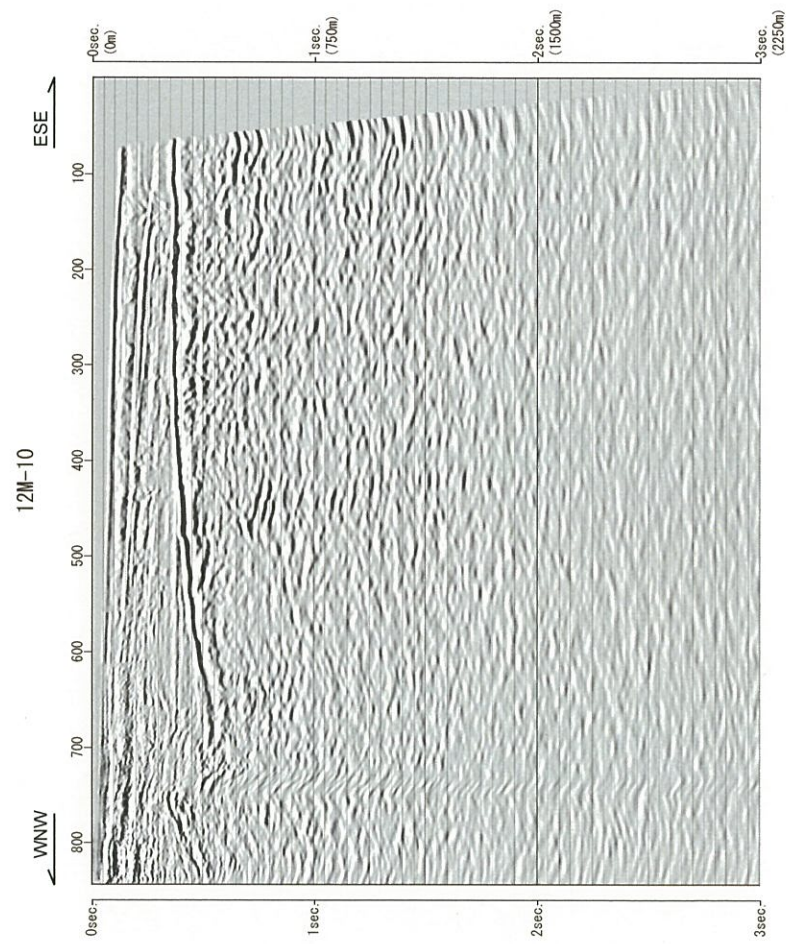


第4.2-130図 F-d断層位置図



第4.2-131図(1) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S8測線)

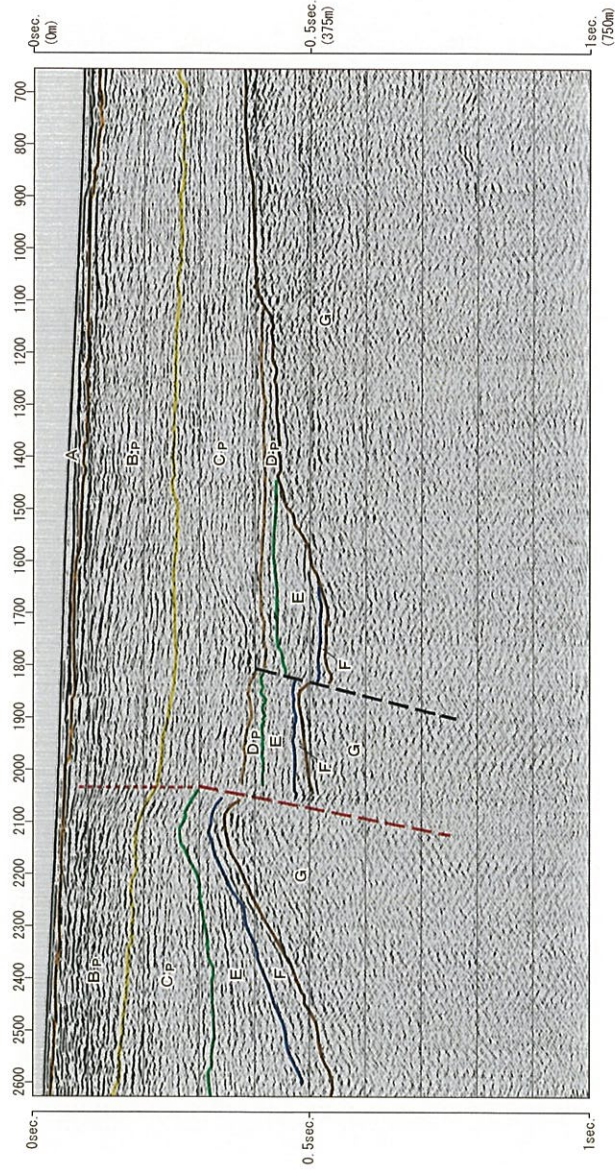
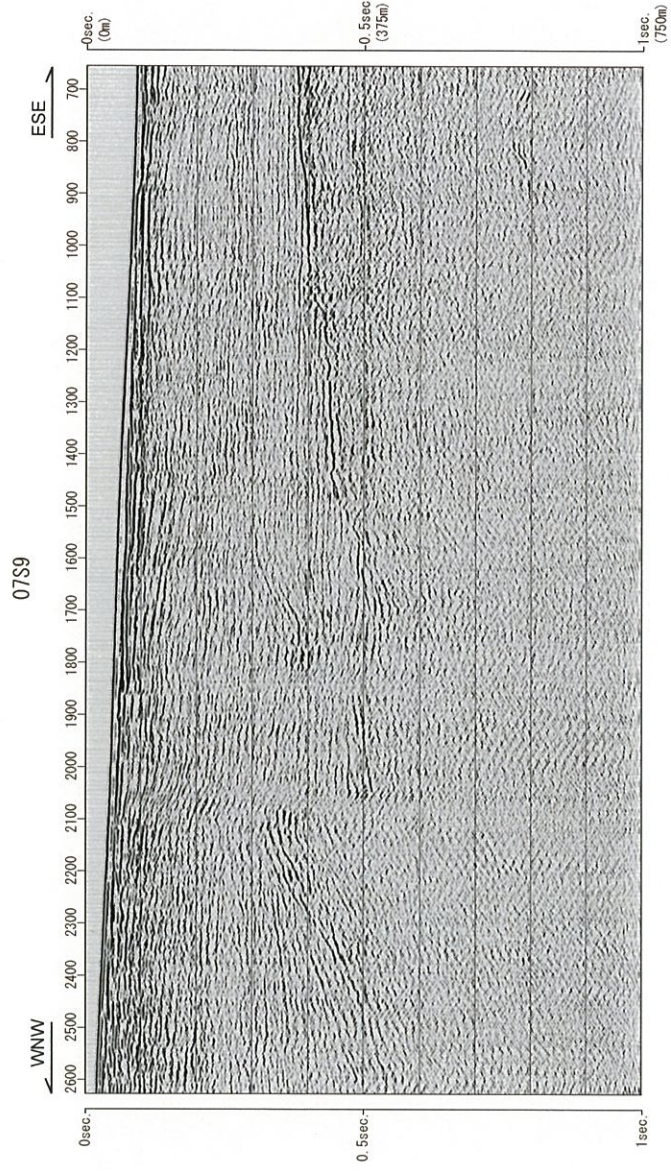


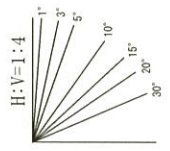
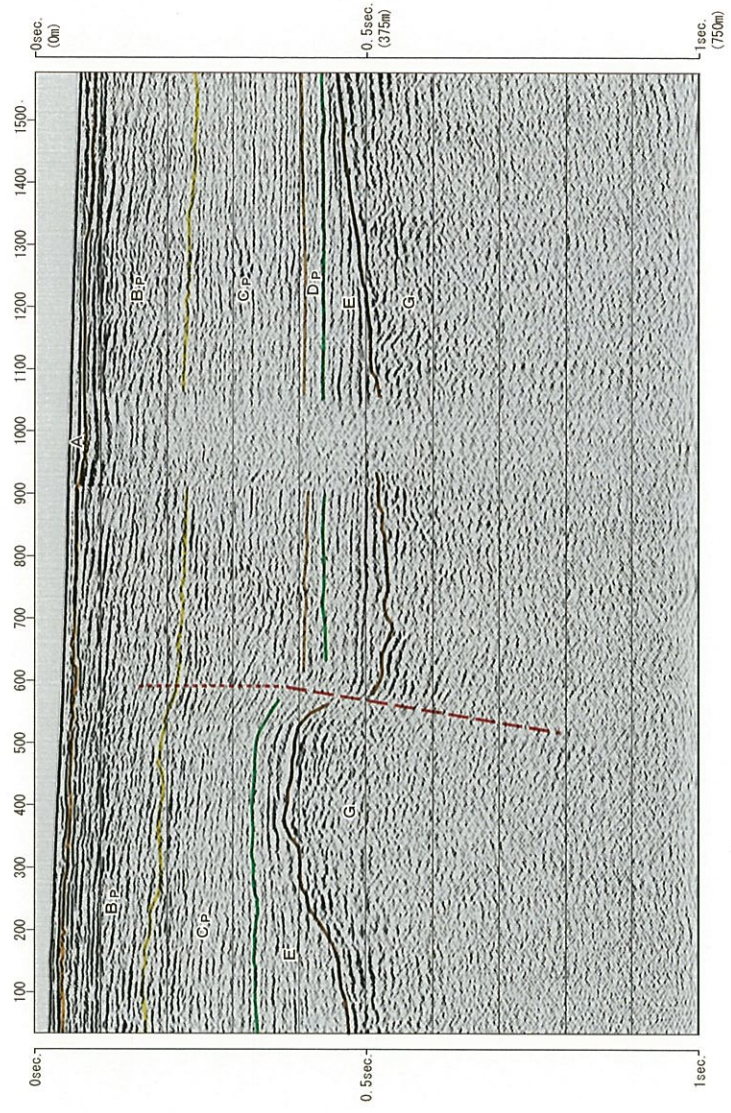
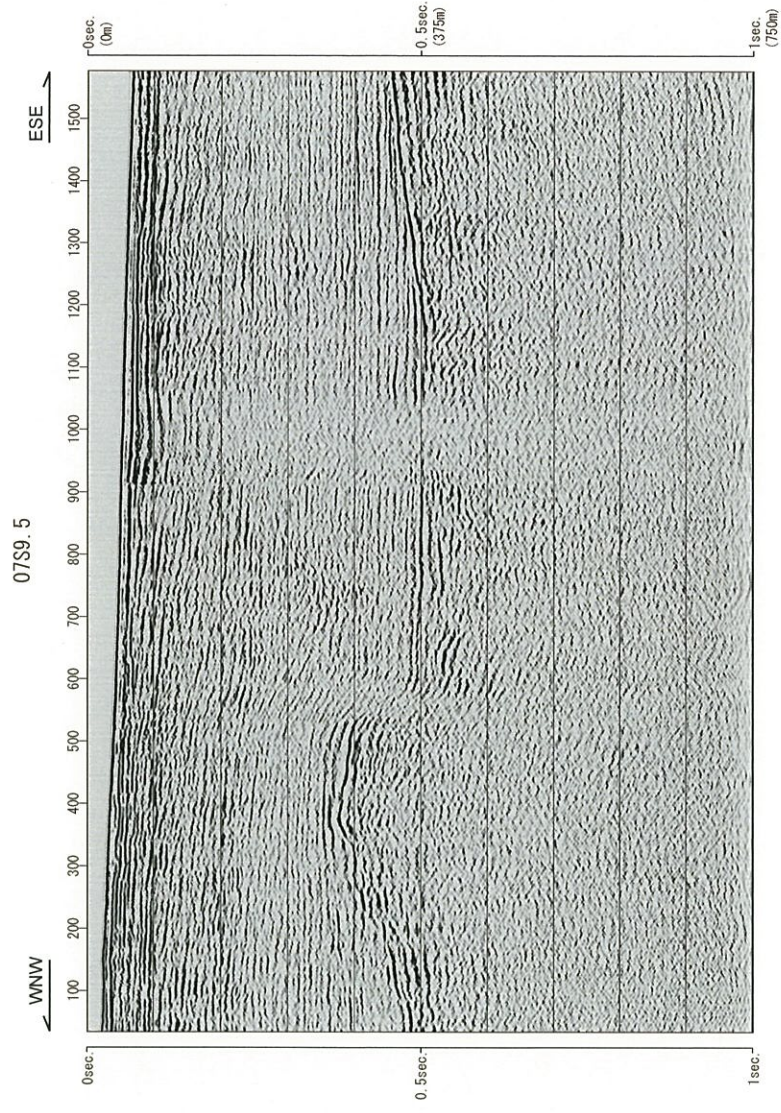


断層 構造  
—— 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第4.2-131図(2) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図(12M-10測線)

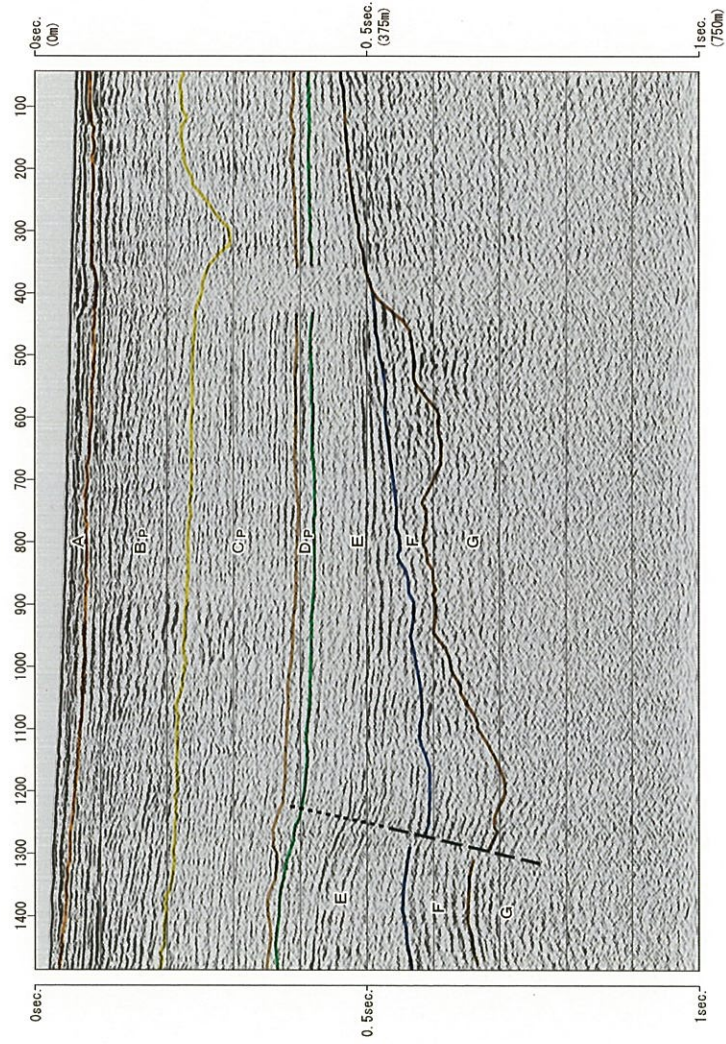
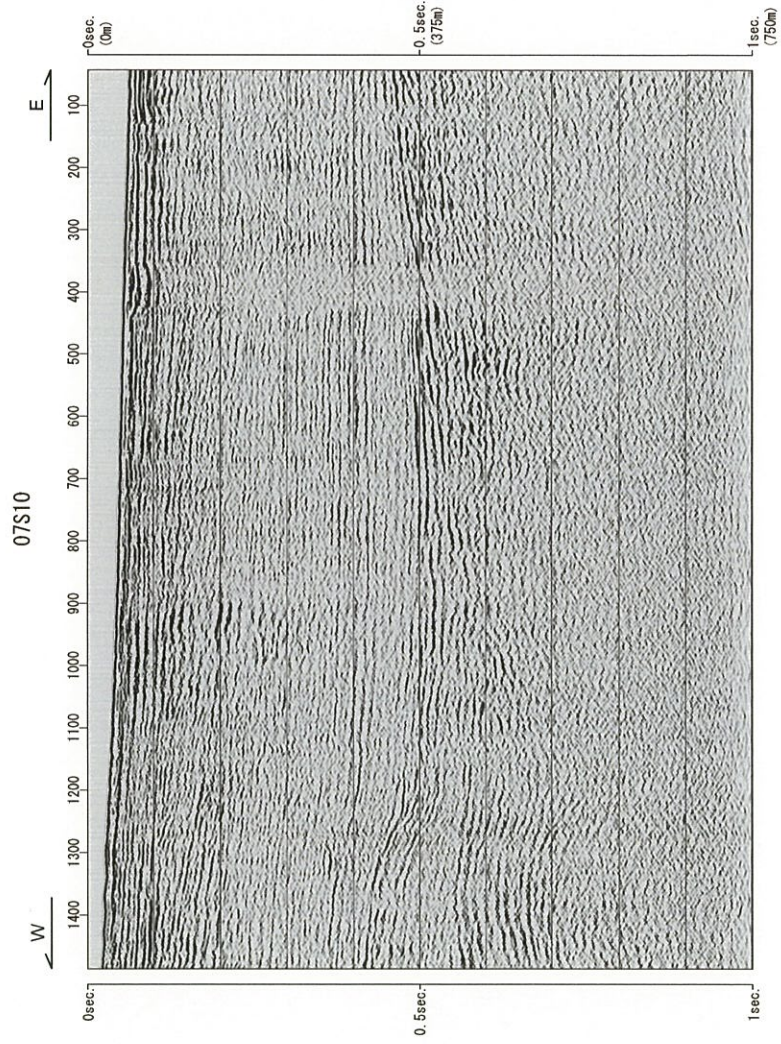




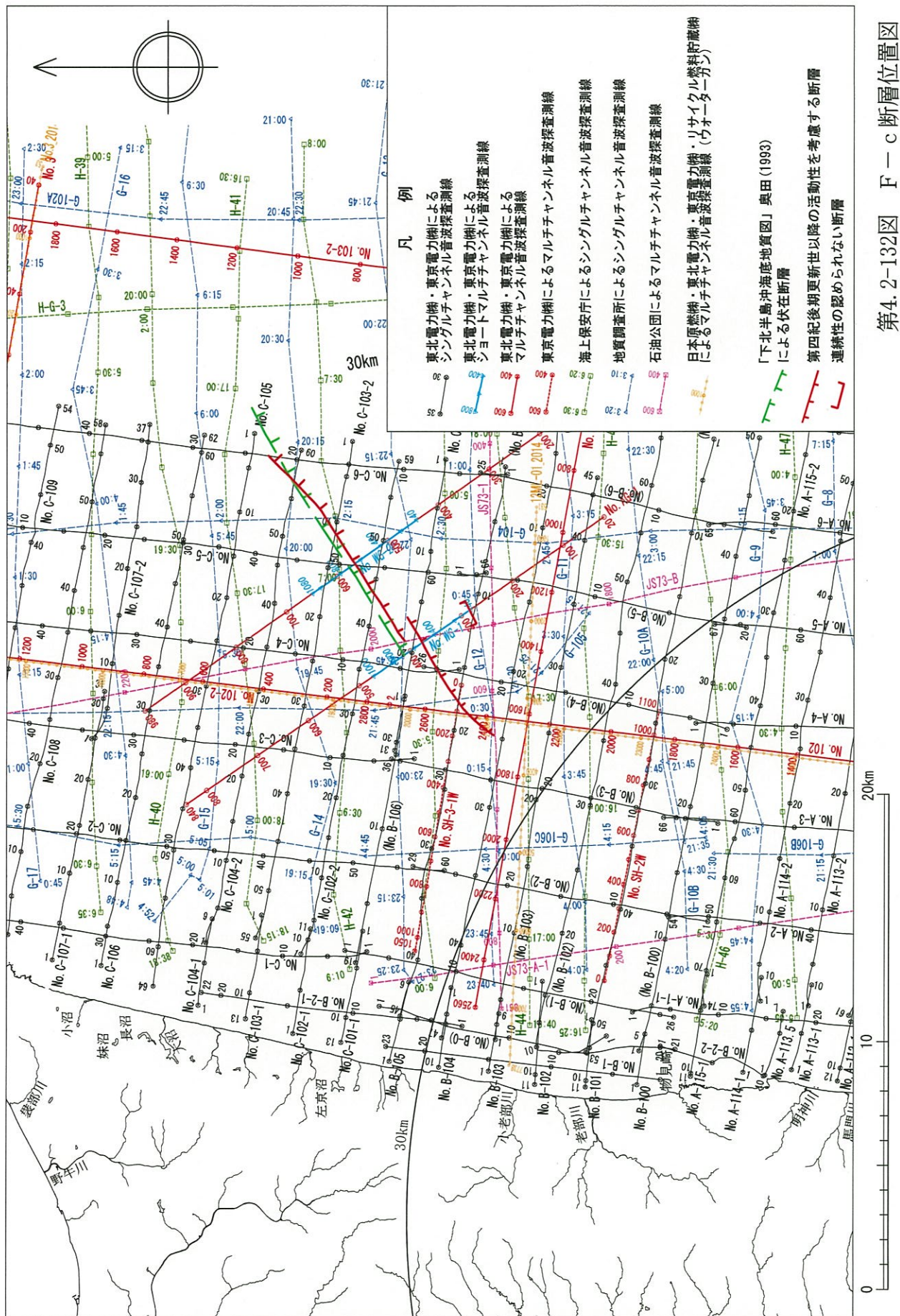
断層 拗曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に亘り、変形が認められるもの

第4.2-131図(4) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S9.5測線)

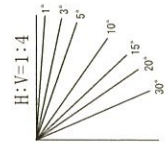
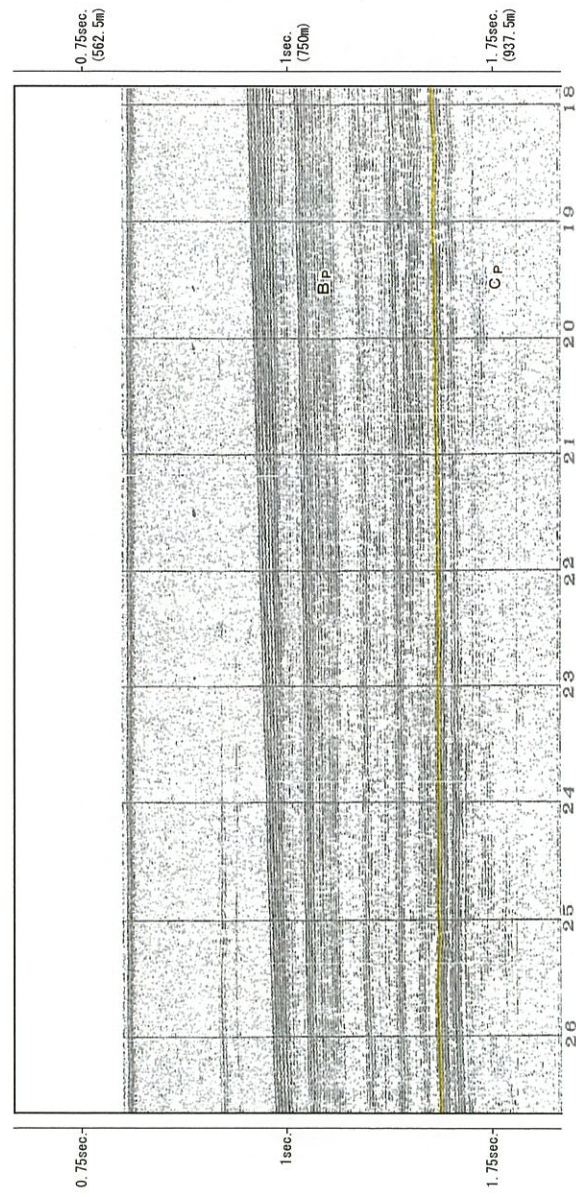
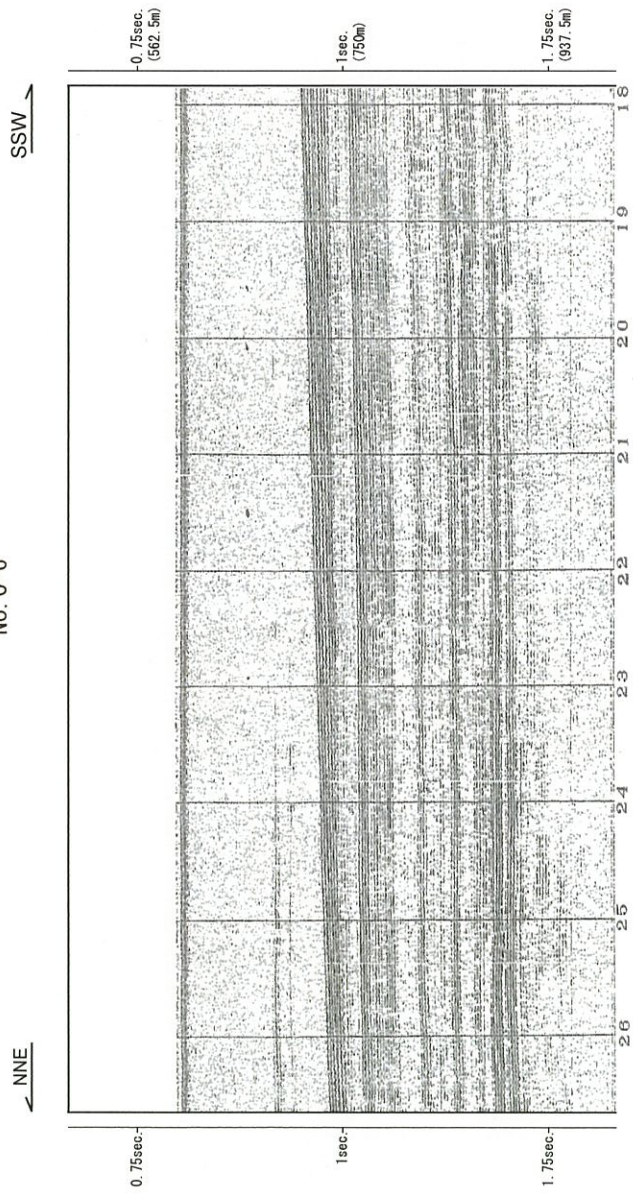


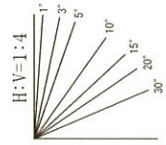
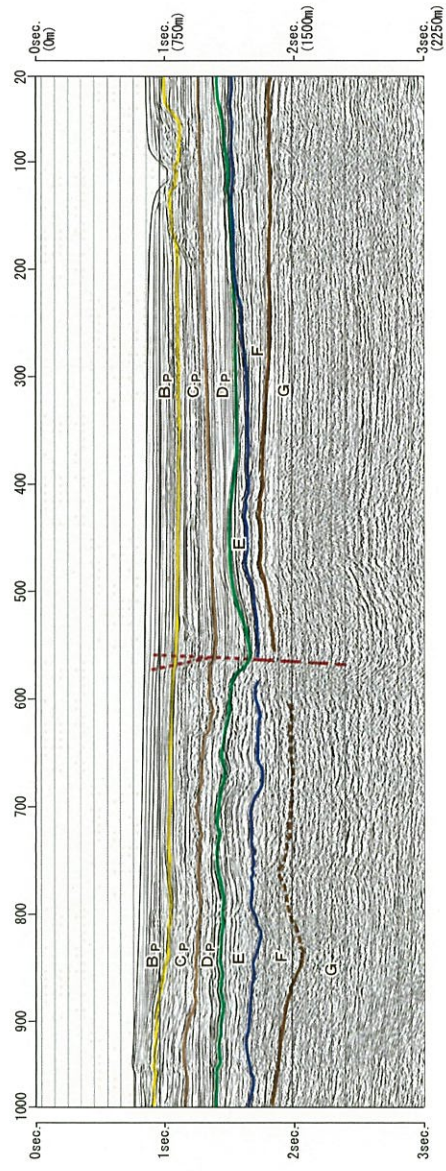
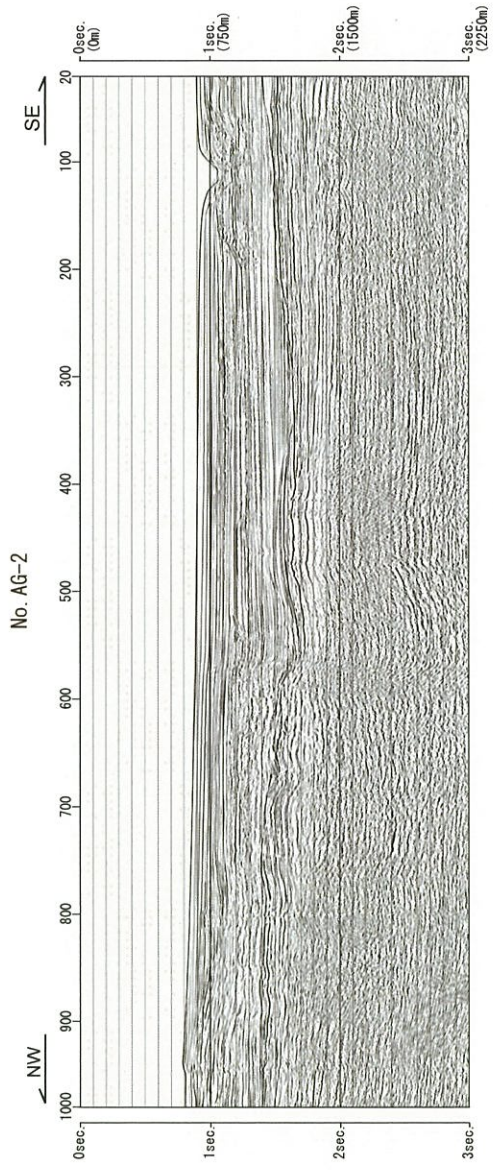
第4.2-131図(5) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図(07S10測線)



第4.2-132図 F-c 断層位置図

No. C-6

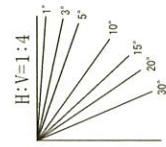
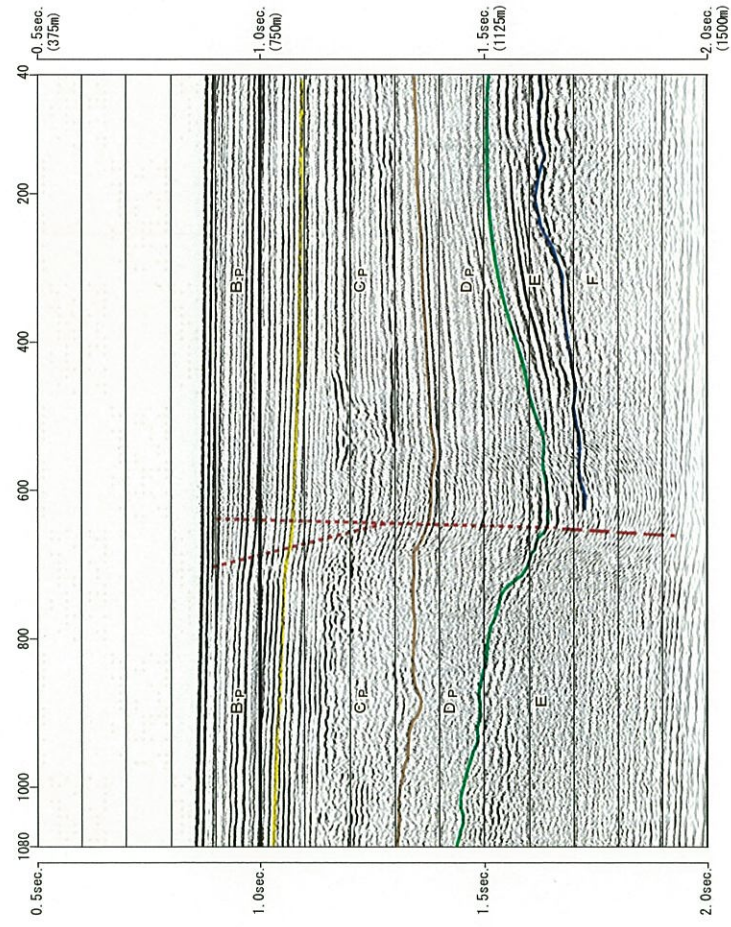
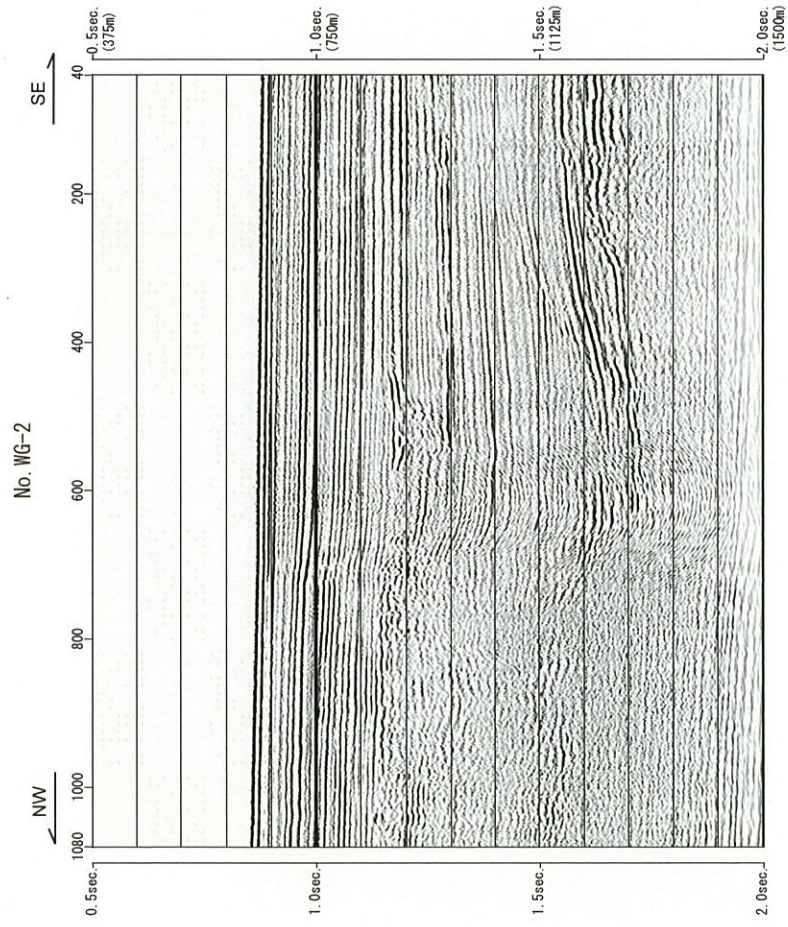




— 断層  
- - - 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第 4. 2-133 図 (2) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. AG-2 測線)



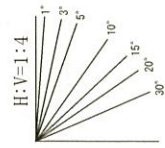
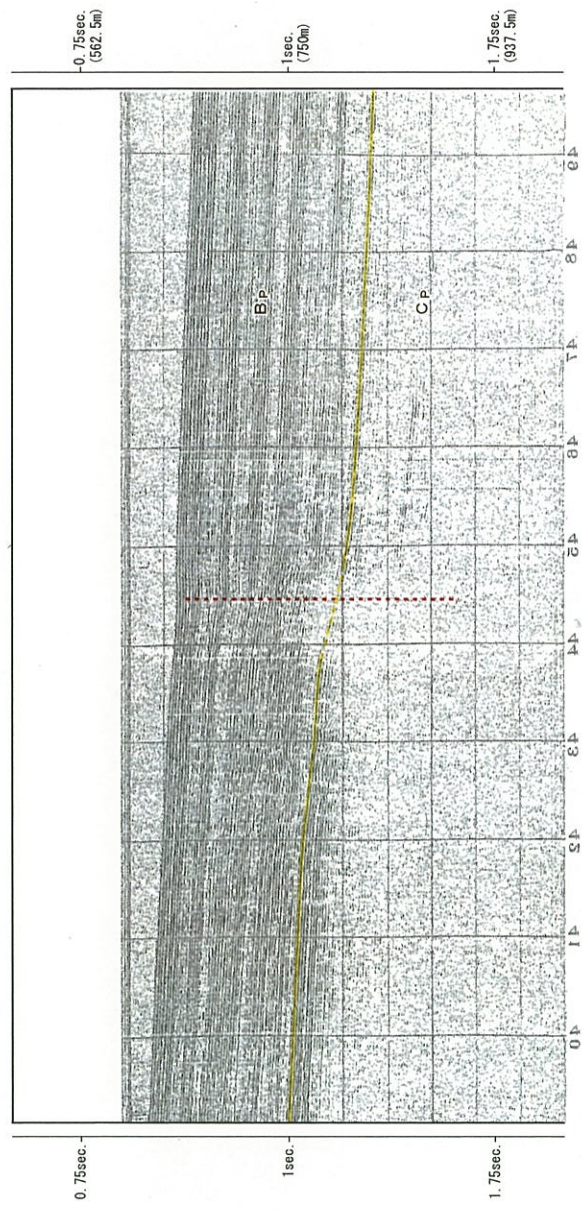
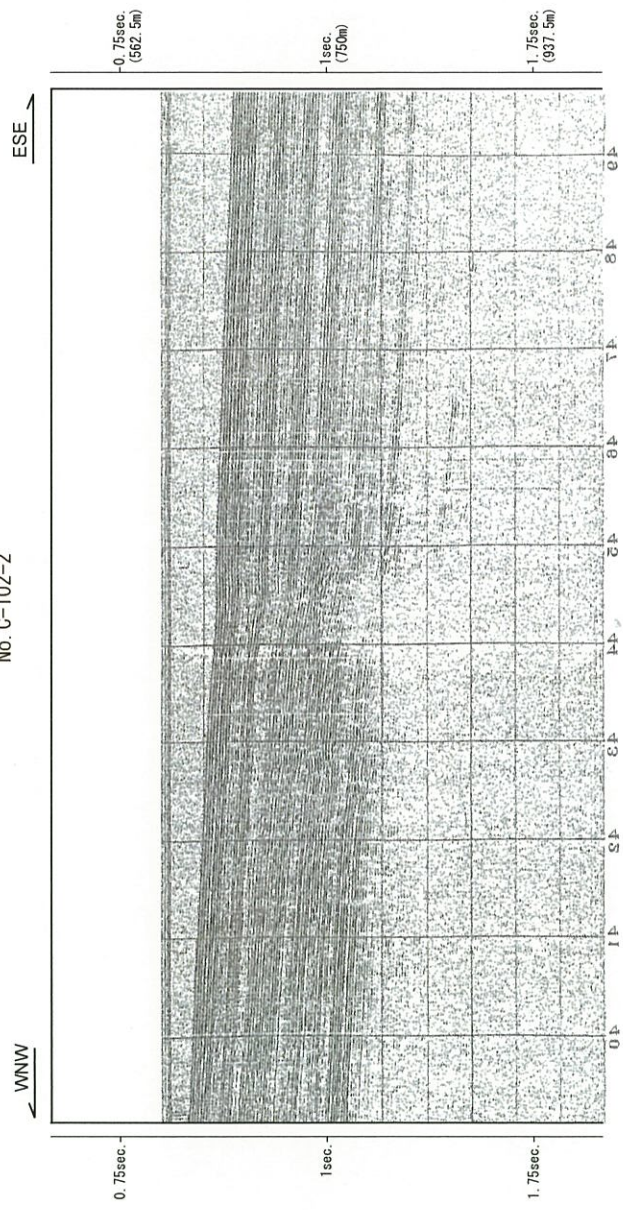
断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に歪位、変形が認められるもの

第 4.2-133 図 (3) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-2 測線)

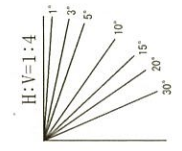
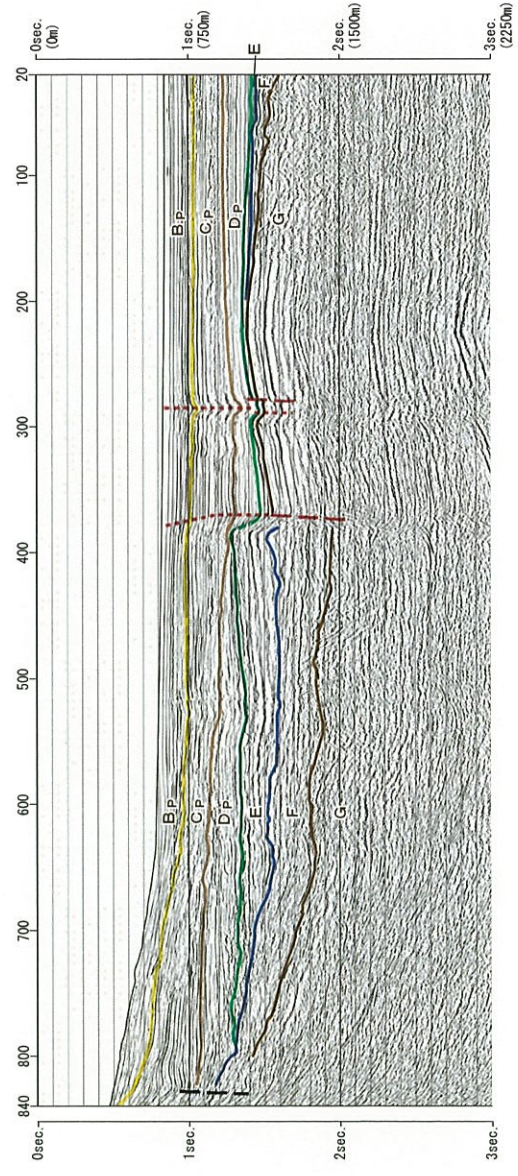
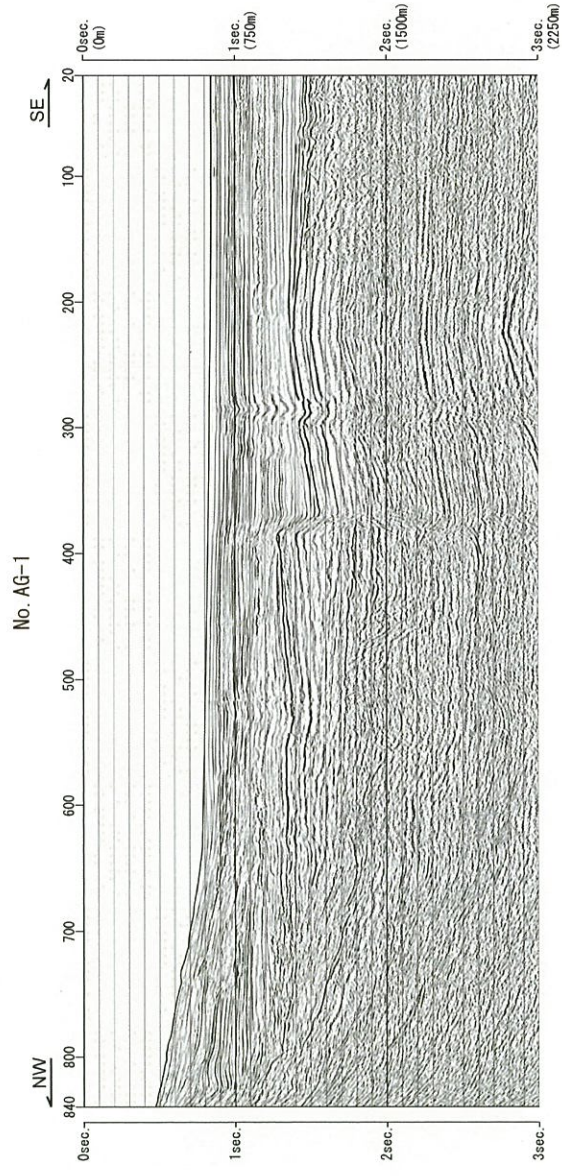


No. C-102-2



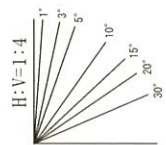
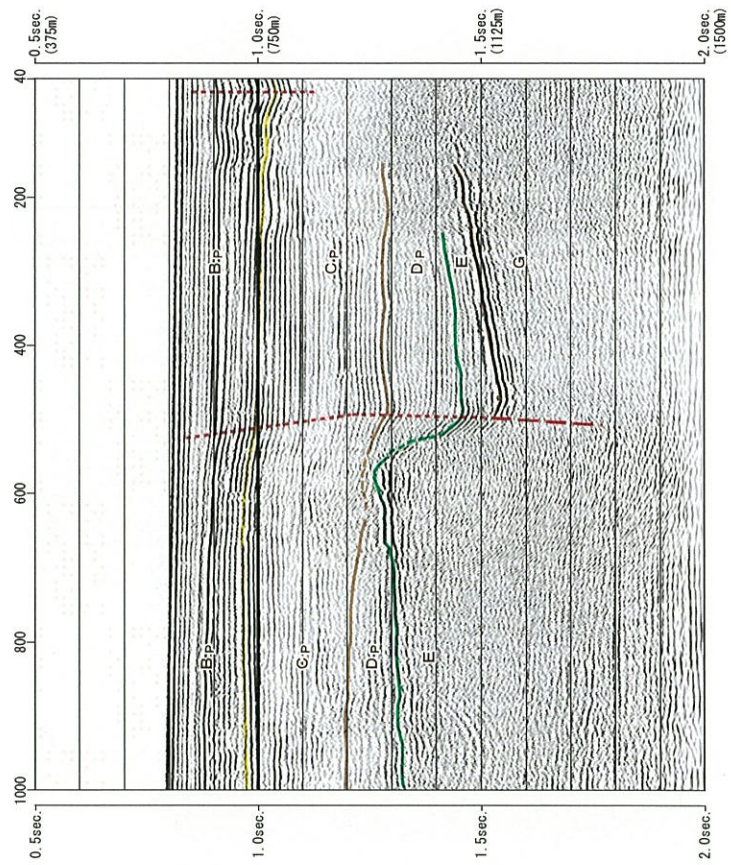
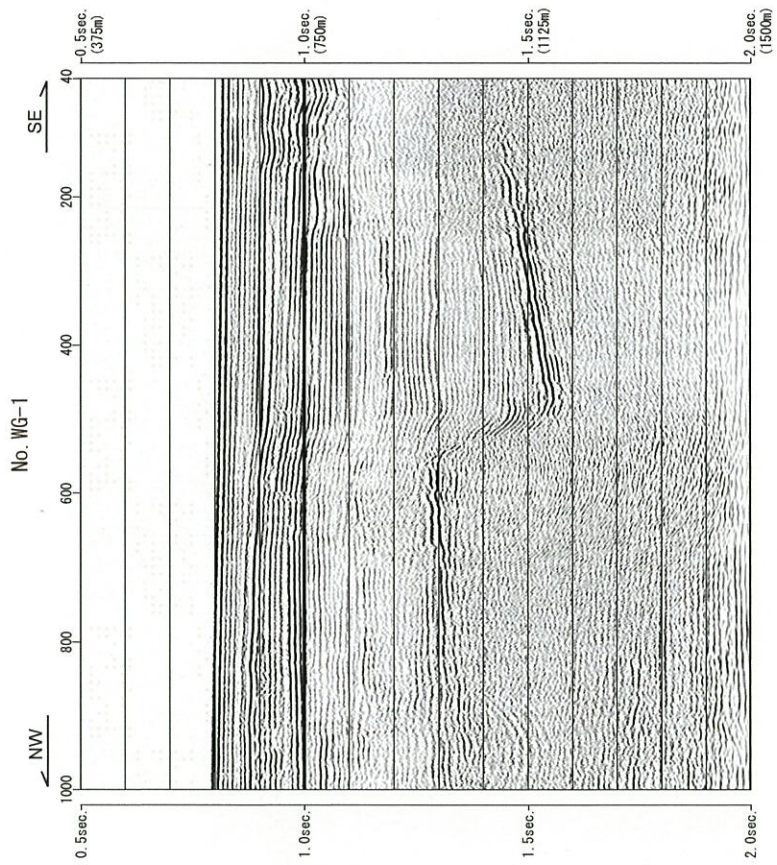
撓曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの



断層 構造

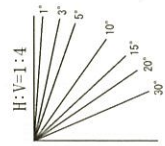
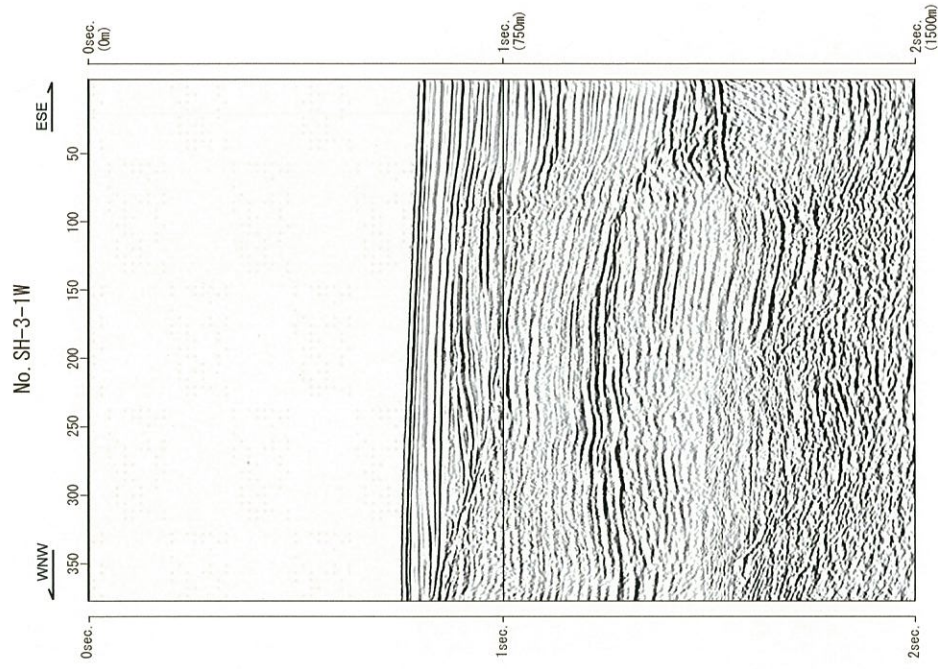
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に貫入・変形が認められるもの



断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に表位・歪形が認められるもの

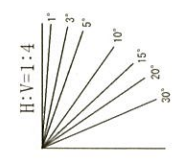
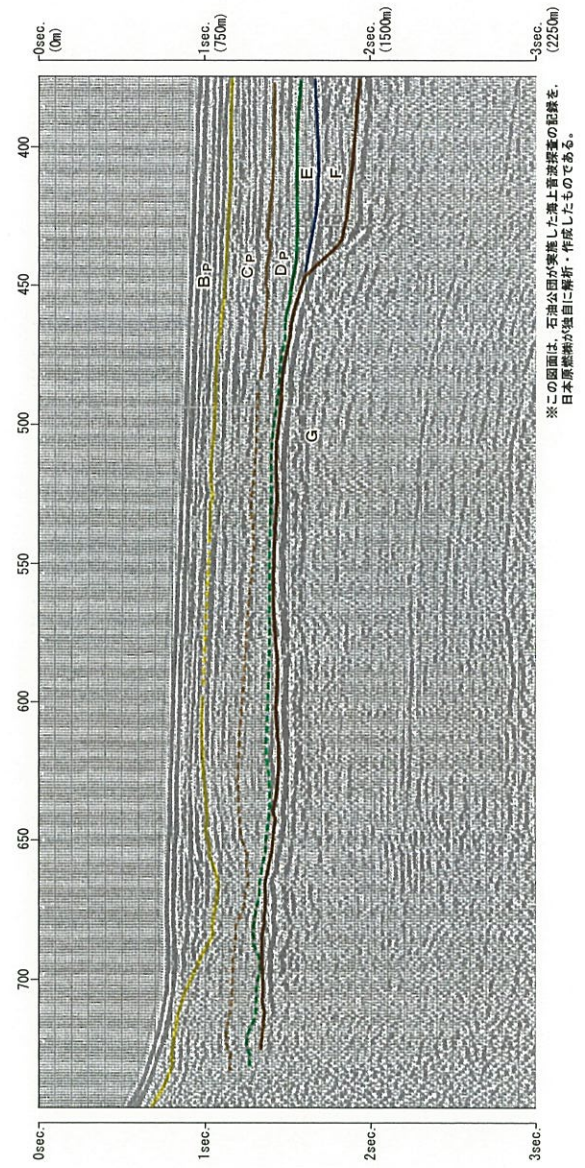
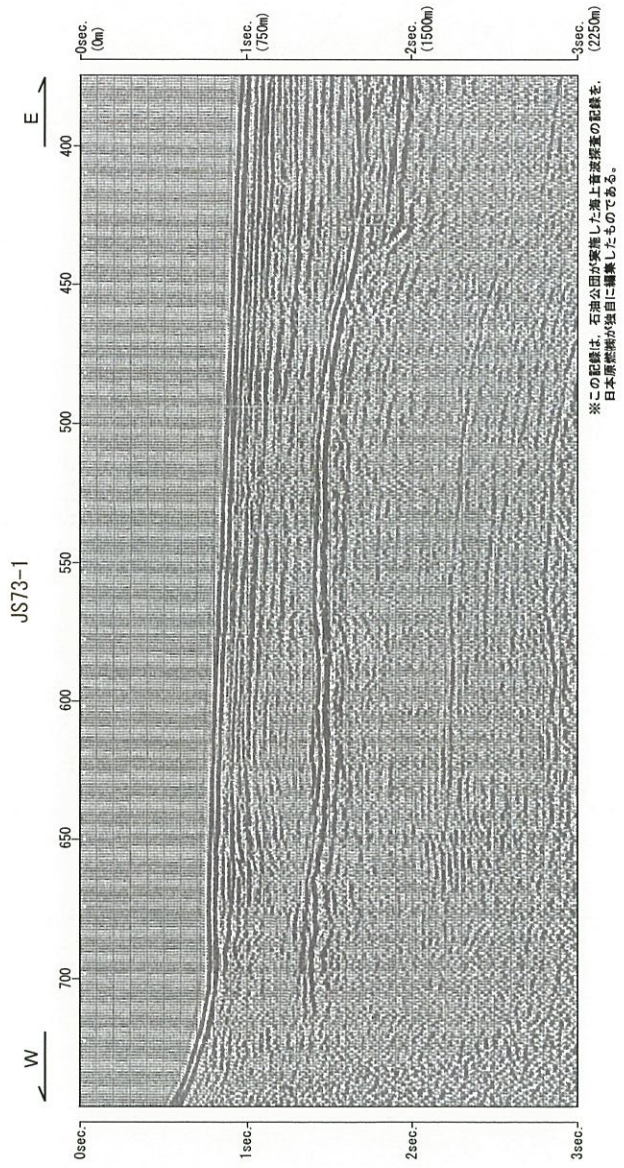
第 4.2-133 図 (6) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-1 測線)



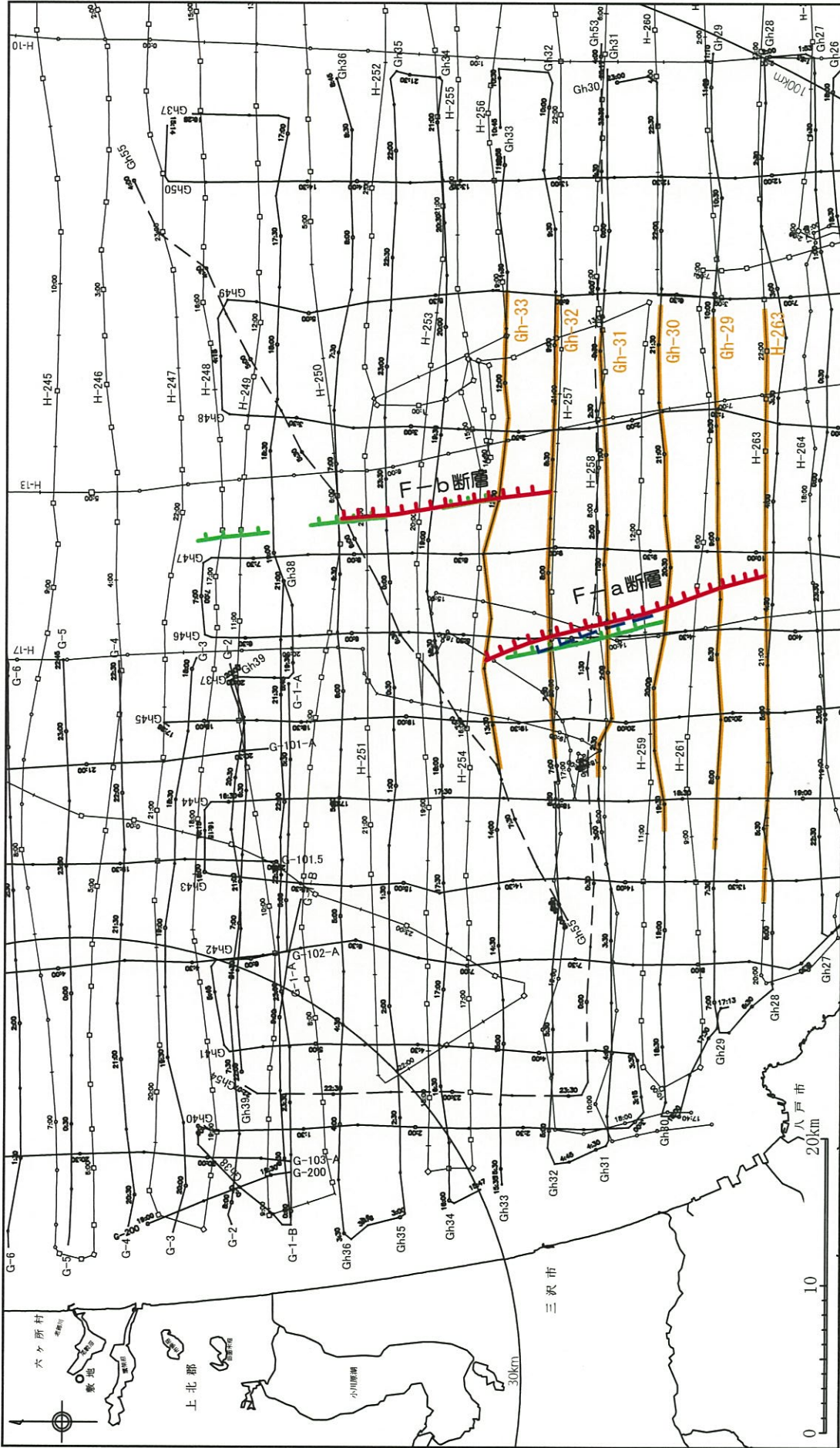
断層 構造

\*赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの








第4.2-133図(7) F-c断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. SH-3-1W測線)



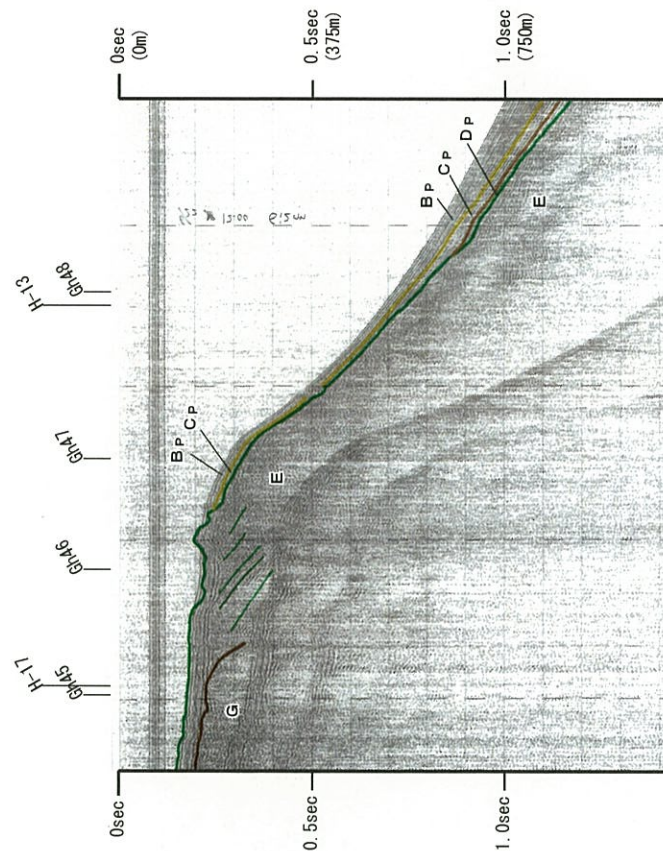
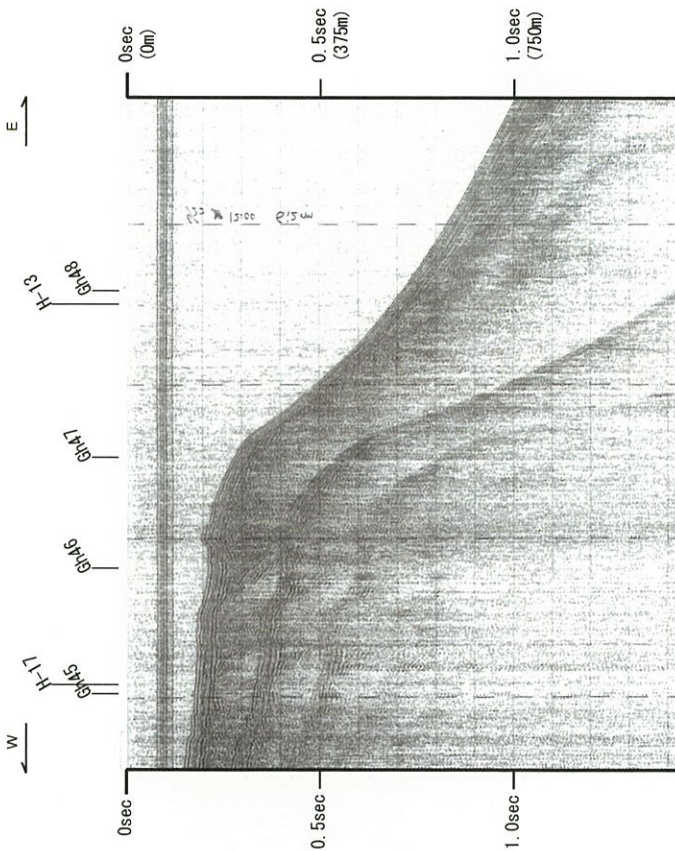
第4.2-133図(8) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (JST73-1測線)



凡 例

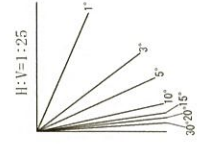
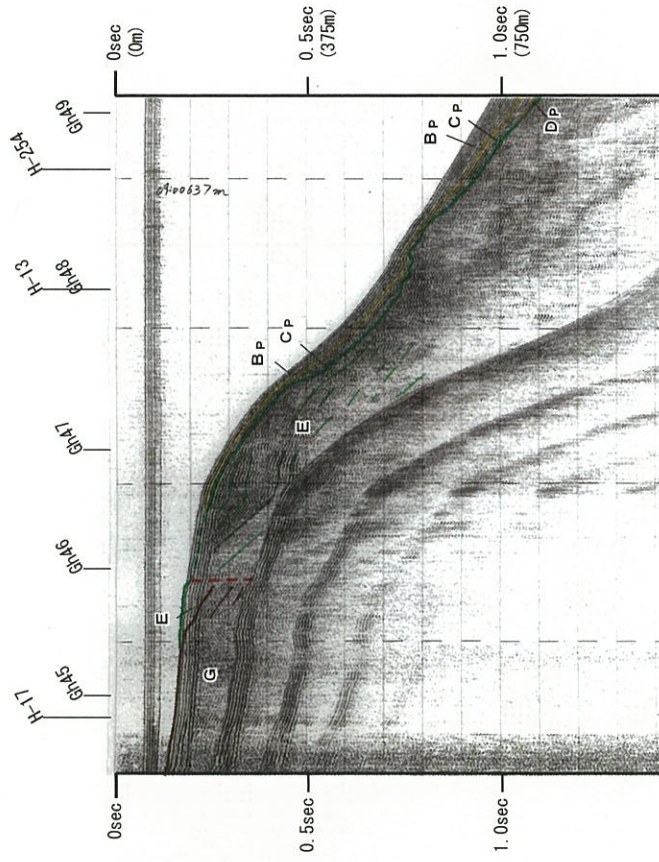
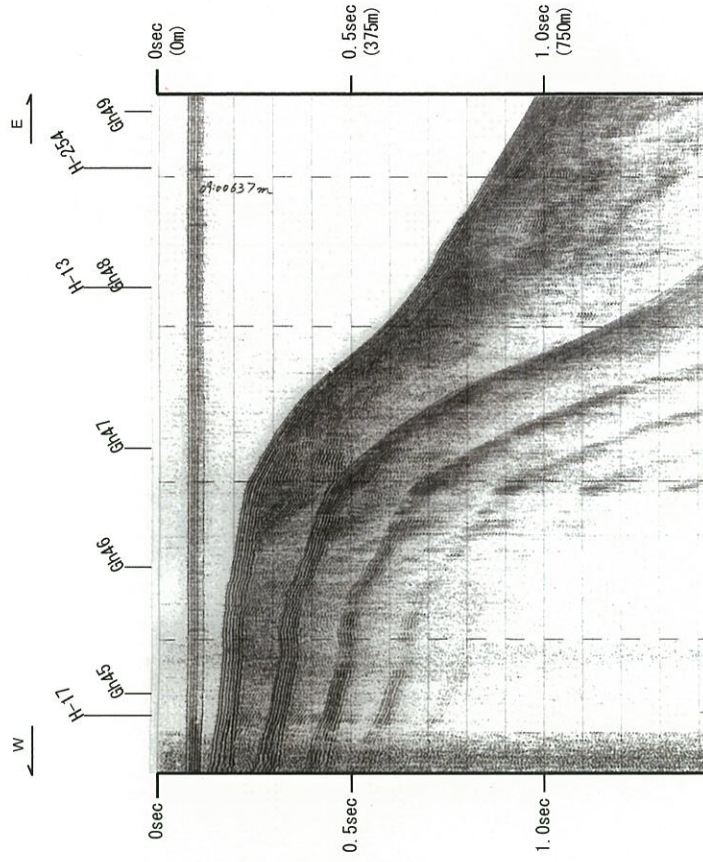
-  【新編】「日本の活断層」活断層研究会編(1991)による断層
-  1/20万海底地質構造図「八戸沖」海上保安庁水路部(1973)による断層
-  第四紀後更新世以降の活動性を考慮する断層
-  海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)
-  地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)
-  地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)
-  音波探査記録解析位置

# Gh33



第4.2-135図(1) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

# Gh32



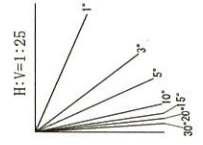
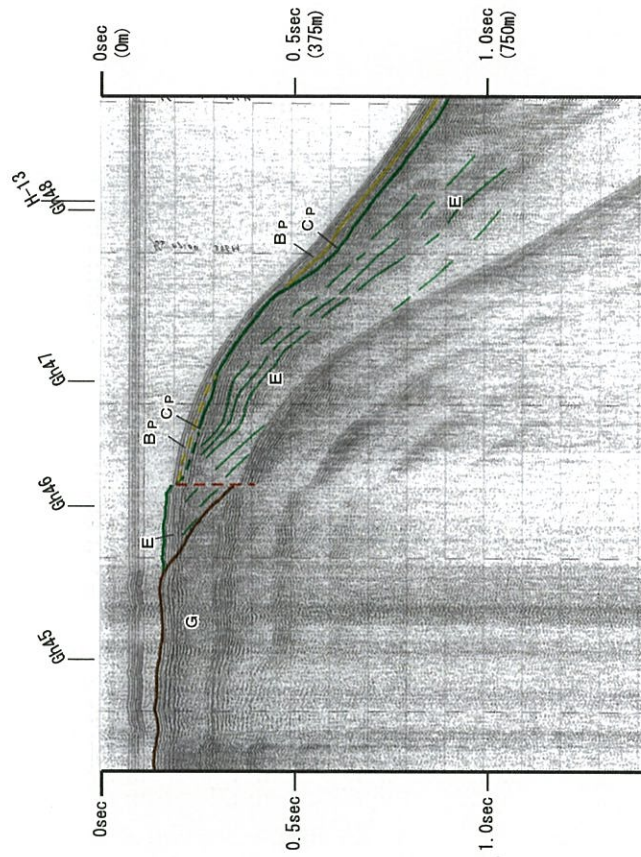
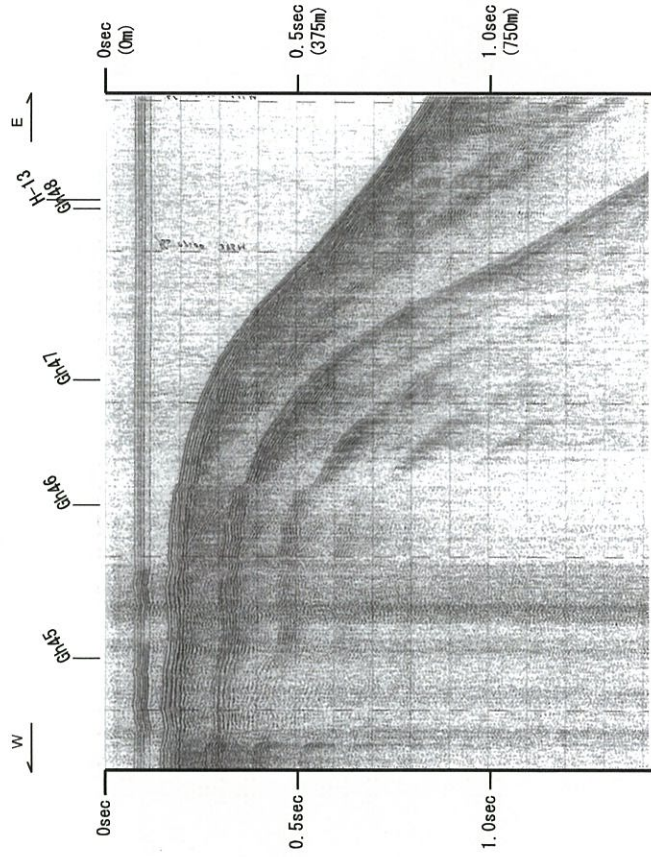
断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位もしくは  
変形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(2) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)



# Gh31

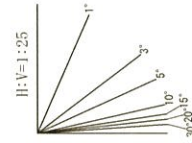
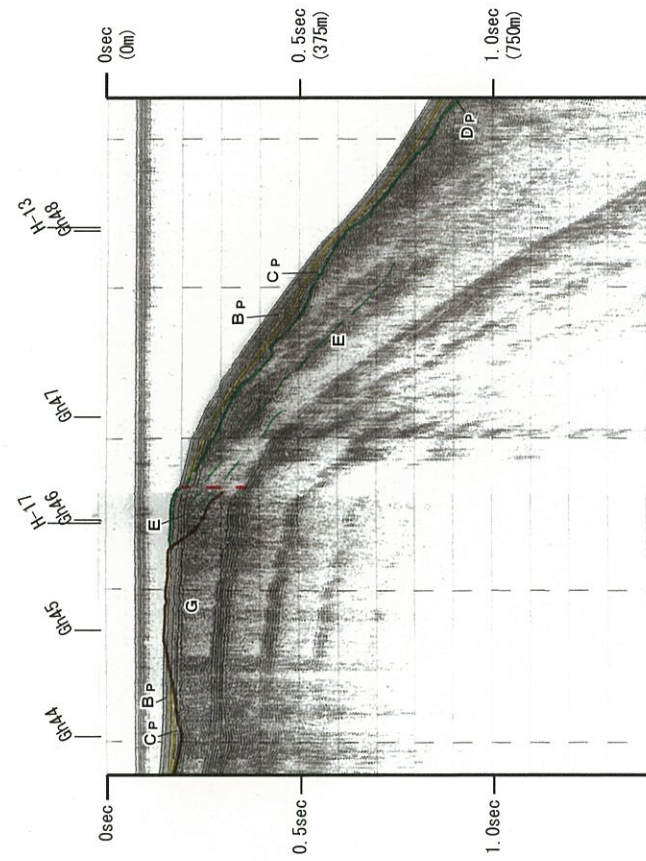
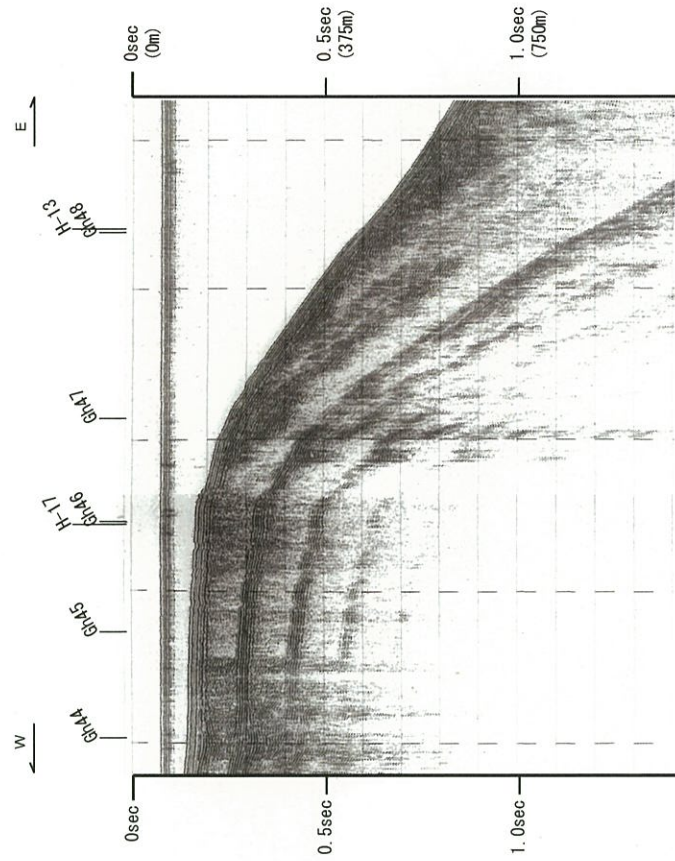


断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に家位もしくは  
 歪形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(3) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh31測線)

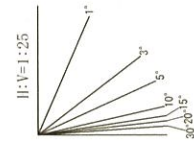
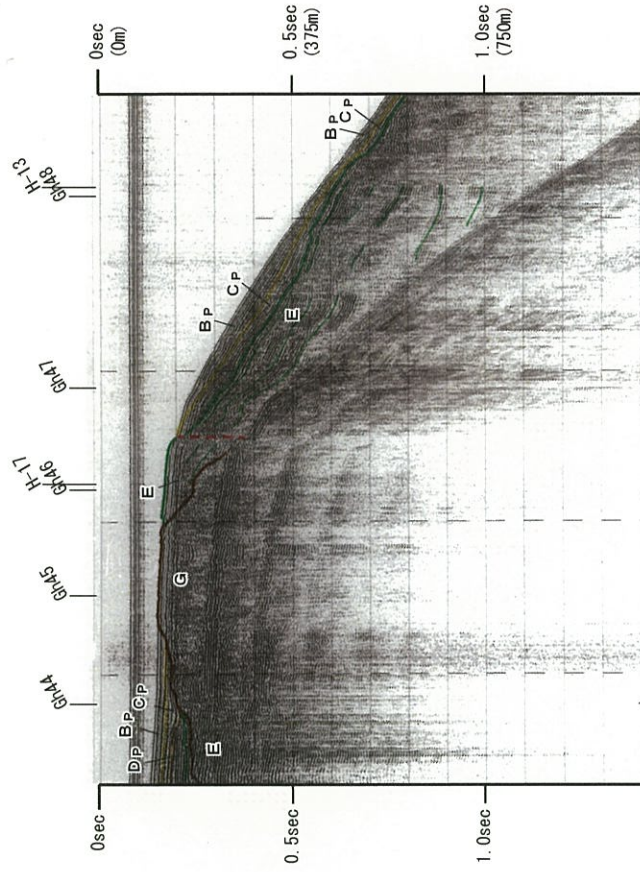
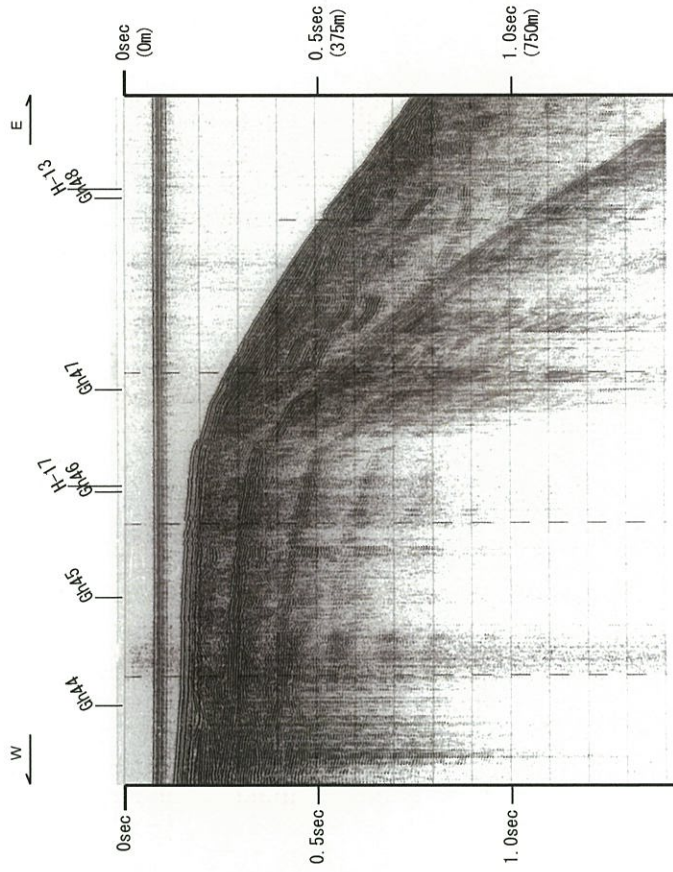
# Gh30



※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に变位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(4) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh30測線)

# Gh29

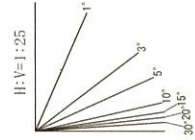
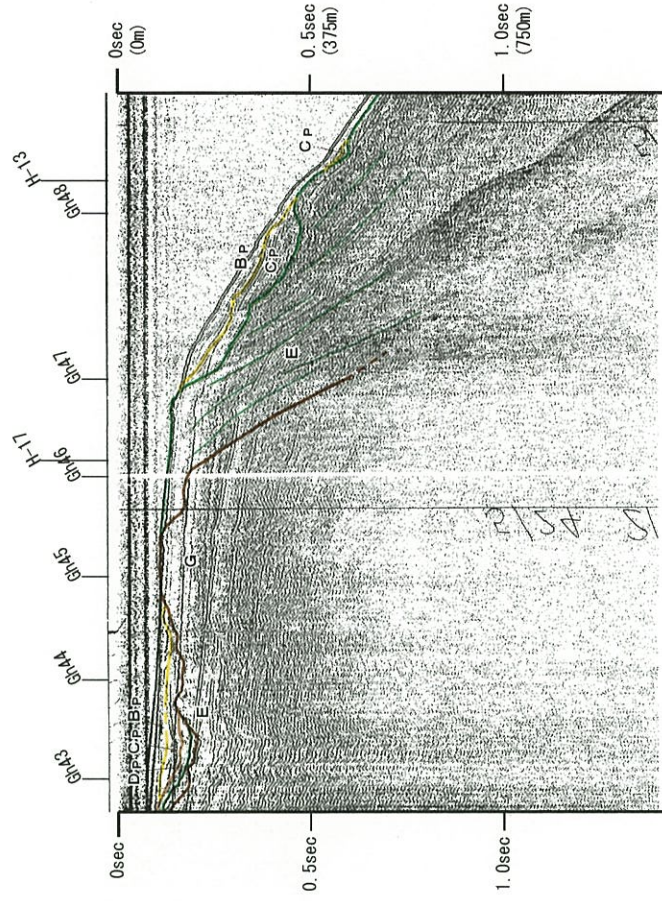
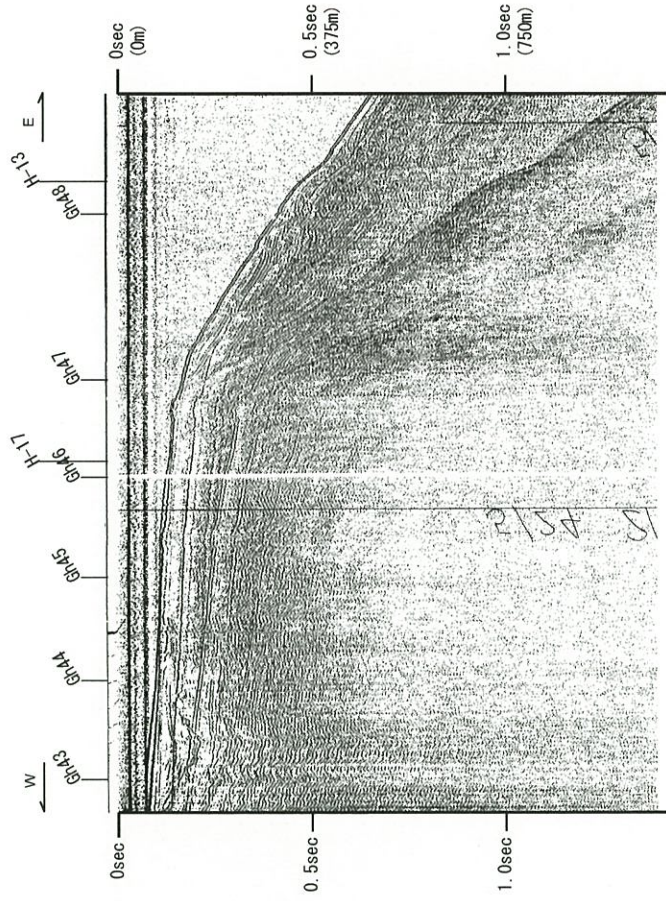


断層

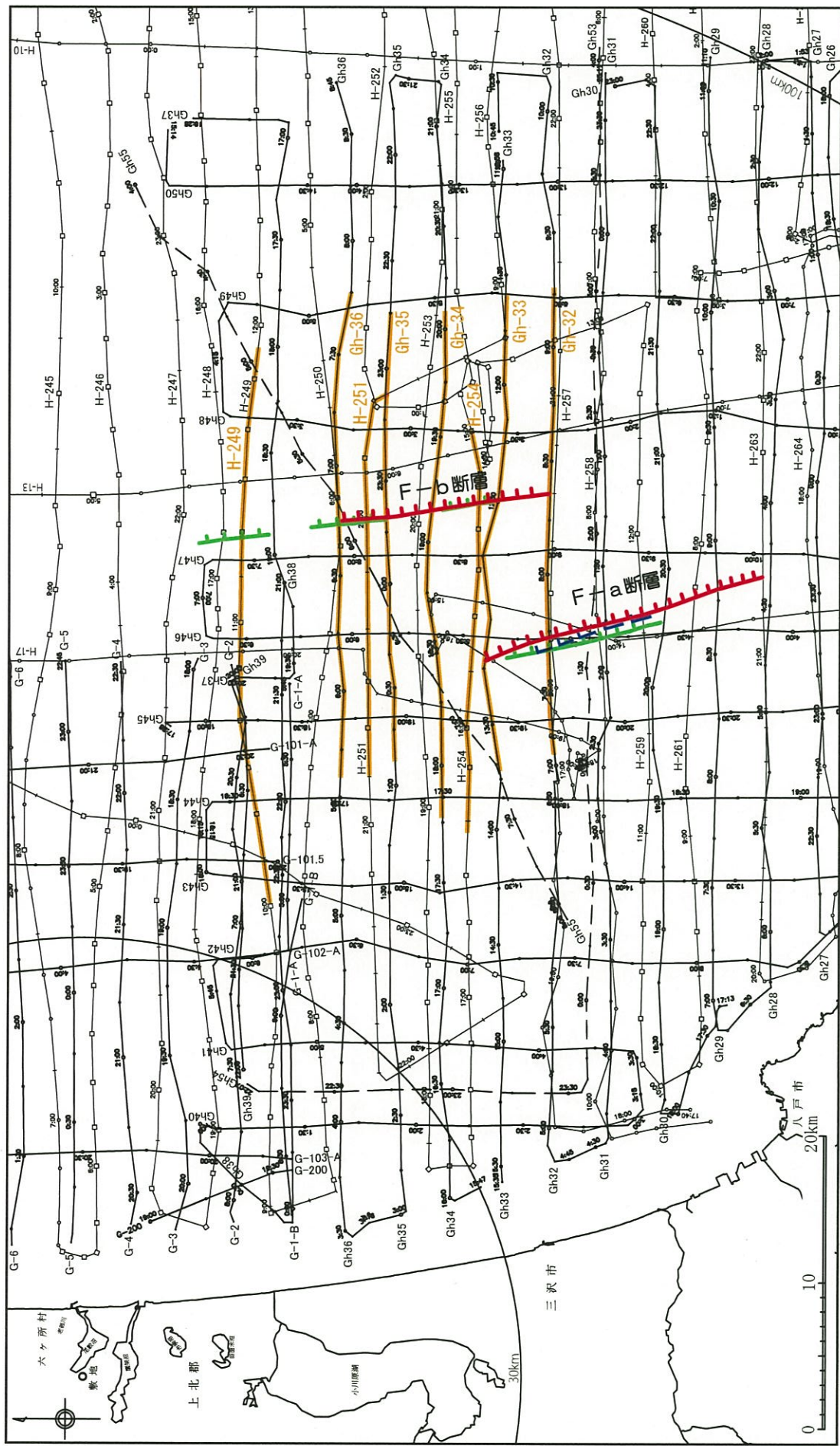
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に亘位もしくは菱形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(5) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh29測線)

# H-263



第4.2-135図(6) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-263測線)

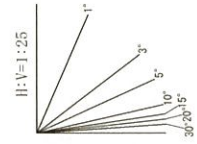
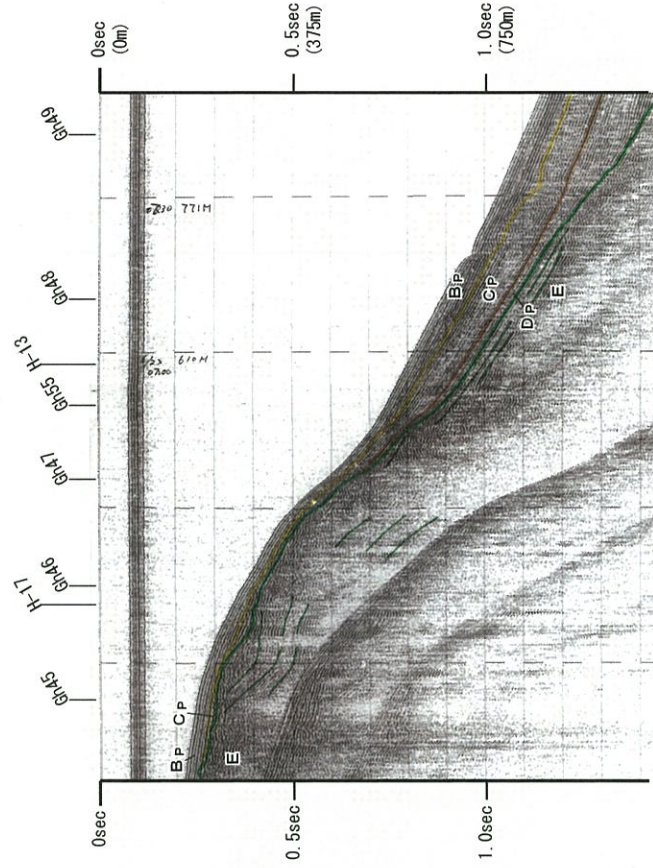
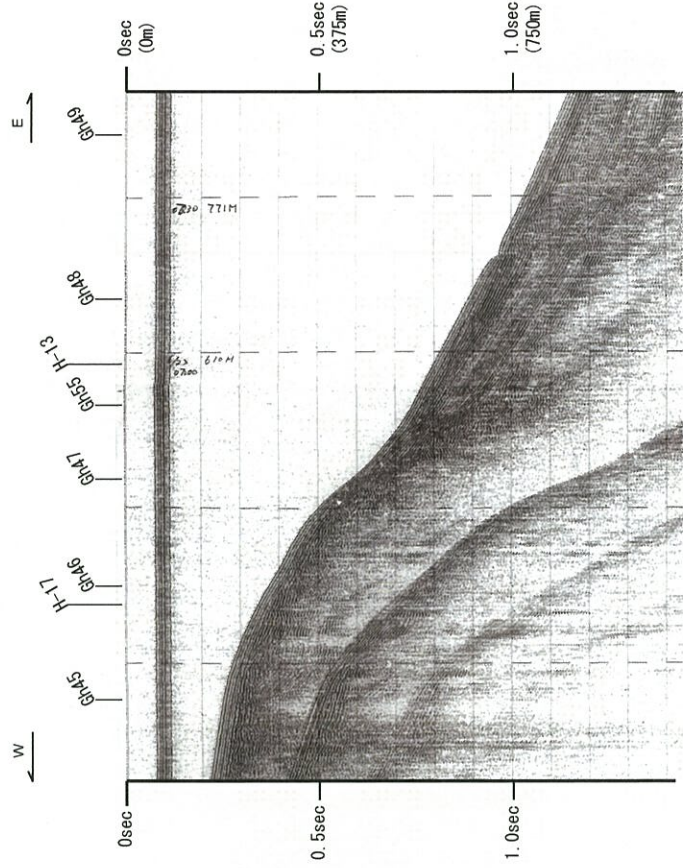


凡例

- ┆┆┆┆┆ [新編]「日本の活断層」活断層研究会編(1991)による断層
- ┆┆┆┆┆ 1/20万海底地質構造図「八戸沖」海上保安庁水路部(1973)による断層
- ┆┆┆┆┆ 第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層
- ┆┆┆┆┆ 海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)
- ┆┆┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)
- ┆┆┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)
- ┆┆┆┆┆ 音波探査記録解析位置

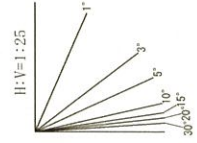
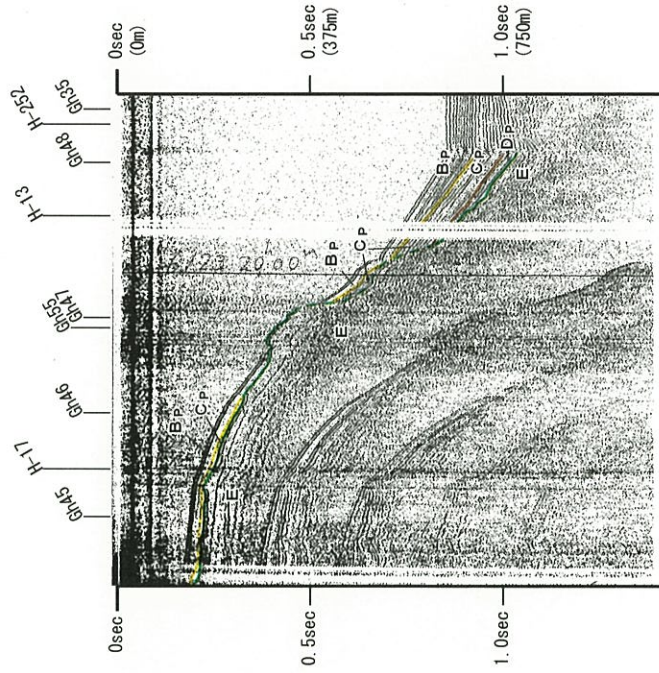
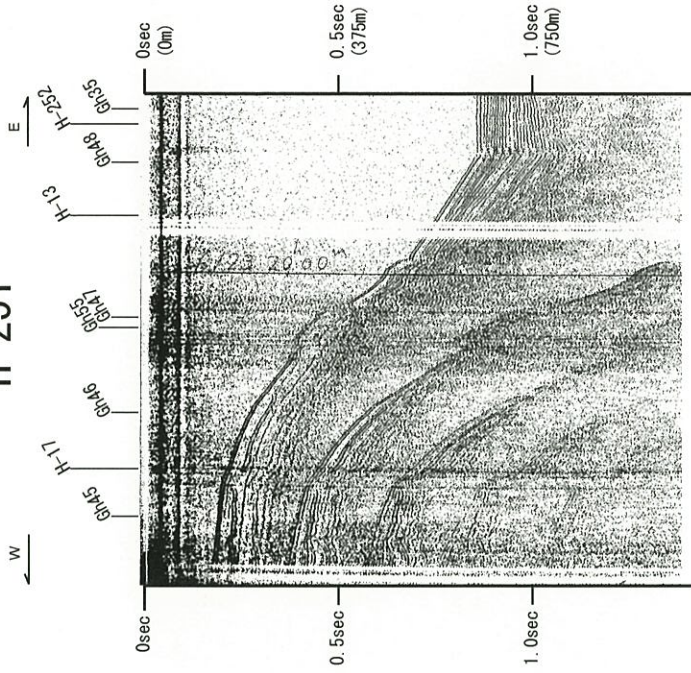


# Gh36



第4.2-137図(2) F - b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh36測線)

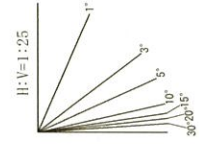
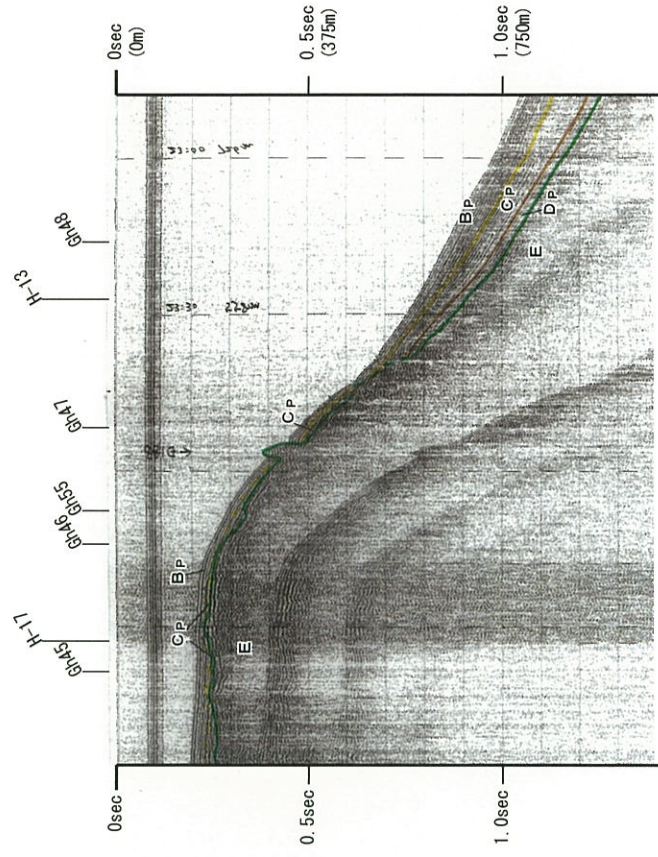
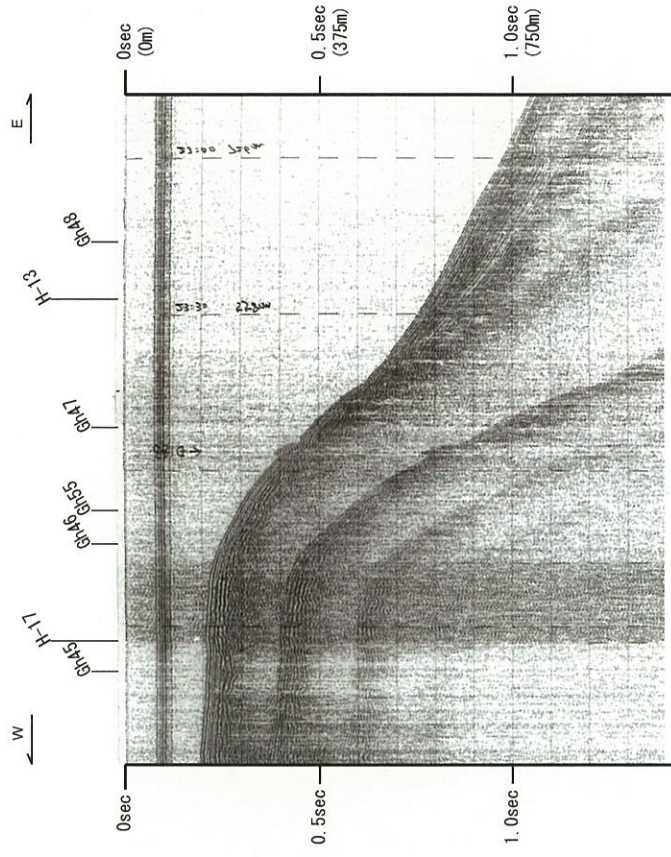
# H-251



第4.2-137図(3) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-251測線)

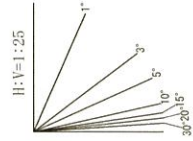
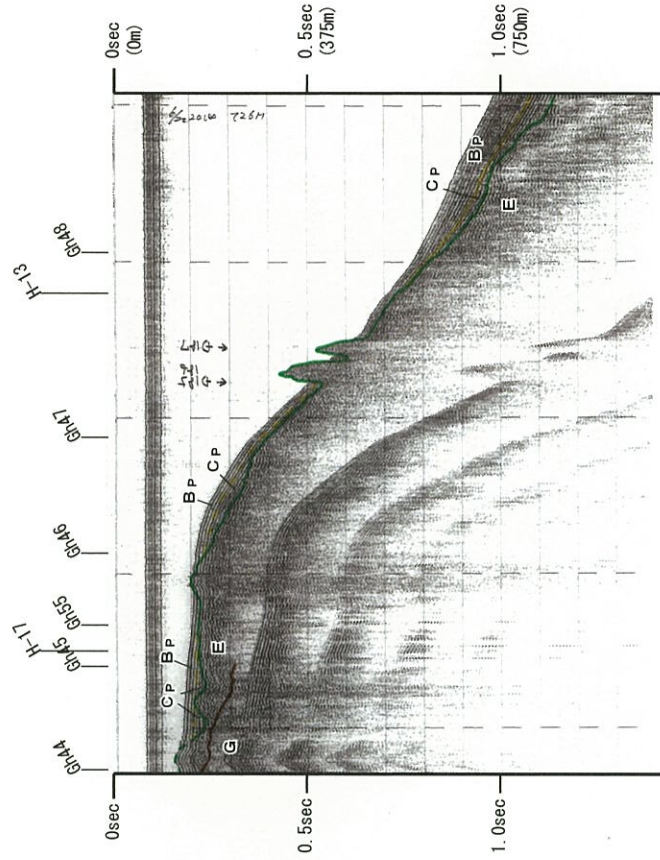
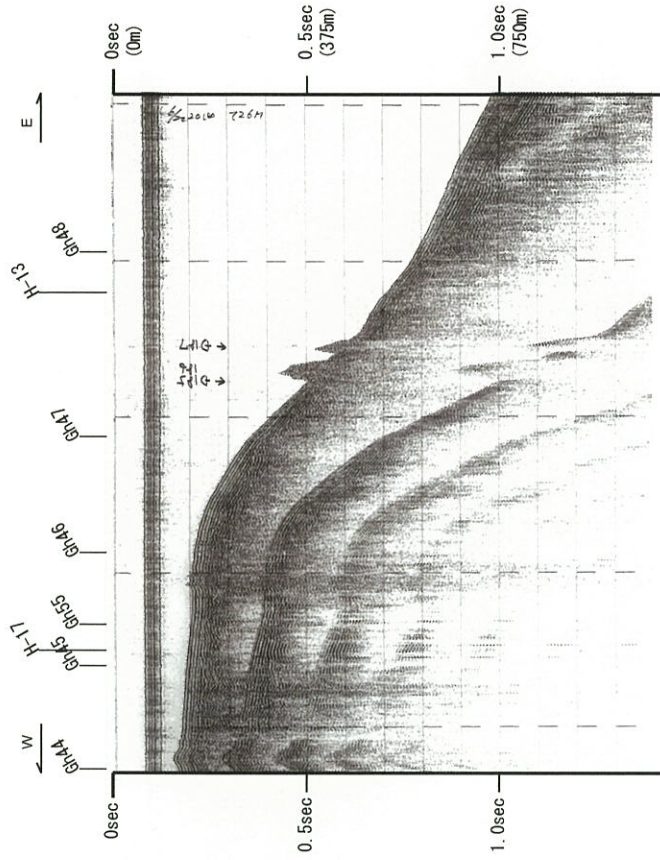


# Gh35



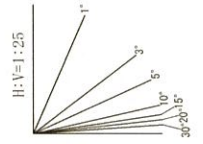
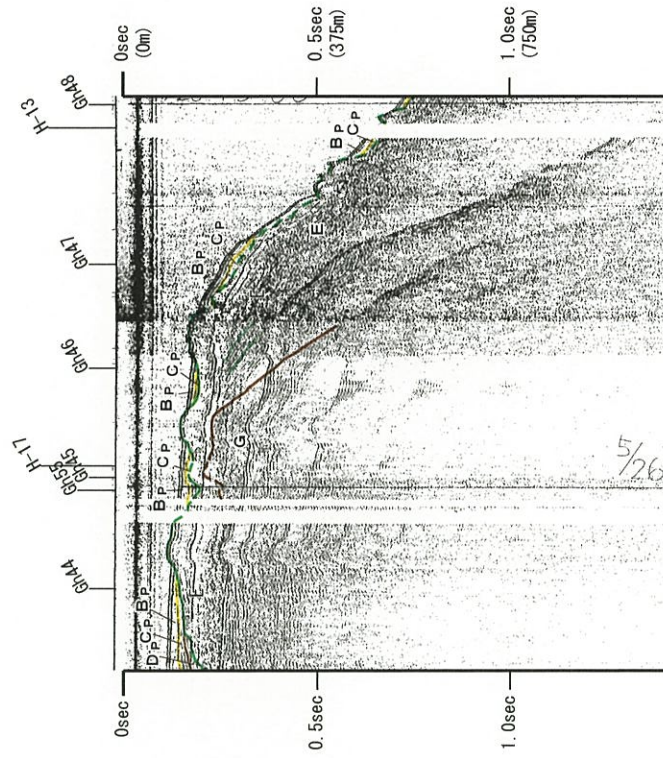
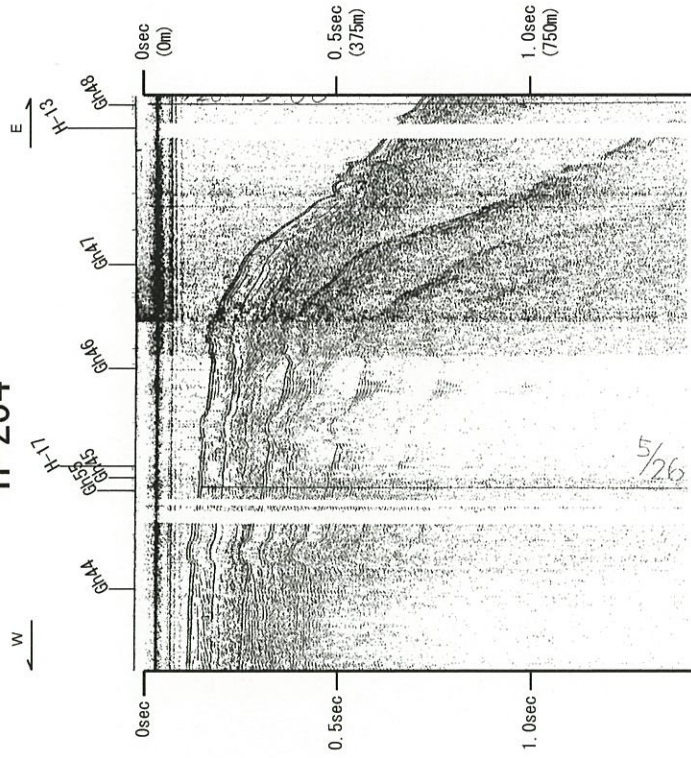
第4.2-137図(4) F - b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh35測線)

# Gh34



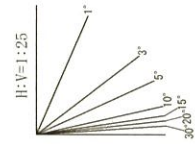
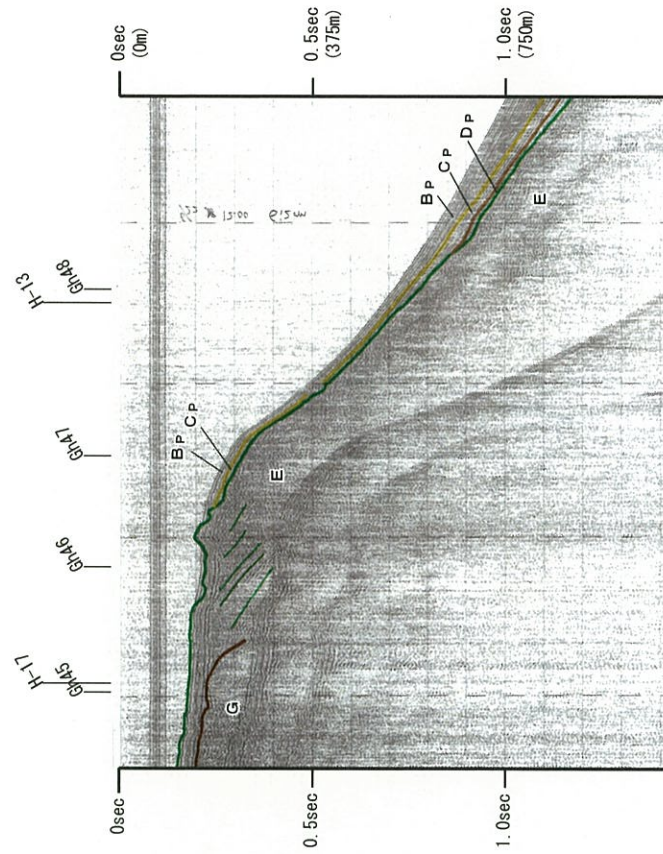
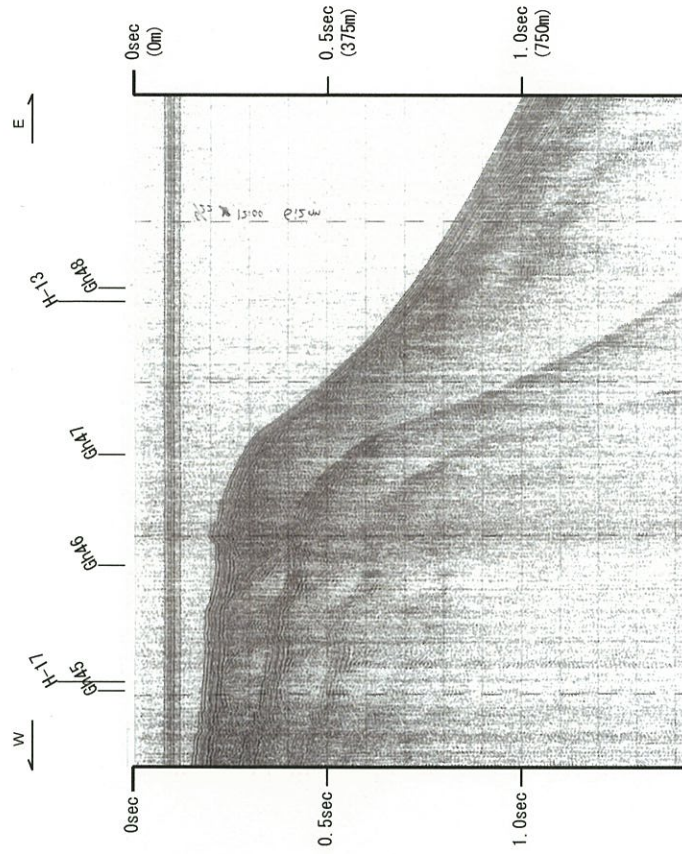
第4.2-137図(5) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh34測線)

# H-254



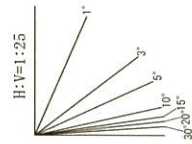
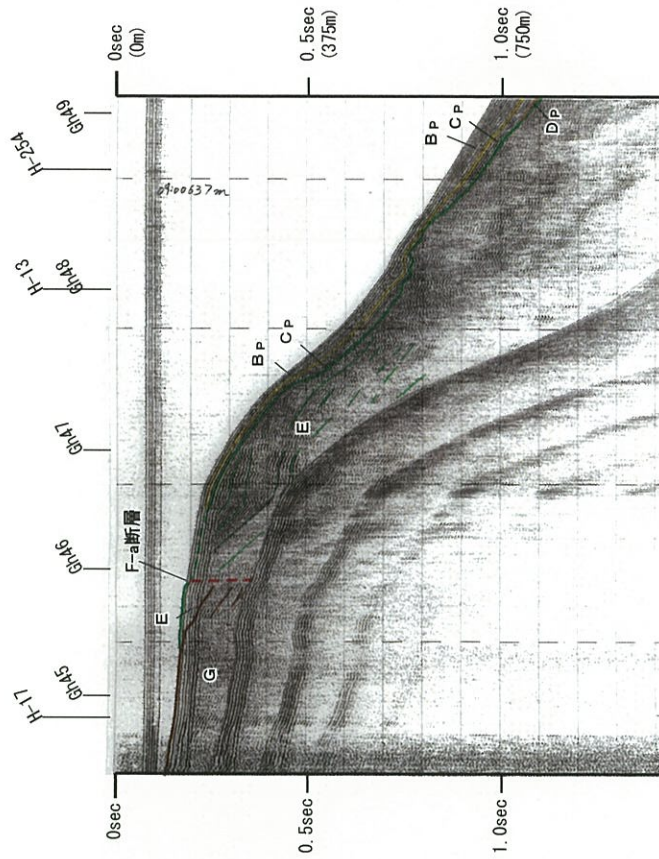
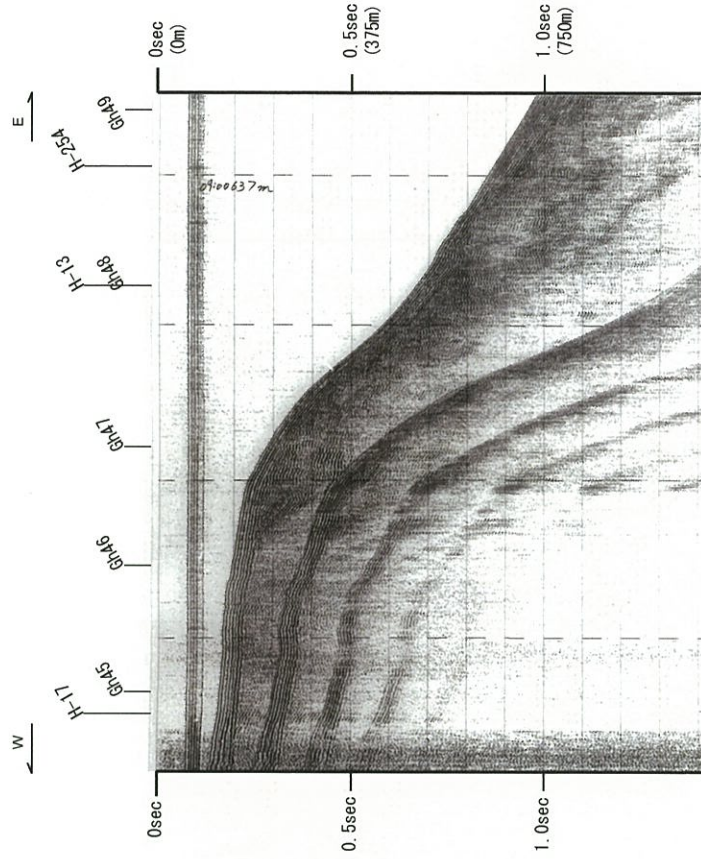
第4.2-137図(6) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-254測線)

# Gh33



第4.2-137図(7) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

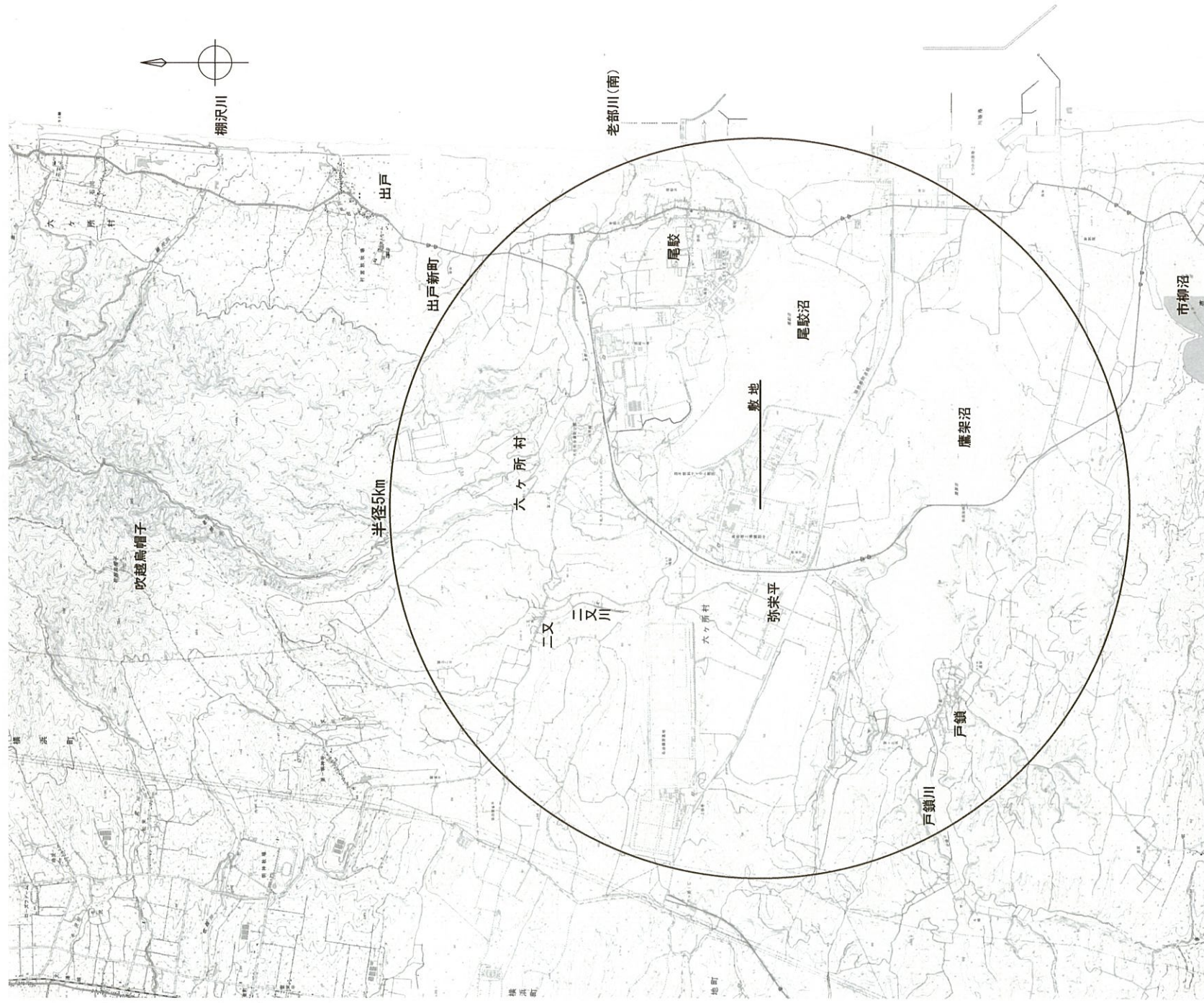
# Gh32



断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に実位もしくは  
 歪形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-137図(8) F - b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)

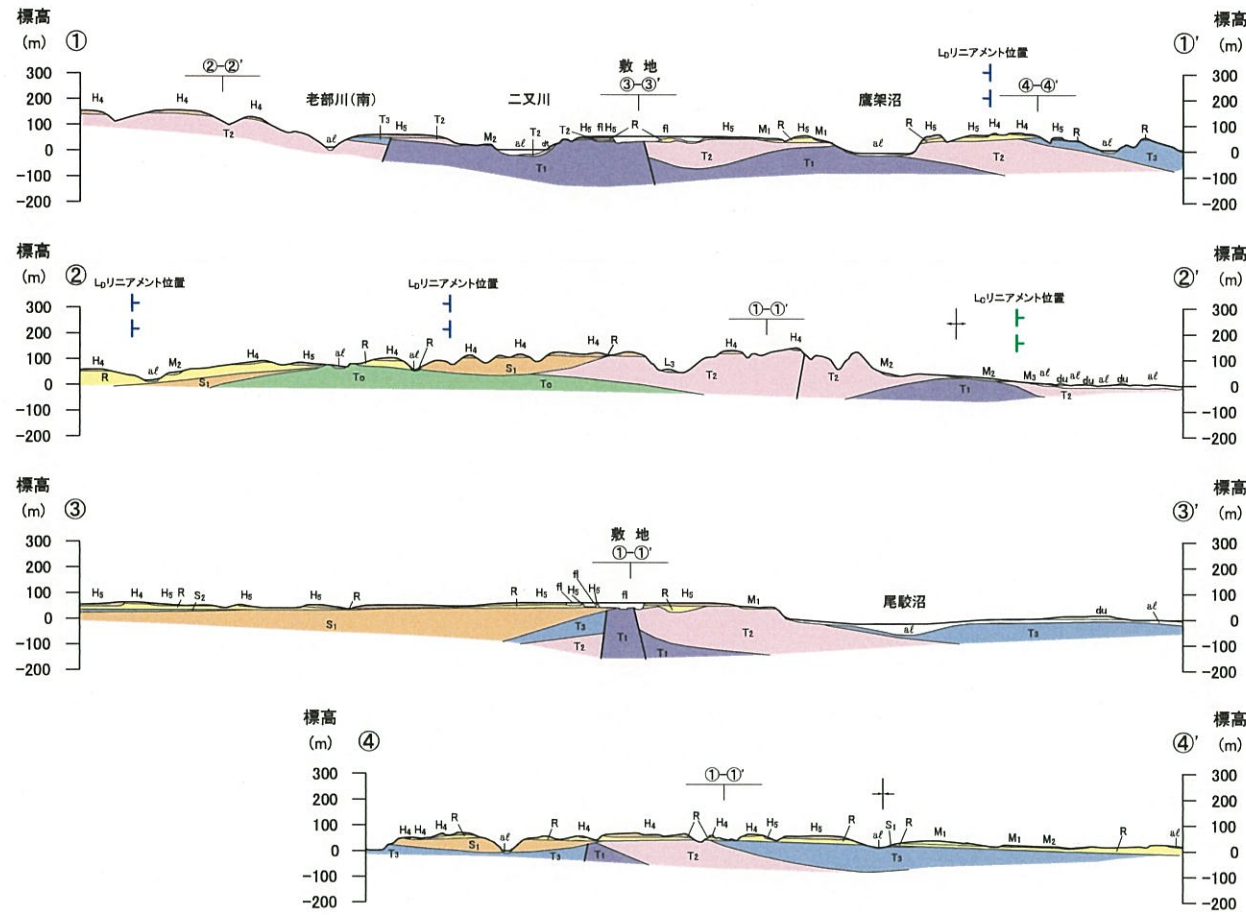


第4.3-1 図 敷地近傍の地形図





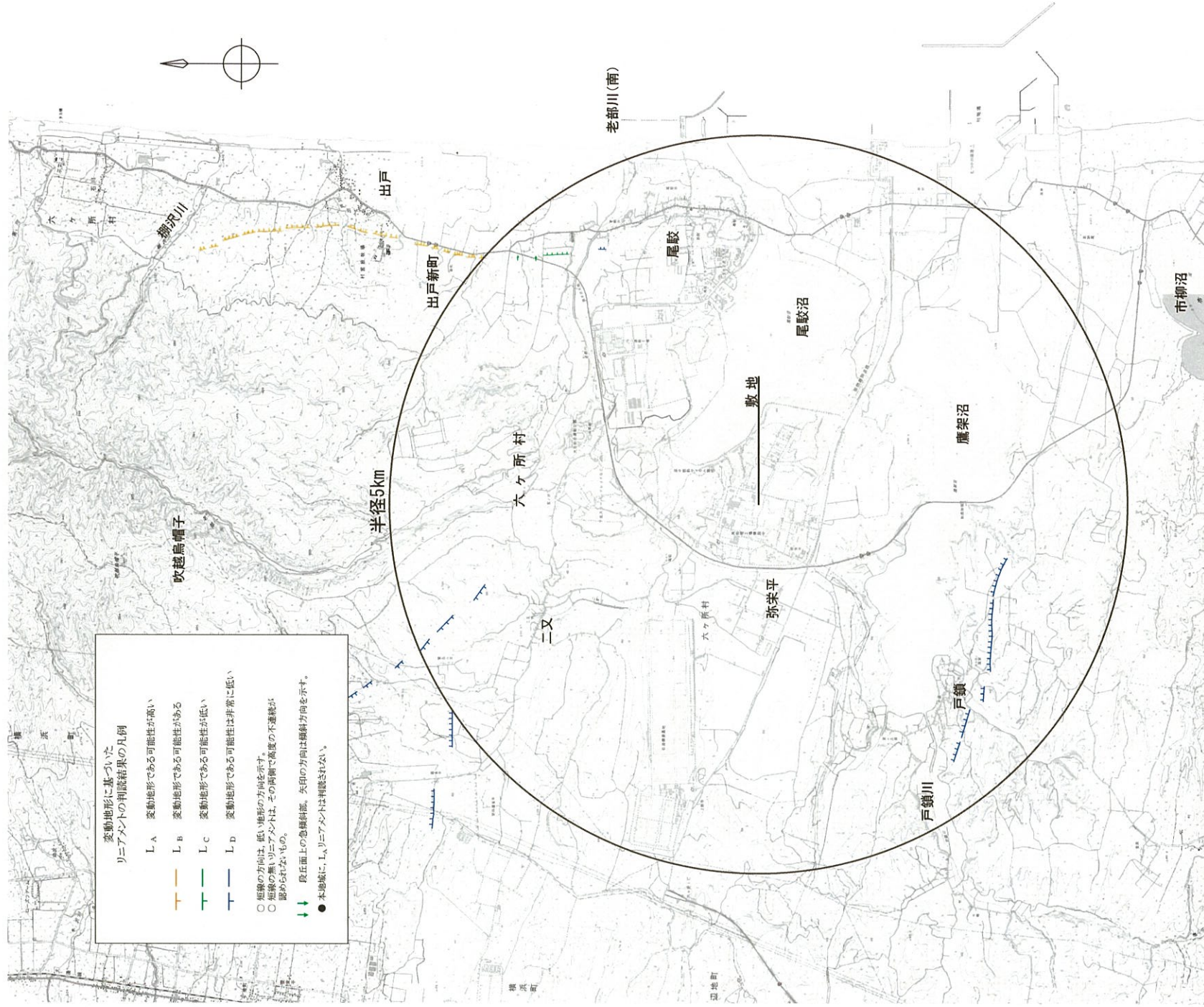




0 1 2km  
縦:横 = 2.5:1

地質凡例				
地質時代	地層名	記号		
第 完 新 世	盛土	fl	— 地層境界線	
	崖錐堆積層	ct	— 断層	
	砂丘砂層	du	↕ 背斜軸	
	沖積低地堆積層	al	✱ 向斜軸	
四 更 新 紀	低位段丘堆積層	L3	↑ Lcリニアメント	
	中位段丘堆積層	M3	↑ Ldリニアメント	
		M2		
		M1		
	中 期 前 期	高位段丘堆積層	H3	
		H4		
六ヶ所層		R		
新 鮮 新 世	砂子又層 中部層	S2		
	砂子又層 下部層	S1		
三 中 新 世	鷹架層 上部層	T3		
	鷹架層 中部層	T2		
	鷹架層 下部層	T1		
	泊層	To		

第4.3-4図 敷地近傍の地質断面図  
4-4-449



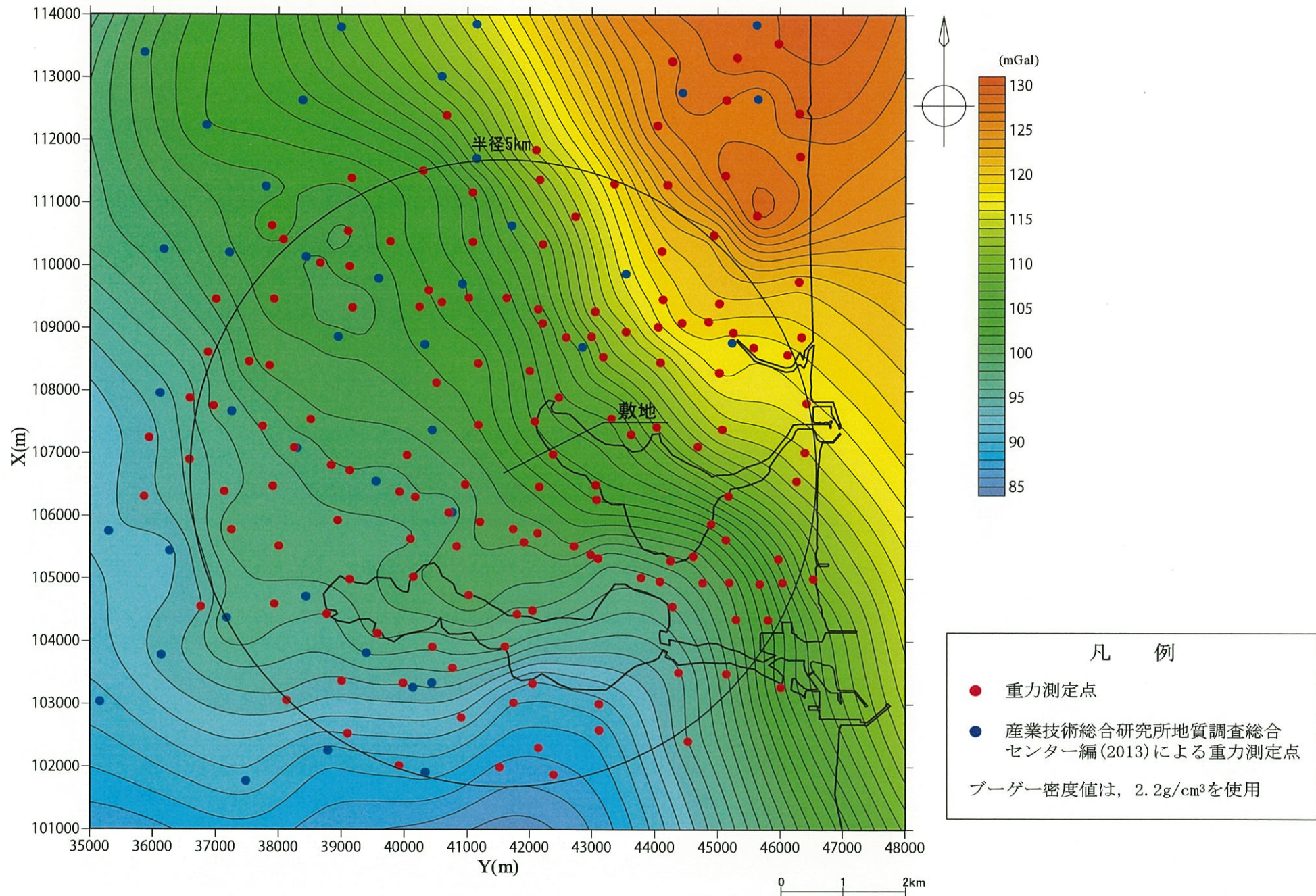
変動地形に基づいた  
リニアメントの判読結果の凡例

L<sub>A</sub> 変動地形である可能性が高い  
L<sub>B</sub> 変動地形である可能性がある  
L<sub>C</sub> 変動地形である可能性が低い  
L<sub>D</sub> 変動地形である可能性が非常に低い

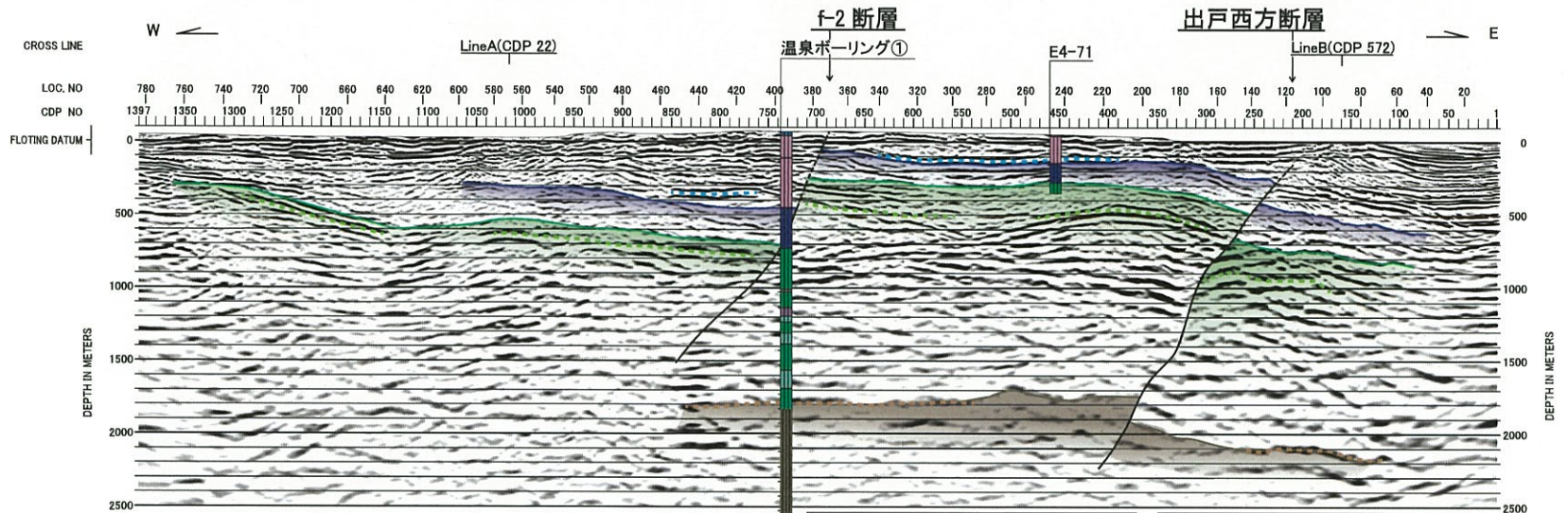
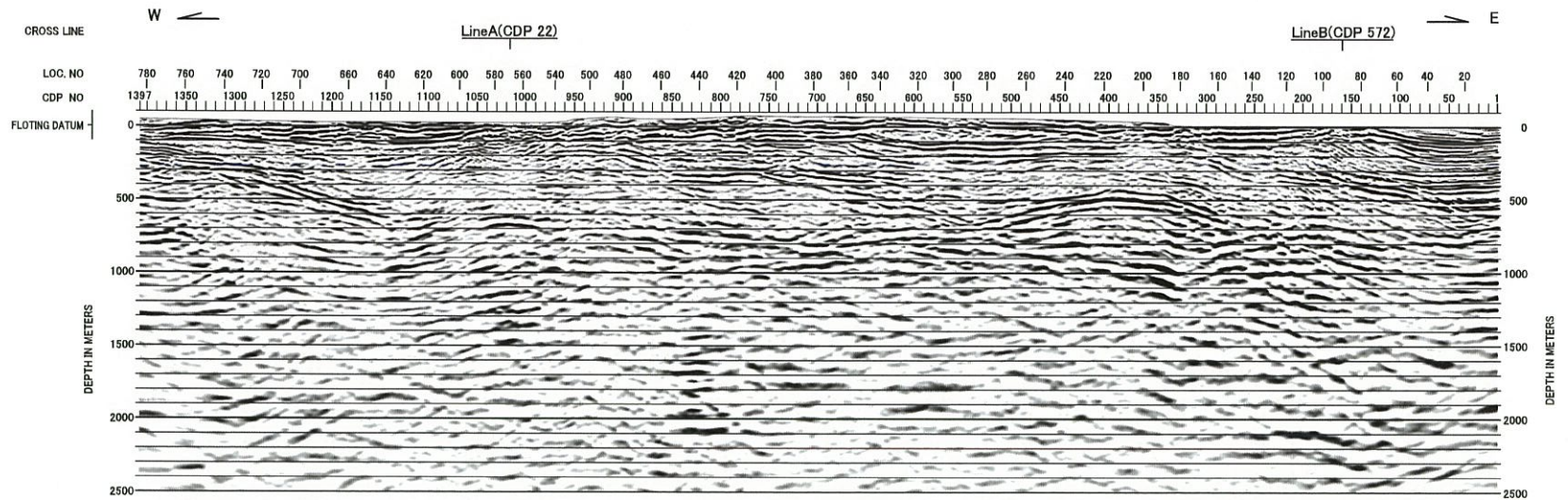
○ 短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
○ 短線の無いリニアメントは、その高側で高度の不連続が認められないもの。  
↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。  
● 本地域に、L<sub>A</sub>リニアメントは判読されない。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。  
測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R-UHF1244。  
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

第4.3-5 図 敷地近傍のリニアメント・変動地形の分布図



第4.3-6図 敷地近傍の重力異常図 (ブーゲー異常図)



ボーリング柱状図地質凡例

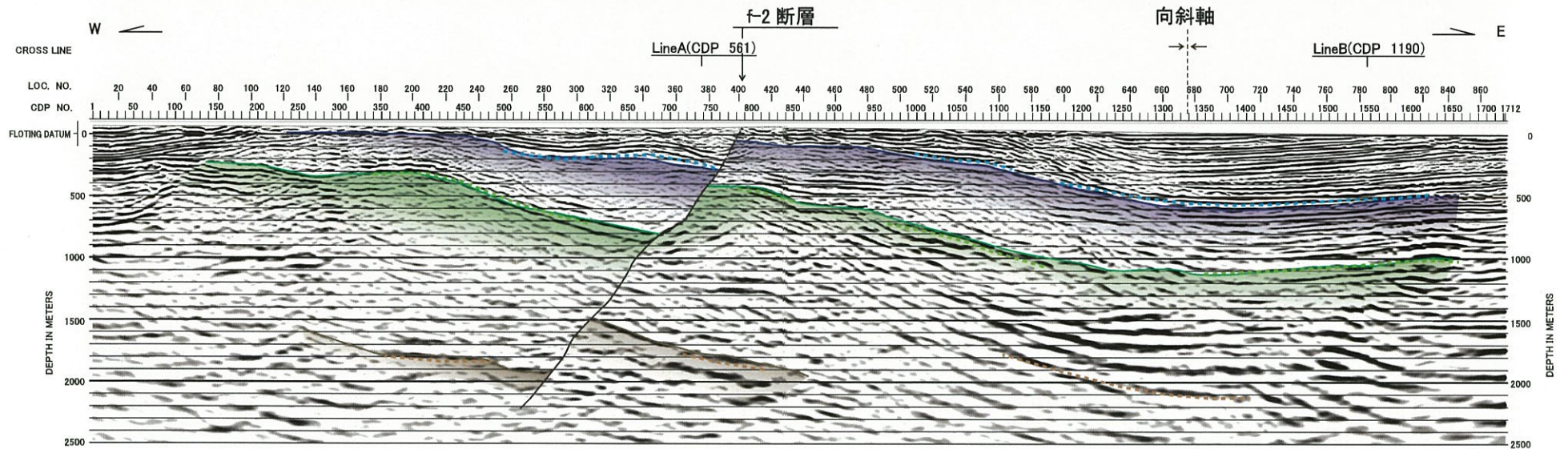
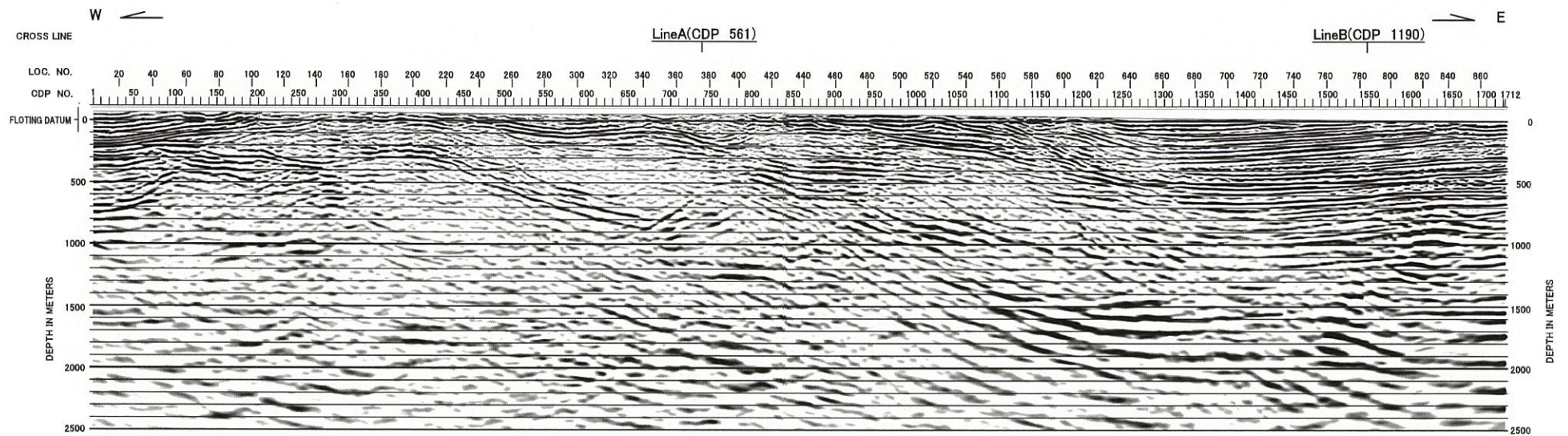
地質時代	記号	地層名
新第三紀	■	鷹架層 上部層
	■	鷹架層 中部層
	■	鷹架層 下部層
中新世	■	泊層 (凝灰角礫岩)
	■	泊層 (安山岩溶岩)
先第三紀	■	泊層 (砂質凝灰岩)
	■	尻屋層

地質解釈図凡例

地質時代	記号	地層名
新第三紀	■	鷹架層 下部層
中新世	■	泊層
先第三紀	■	尻屋層

注) 破線は主要反射面を示す。

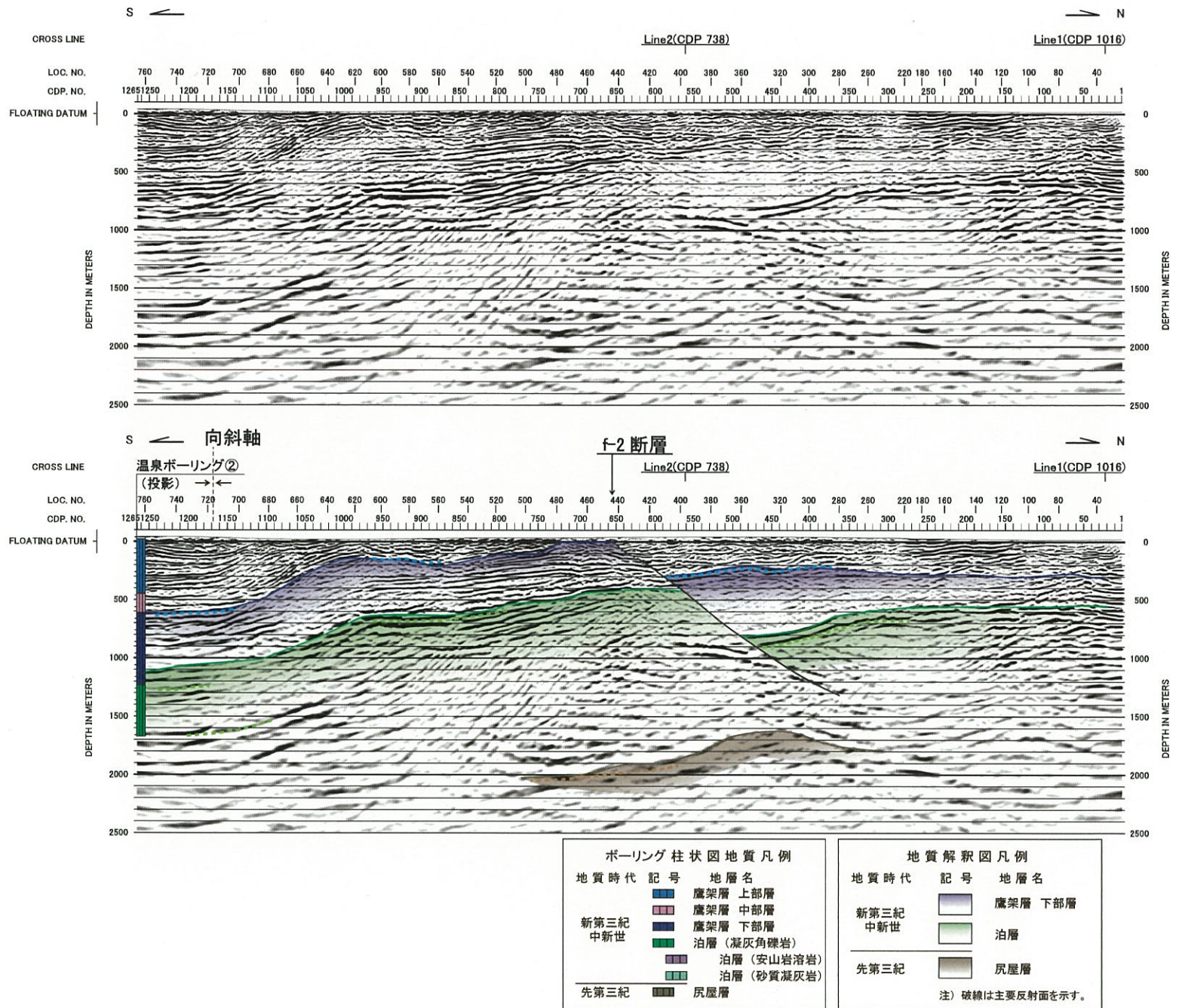
第4.3-7図(1) 敷地近傍の反射法地震探査結果図 (Line 1: 深度断面)  
4-4-452



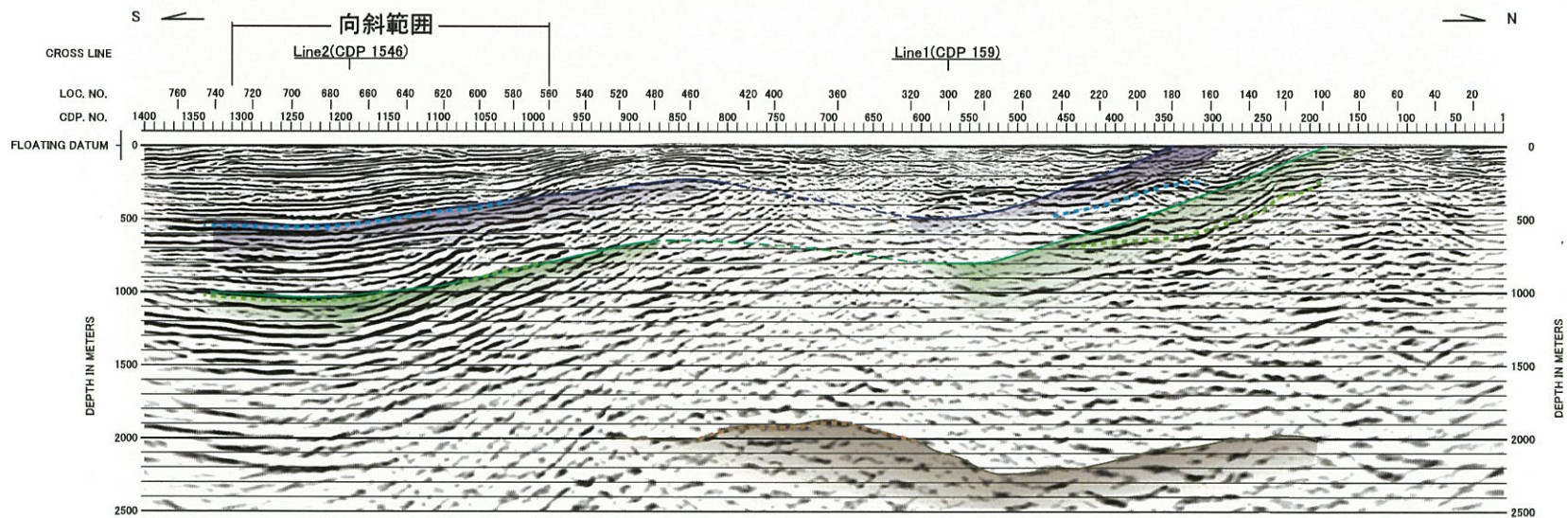
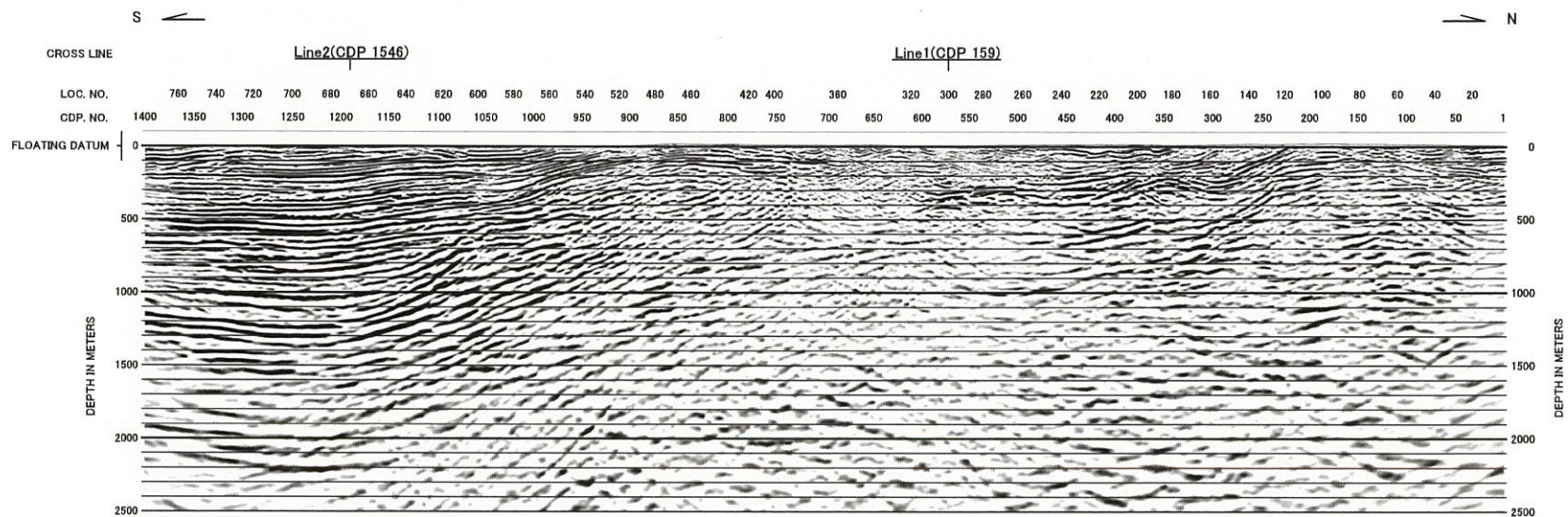
地質解釈図凡例		
地質時代	記号	地層名
新第三紀 中新世		鷹架層 下部層
		泊層
先第三紀		尻屋層

注) 破線は主要反射面を示す。

第4.3-7図(2) 敷地近傍の反射法地震探査結果図 (Line 2: 深度断面)



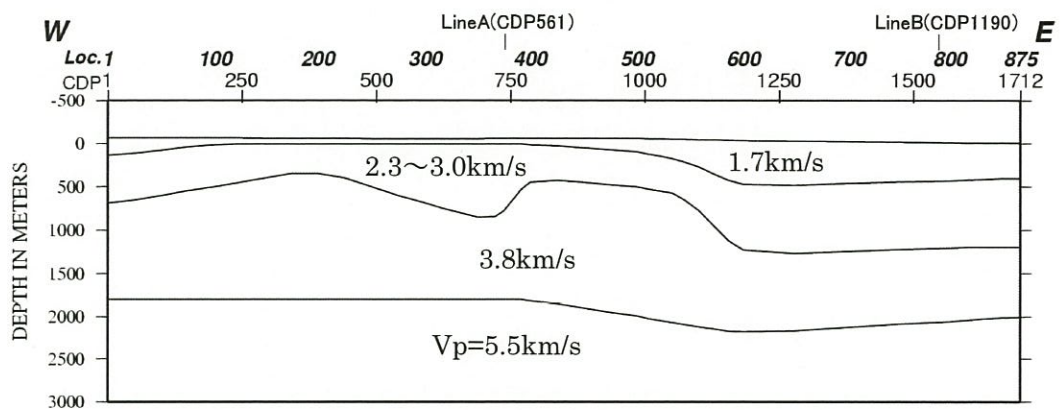
第4.3-7 図(3) 敷地近傍の反射法地震探査結果図 (Line A: 深度断面)



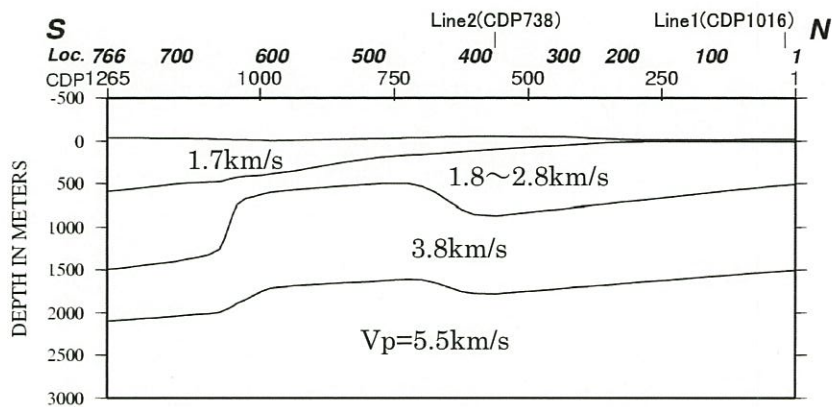
地質解釈図凡例		
地質時代	記号	地層名
新第三紀		鷹架層 下部層
中新世		泊層
先第三紀		尻屋層

注) 破線は主要反射面を示す。

第4.3-7 図(4) 敷地近傍の反射法地震探査結果図 (Line B: 深度断面)



Line2



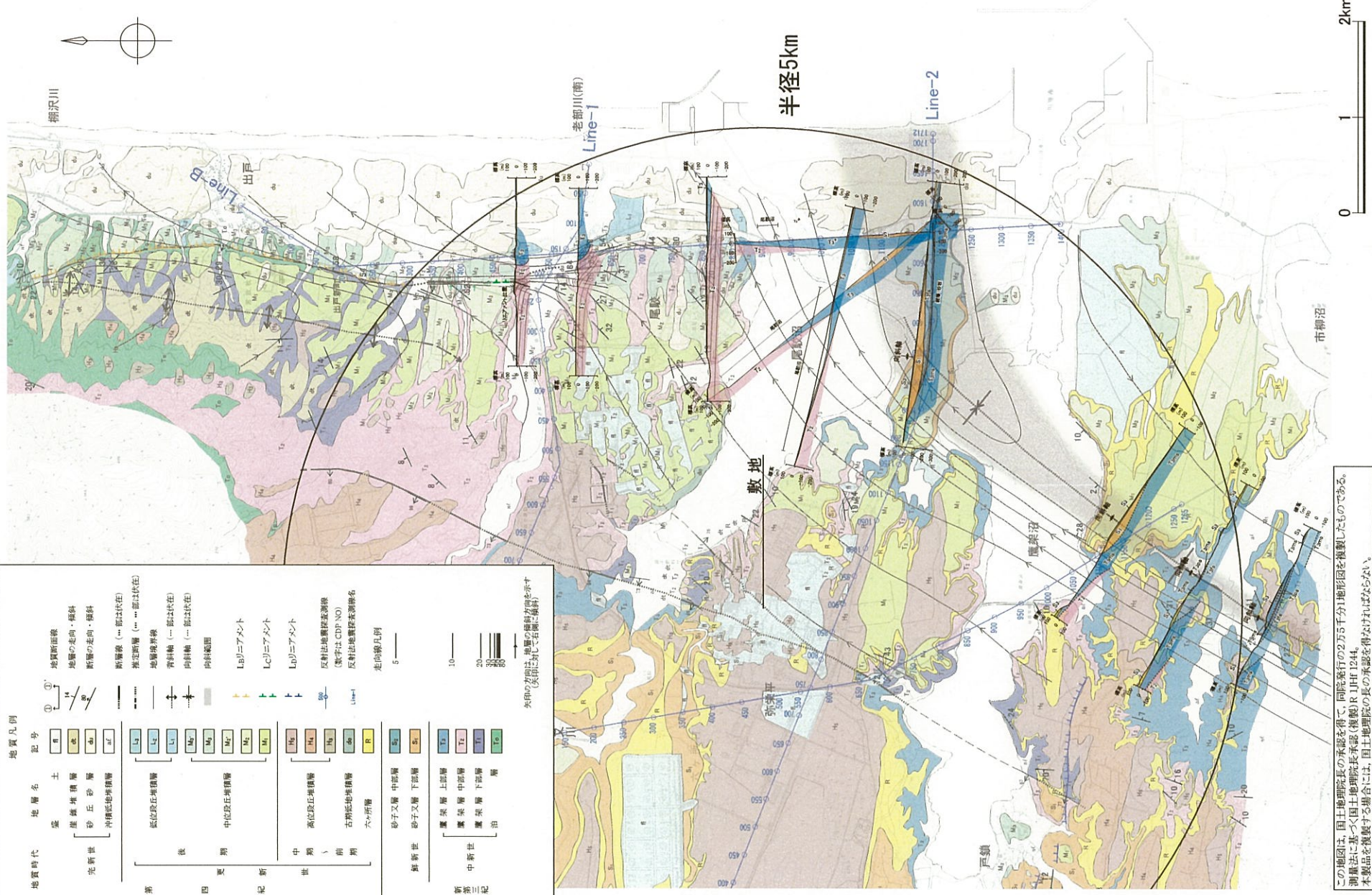
LineA

第4.3-7図(5) 敷地近傍の反射法地震探査結果図  
(Line 2, Line A : 屈折法地震探査による速度構造モデル)



地質時代	地層名	記号	地質凡例
先新世	土	W	地質断面線
	崖線堆積層	W1	地層の走向・傾斜
	砂丘砂層	W2	断層の走向・傾斜
第四紀	沖積低地堆積層	AL	断層線 (…部は伏在)
	低位原正堆積層	L1	推定断層 (…部は伏在)
		L2	地層境界線
		L3	背斜軸 (…部は伏在)
	中位原正堆積層	M1	向斜軸 (…部は伏在)
		M2	向斜範圍
		M3	Lgリアアメント
	高位原正堆積層	N1	Lcリアアメント
		N2	Ldリアアメント
		N3	反射法地層構造基線 (数字はCDF・VD)
前新世	古物誌地層積層	Q1	反射法地層構造基線名
	六ヶ所層	R	走向線凡例
	砂子文層 中部層	S1	5
新新世	砂子文層 下部層	S2	10
	蘆花層 上部層	T1	20
中新世	蘆花層 中部層	T2	30
	蘆花層 下部層	T3	40
	田	T4	50

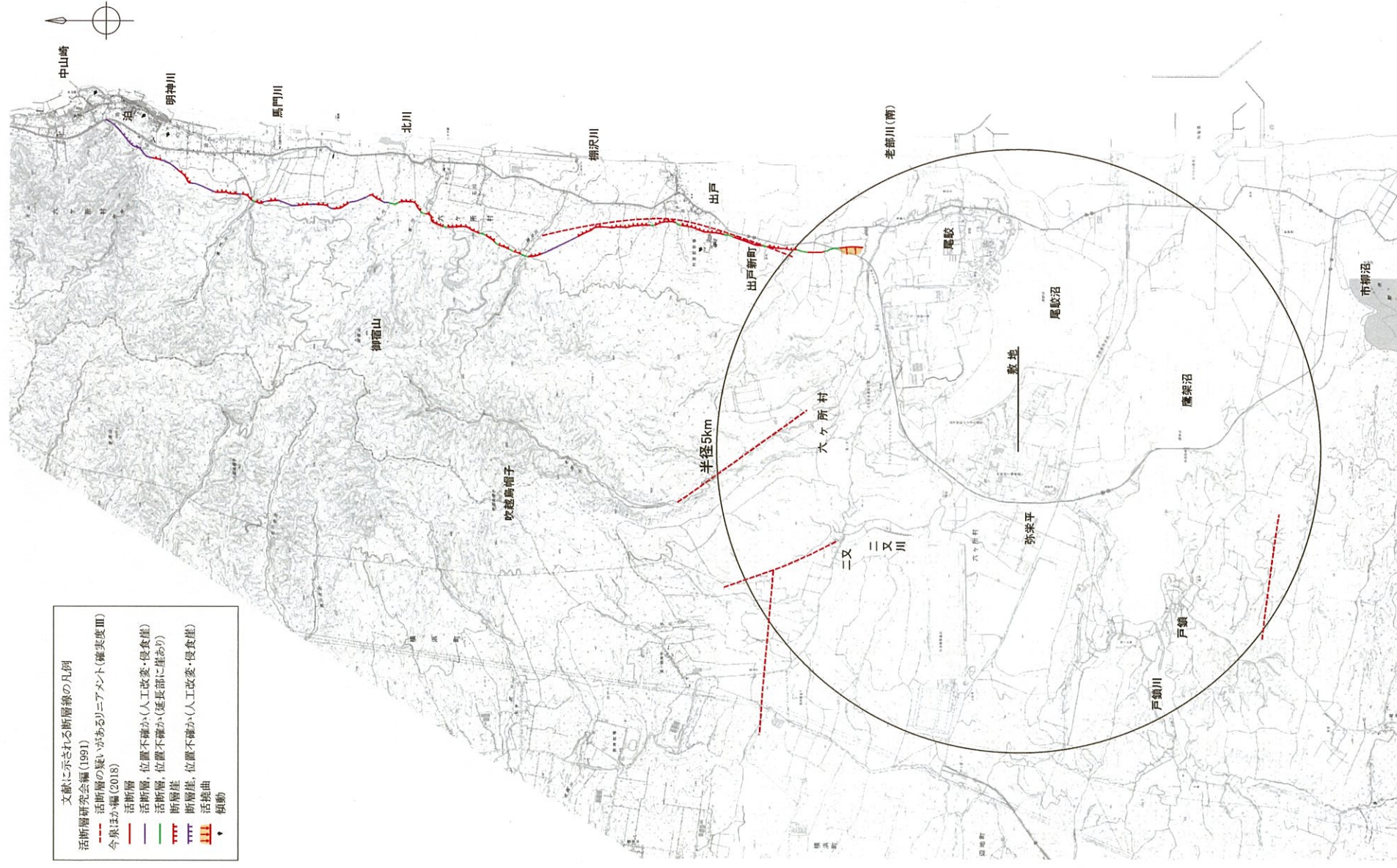
矢印の方向は、地層の傾斜角を示す  
(矢印に対して各層に番号)



第4.3-8図 出戸西方断層及び南方の向斜構造の地質構造図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。  
測量法に基づき国土地理院長承認複製R.1.HF.1244  
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

- 文献に示される活断層線の凡例
- 活断層研究会編(1991)
- 活断層の疑いがあるリニアメント(確実度Ⅲ)
  - 今果ほか編(2018)
  - 活断層
  - 活断層, 位置不確か(人工改変・侵食崖)
  - 活断層, 位置不確か(延長部に基あり)
  - 断層崖
  - 断層崖, 位置不確か(人工改変・侵食崖)
  - 活接曲
  - ↓ 傾動

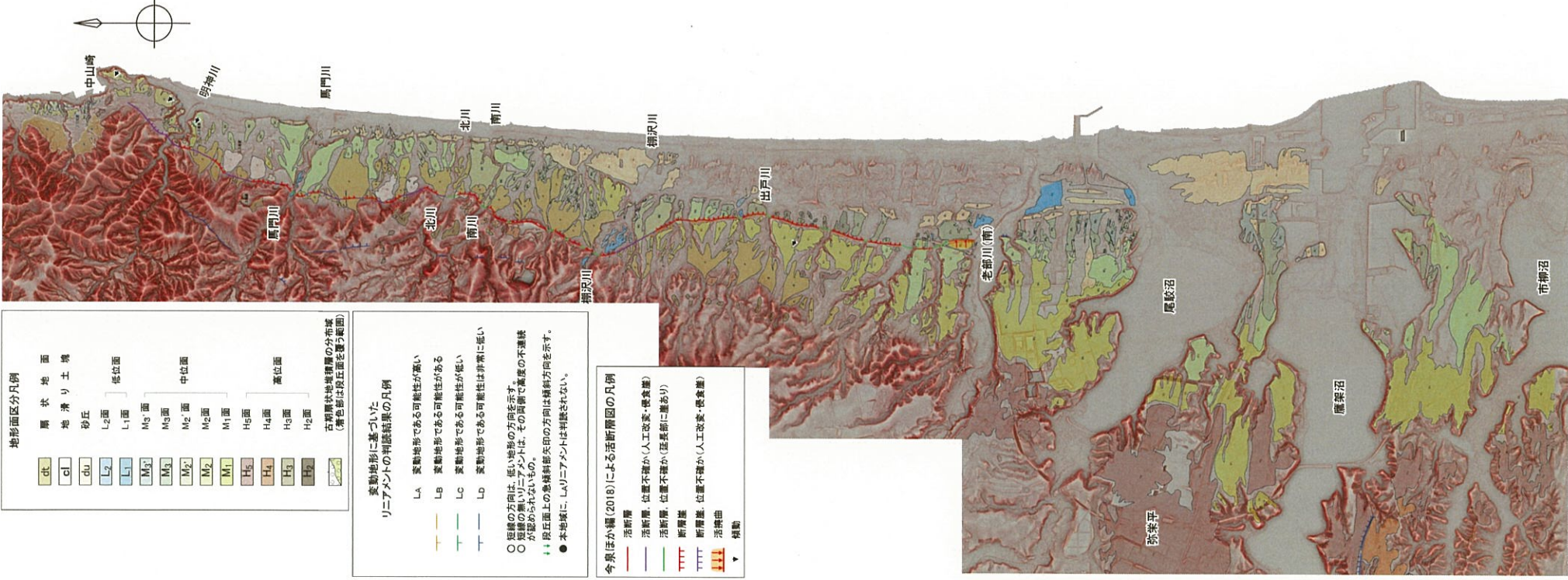


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分の地形図を複製したものである。  
 測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R-UHF1244。  
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

第4.3-9 敷地近傍の活断層分布図 (半径約5 km範囲)







地形面区分凡例

cl	扇状地	面
cl	地溝	面
du	砂丘	面
L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub> 面	低位面
L <sub>2</sub>	L <sub>1</sub> 面	
M <sub>1</sub>	M <sub>2</sub> 面	中位面
M <sub>2</sub>	M <sub>1</sub> 面	
M <sub>3</sub>	M <sub>2</sub> 面	
M <sub>3</sub>	M <sub>1</sub> 面	
H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub> 面	高位面
H <sub>2</sub>	H <sub>1</sub> 面	
H <sub>3</sub>	H <sub>2</sub> 面	
H <sub>4</sub>	H <sub>3</sub> 面	
H <sub>5</sub>	H <sub>4</sub> 面	
H <sub>6</sub>	H <sub>5</sub> 面	

主幹線地形地帯の区分  
(着色部は段丘面を指す範囲)

変動地形に基づいた  
リニアメントの判読結果の凡例

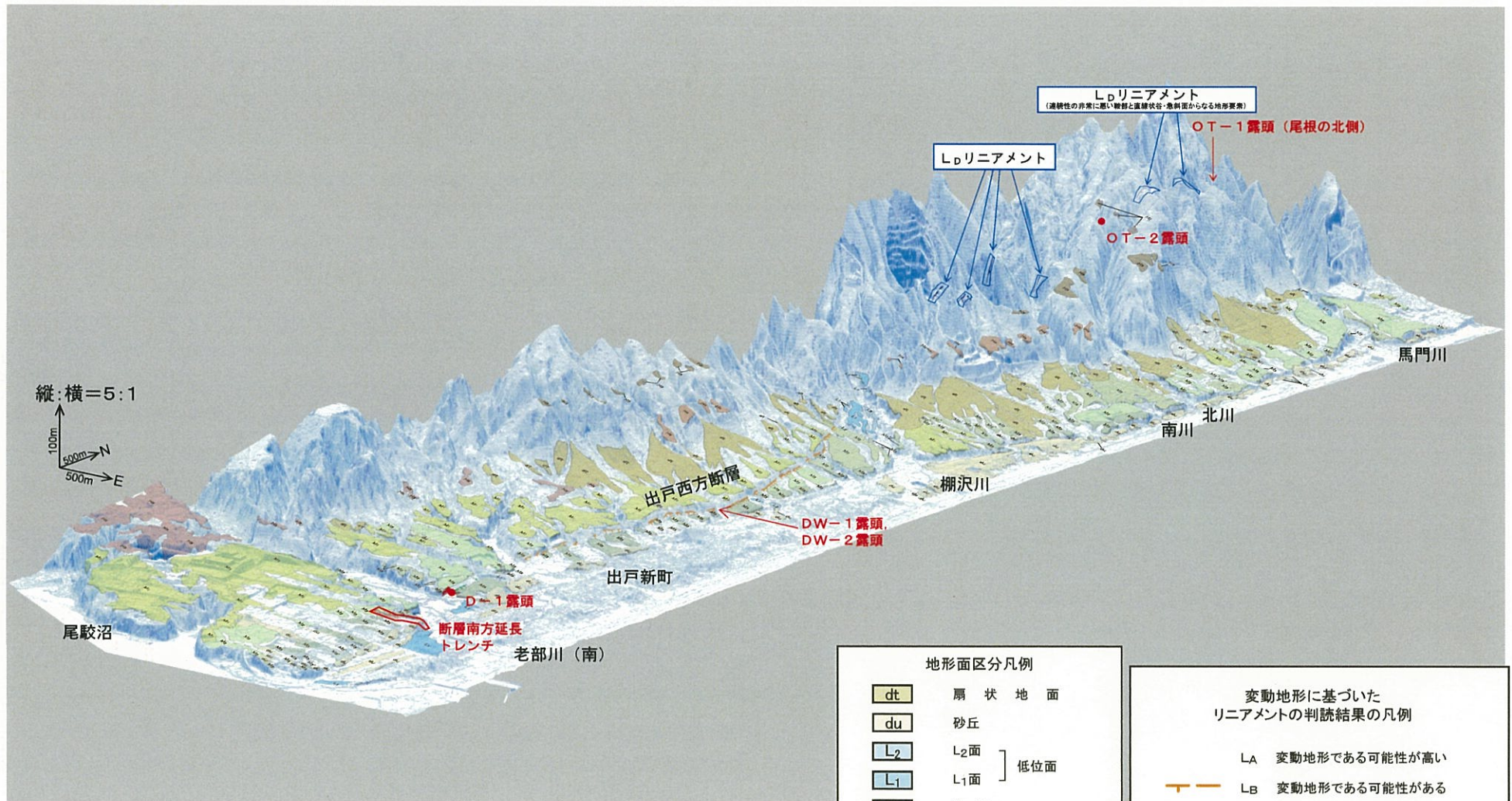
LA 変動地形である可能性が高い  
LB 変動地形である可能性がある  
LC 変動地形である可能性が低い  
LB 変動地形である可能性は非常に低い

○ 短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
○ 短線の無いリニアメントは、その周囲で高度の不連続が認められないもの。  
++ 段丘面上の急傾斜部矢印の方向は傾斜方向を示す。  
● 本地区に、Lリニアメントは判読されない。

今泉ほか編(2018)による活断層図の凡例

— 活断層  
— 活断層、位置不確か(人工改変・侵食)あり  
— 活断層、位置不確か(延長部に限り)  
— 断層線  
— 断層線、位置不確か(人工改変・侵食)あり  
— 活断層  
— 活断層

赤色立体地図 (C) アリアーランド株式会社  
第4.3-10図(3) 赤色立体地図(今泉ほか編(2018)の活断層図と当社判読図との重ね図)



地形面区分凡例

dt	扇状地面
du	砂丘
L <sub>2</sub>	L <sub>2</sub> 面
L <sub>1</sub>	L <sub>1</sub> 面
M <sub>3</sub> '	M <sub>3</sub> '面
M <sub>3</sub>	M <sub>3</sub> 面
M <sub>2</sub> '	M <sub>2</sub> '面
M <sub>2</sub>	M <sub>2</sub> 面
M <sub>1</sub>	M <sub>1</sub> 面
H <sub>5</sub>	H <sub>5</sub> 面
H <sub>4</sub>	H <sub>4</sub> 面
H <sub>3</sub>	H <sub>3</sub> 面
H <sub>2</sub>	H <sub>2</sub> 面

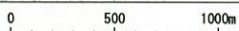
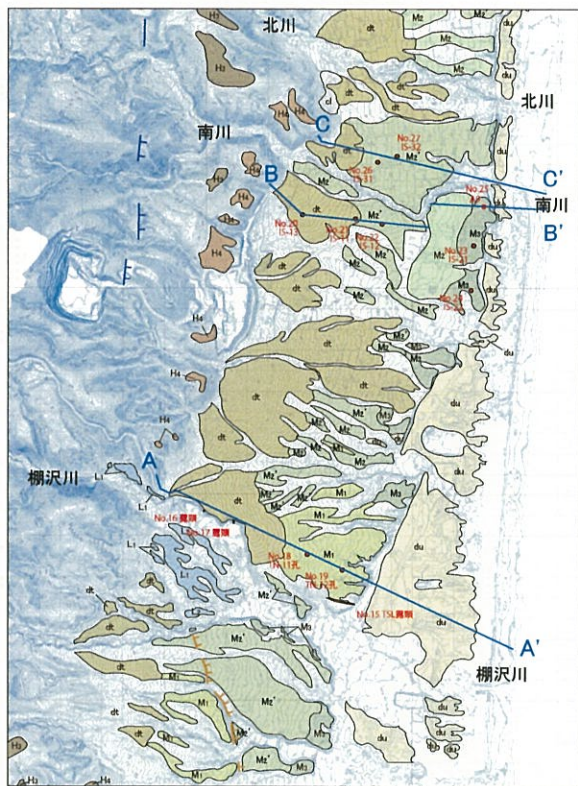
変動地形に基づいたリニアメントの判読結果の凡例

LA	変動地形である可能性が高い
LB	変動地形である可能性がある
LC	変動地形である可能性が低い
LD	変動地形である可能性は非常に低い

○ 短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
 ○ 短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。  
 ↓↓ 段丘面上の急傾斜部矢印の方向は傾斜方向を示す。  
 ● 本地域に、LAリニアメントは判読されない。

第4.3-11図 出戸西方断層周辺の空中写真判読図 (鳥瞰図)  
 4-4-462





地形面区分凡例

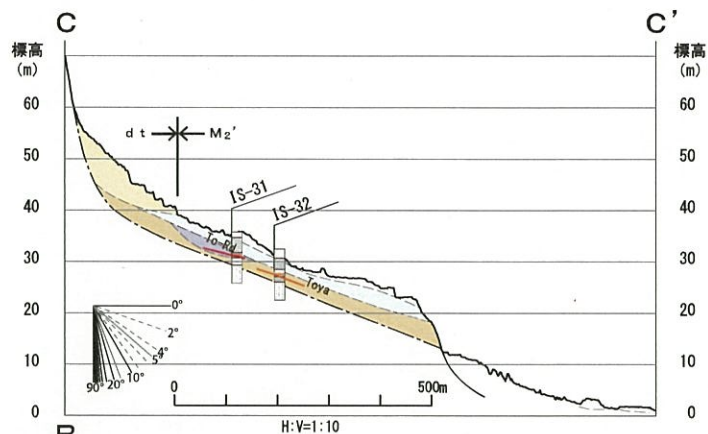
dt	扇状地面
cl	地すべり土塊
du	砂丘
L <sub>2</sub>	L <sub>2</sub> 面
L <sub>1</sub>	L <sub>1</sub> 面
M <sub>3</sub> '	M <sub>3</sub> '面
M <sub>3</sub>	M <sub>3</sub> 面
M <sub>2</sub> '	M <sub>2</sub> '面
M <sub>2</sub>	M <sub>2</sub> 面
M <sub>1</sub>	M <sub>1</sub> 面
H <sub>5</sub>	H <sub>5</sub> 面
H <sub>4</sub>	H <sub>4</sub> 面
H <sub>3</sub>	H <sub>3</sub> 面
H <sub>2</sub>	H <sub>2</sub> 面

断面位置 A-A'

変動地形に基づいた  
リニアメントの判読結果の凡例

—	L <sub>A</sub> 変動地形である可能性が高い
- - -	L <sub>B</sub> 変動地形である可能性がある
---	L <sub>C</sub> 変動地形である可能性が低い
---	L <sub>D</sub> 変動地形である可能性は非常に低い

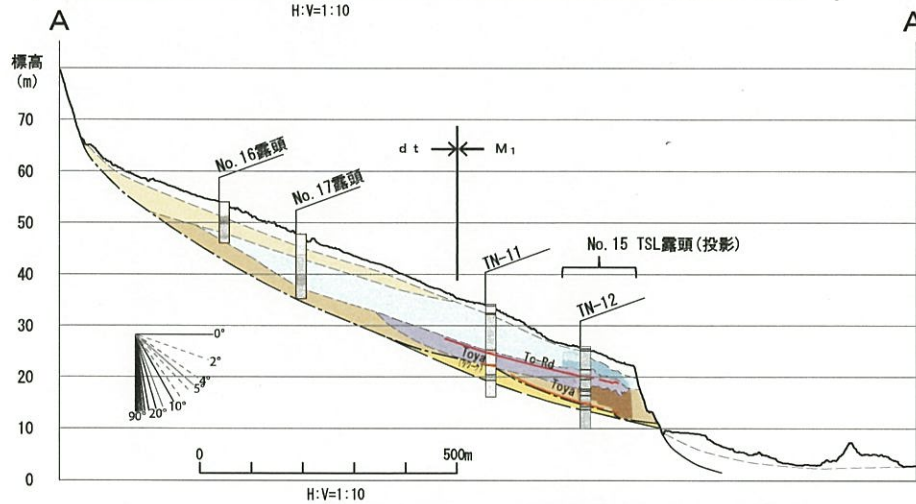
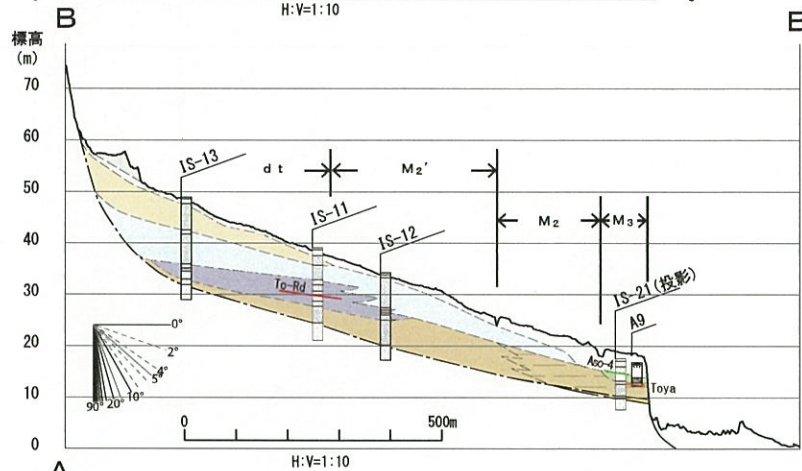
○ 短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
○ 短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。  
↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部矢印の方向は傾斜方向を示す。  
● 本地域に、L<sub>A</sub>リニアメントは判読されない。



地質区分 凡例

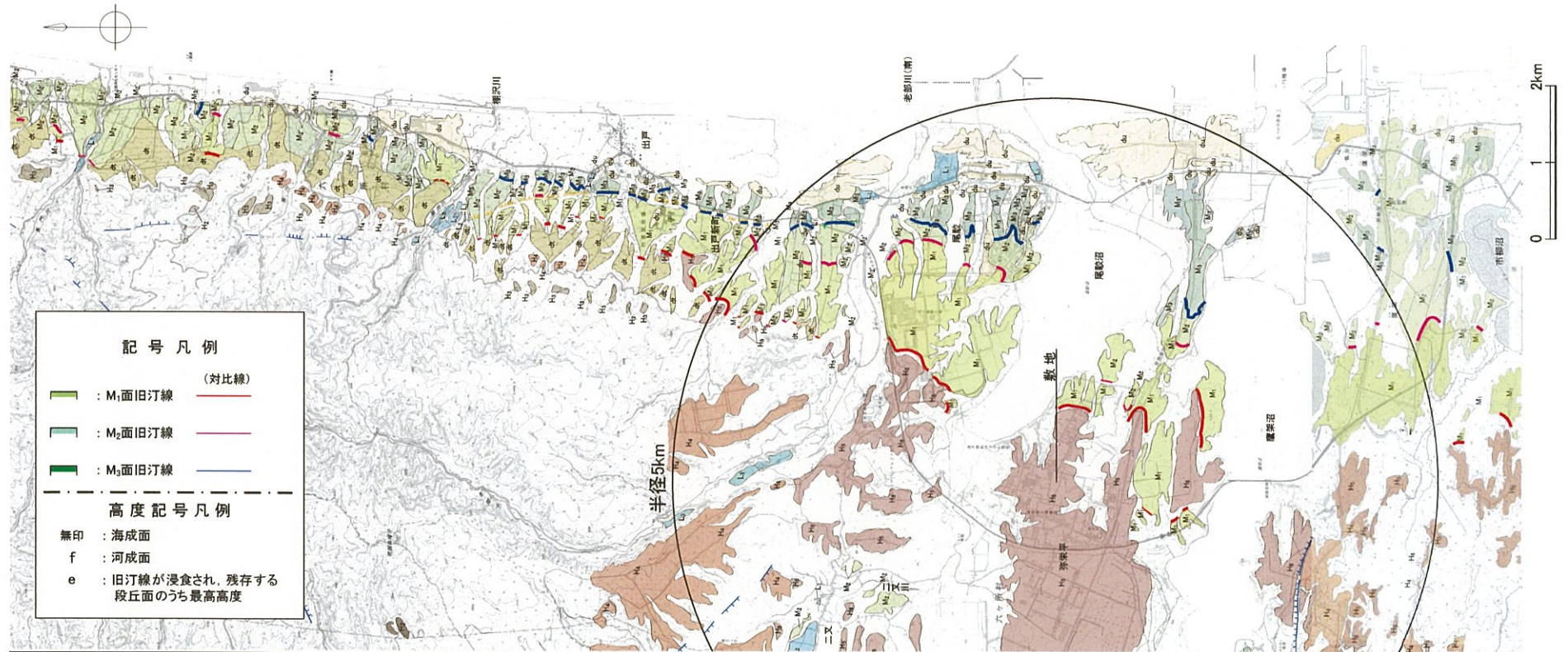
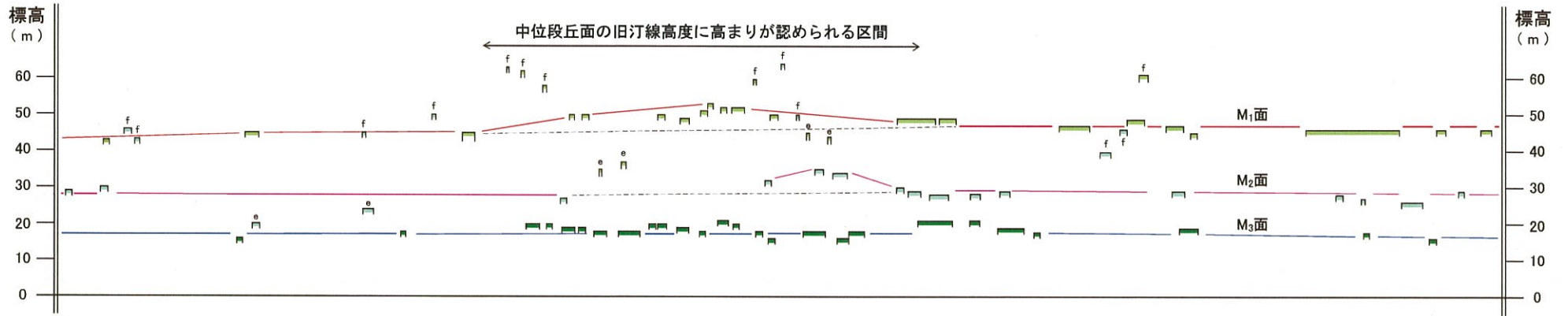
□	ローム	...	(風成堆積物)
■	砂礫	...	(崖錐堆積物)
■	砂~砂礫	...	(扇状地性堆積物)
■	泥炭・腐植質シルト ~シルト互層	...	(湿地堆積物)
■	シルト質砂~砂	...	(海成堆積物)
■	扁平礫含む砂礫	...	(河成堆積物)
■	砂礫	...	(河成堆積物)
■	淘汰の良い砂	...	(海成堆積物)
■	泊層	...	(新第三紀中新統)

— To-Rd : 十和田レッド  
— afa : ガラス質細粒火山灰  
— Toya : 洞爺火山灰



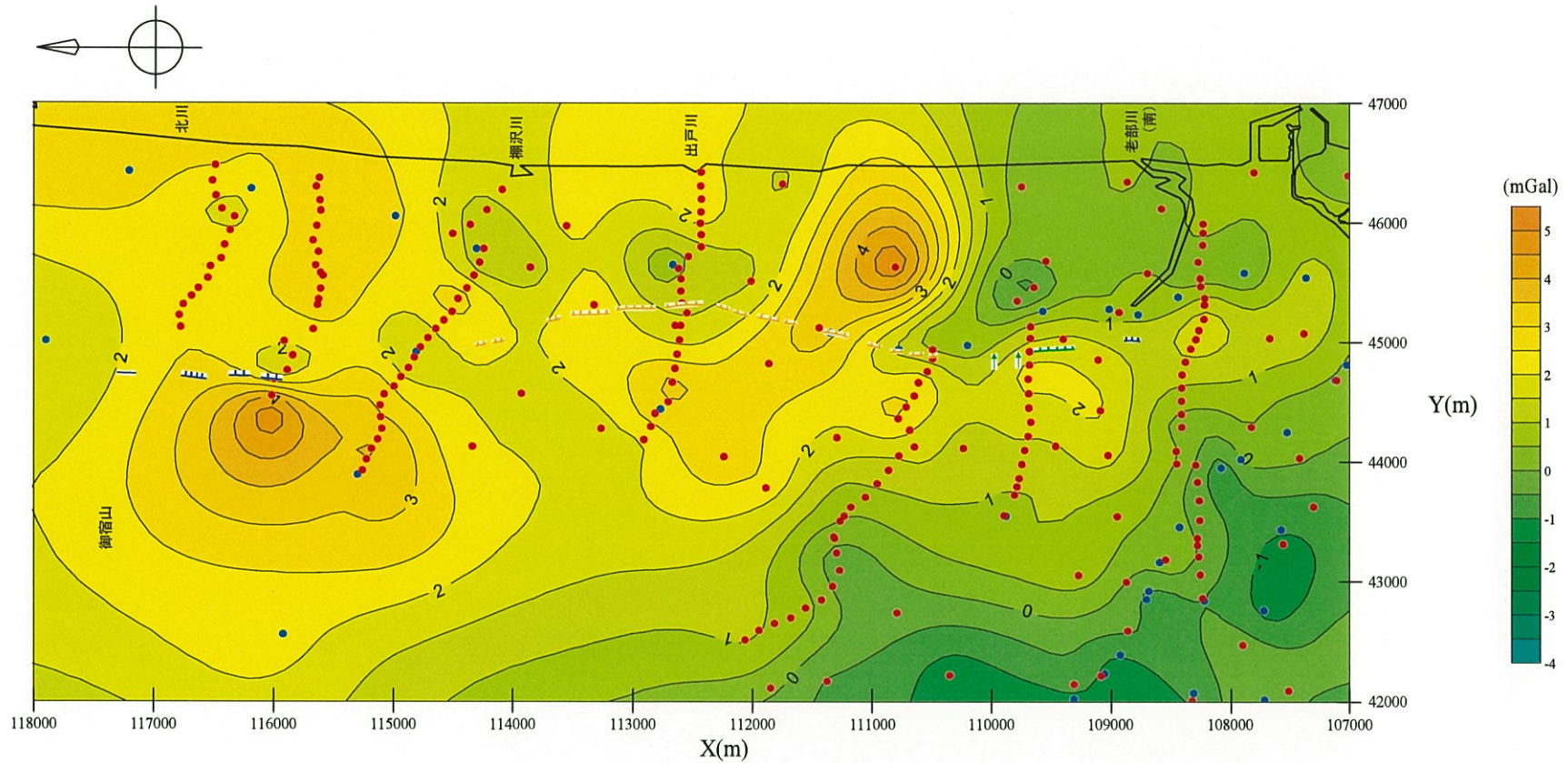
第4.3-13図 六ヶ所村棚沢川以北の平野部におけるボーリング調査結果図





この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

第4.3-14図 出戸西方断層周辺の旧汀線高度分布図  
4-4-465



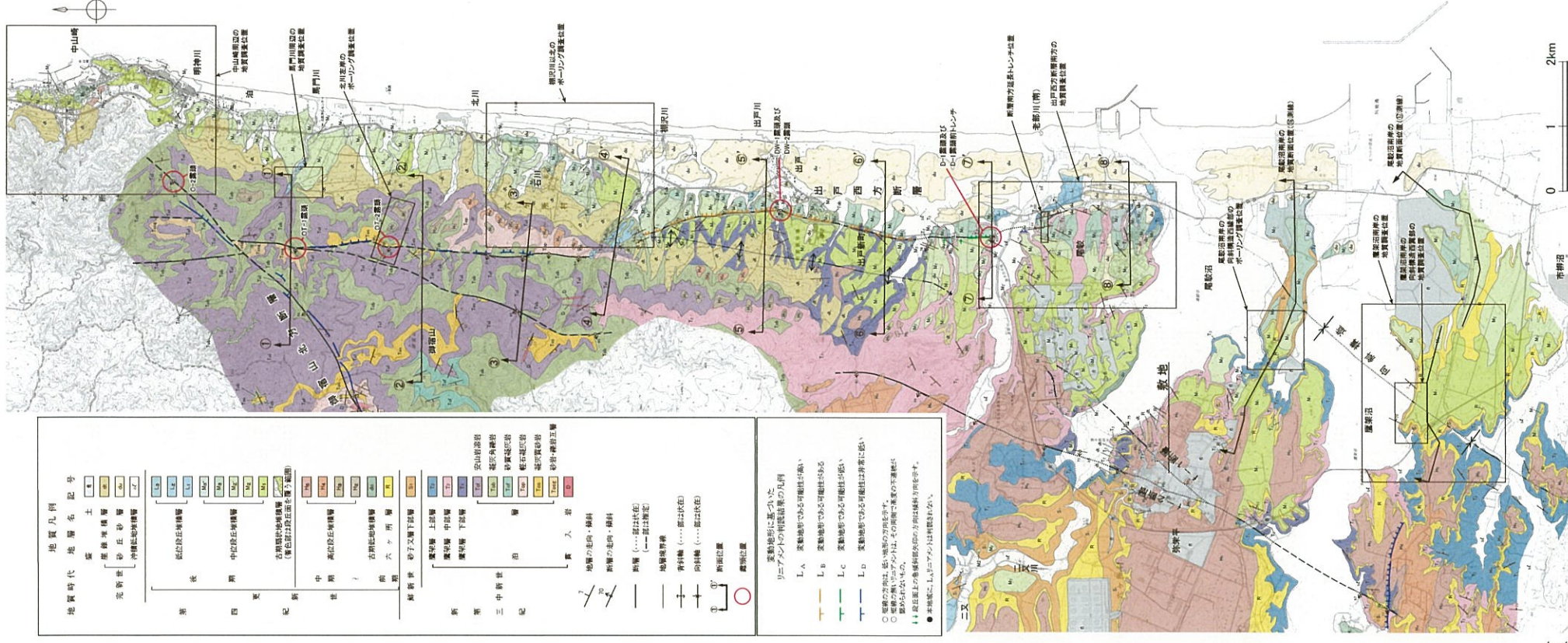
変動地形に基づいた  
リニアメントの判読結果の凡例

- L<sub>A</sub> 変動地形である可能性が高い
  - L<sub>B</sub> 変動地形である可能性がある
  - L<sub>C</sub> 変動地形である可能性が低い
  - L<sub>D</sub> 変動地形である可能性は非常に低い
- 短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
 ○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。  
 ↓↓ 段丘面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。  
 ●本地域にL<sub>A</sub>リニアメントは判読されない。

残差重力分布図の凡例

- 重力測定点
  - 産業技術総合研究所地質調査総合センター編(2013)の重力測定点
- ブーゲー密度値は、2.2g/cm<sup>3</sup>を使用  
 座標値は、平面直角座標第Ⅱ系

第4.3-15図 出戸西方断層周辺の残差重力分布図  
4-4-466



**地質凡例**

地質時代 地層名 記号

完新世	埋没沖積層	Q1
第四紀	沖積地層	Q2
	沖積地層	Q3
第三紀	低位段正沖積層	N1
	低位段正沖積層	N2
	中位段正沖積層	N3
	高位段正沖積層	N4
白垩紀	古沖積地層	K1
	古沖積地層	K2
中新世	高砂層	M1
	高砂層	M2
上新世	高砂層	M3
	高砂層	M4
第四紀	高砂層	M5
	高砂層	M6
第三紀	高砂層	M7
	高砂層	M8
白垩紀	高砂層	M9
	高砂層	M10
中新世	高砂層	M11
	高砂層	M12
上新世	高砂層	M13
	高砂層	M14
第四紀	高砂層	M15
	高砂層	M16
第三紀	高砂層	M17
	高砂層	M18
白垩紀	高砂層	M19
	高砂層	M20
中新世	高砂層	M21
	高砂層	M22
上新世	高砂層	M23
	高砂層	M24
第四紀	高砂層	M25
	高砂層	M26
第三紀	高砂層	M27
	高砂層	M28
白垩紀	高砂層	M29
	高砂層	M30
中新世	高砂層	M31
	高砂層	M32
上新世	高砂層	M33
	高砂層	M34
第四紀	高砂層	M35
	高砂層	M36
第三紀	高砂層	M37
	高砂層	M38
白垩紀	高砂層	M39
	高砂層	M40
中新世	高砂層	M41
	高砂層	M42
上新世	高砂層	M43
	高砂層	M44
第四紀	高砂層	M45
	高砂層	M46
第三紀	高砂層	M47
	高砂層	M48
白垩紀	高砂層	M49
	高砂層	M50
中新世	高砂層	M51
	高砂層	M52
上新世	高砂層	M53
	高砂層	M54
第四紀	高砂層	M55
	高砂層	M56
第三紀	高砂層	M57
	高砂層	M58
白垩紀	高砂層	M59
	高砂層	M60
中新世	高砂層	M61
	高砂層	M62
上新世	高砂層	M63
	高砂層	M64
第四紀	高砂層	M65
	高砂層	M66
第三紀	高砂層	M67
	高砂層	M68
白垩紀	高砂層	M69
	高砂層	M70
中新世	高砂層	M71
	高砂層	M72
上新世	高砂層	M73
	高砂層	M74
第四紀	高砂層	M75
	高砂層	M76
第三紀	高砂層	M77
	高砂層	M78
白垩紀	高砂層	M79
	高砂層	M80
中新世	高砂層	M81
	高砂層	M82
上新世	高砂層	M83
	高砂層	M84
第四紀	高砂層	M85
	高砂層	M86
第三紀	高砂層	M87
	高砂層	M88
白垩紀	高砂層	M89
	高砂層	M90
中新世	高砂層	M91
	高砂層	M92
上新世	高砂層	M93
	高砂層	M94
第四紀	高砂層	M95
	高砂層	M96
第三紀	高砂層	M97
	高砂層	M98
白垩紀	高砂層	M99
	高砂層	M100

地質の走向・傾斜  
断層の走向・傾斜  
断層 (---) 断層は伏在  
断層 (---) 断層は露出  
地層境界線  
向斜軸 (---) 断層は伏在  
向斜軸 (---) 断層は露出  
断層記号  
断層記号

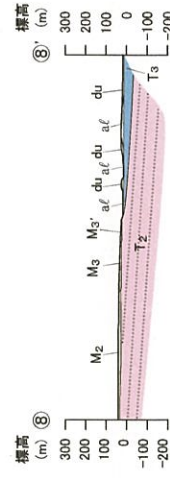
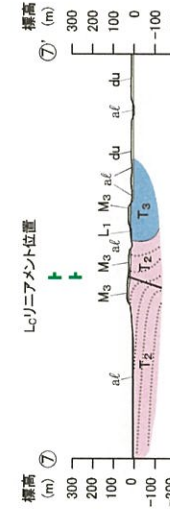
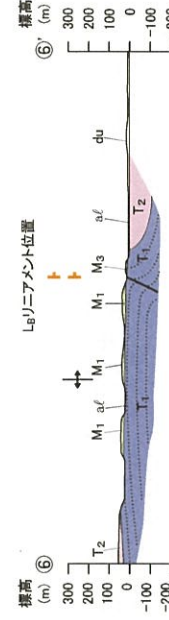
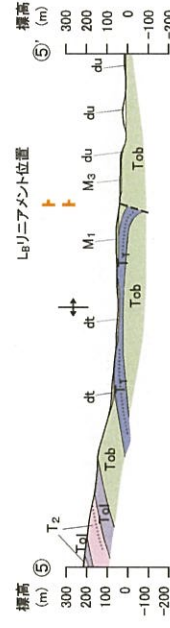
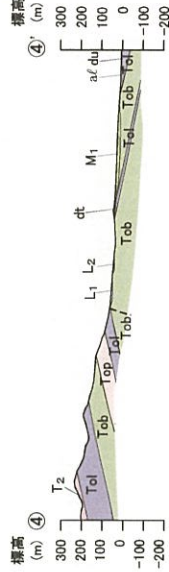
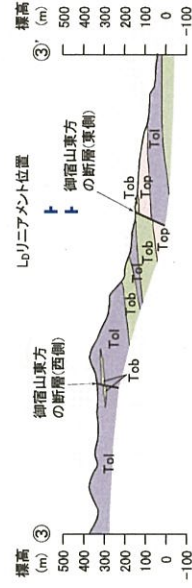
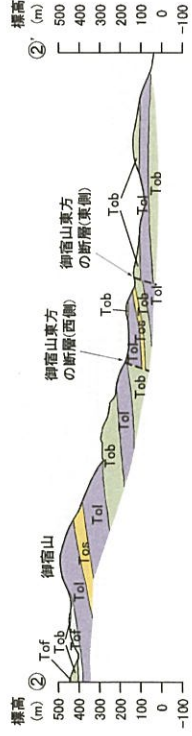
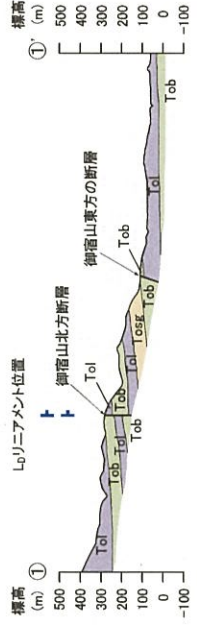
変動地形に基づいた  
リニアメントの判別結果の凡例

L-A 変動地形である可能性が高い  
L-B 変動地形である可能性がある  
L-C 変動地形である可能性が低い  
L-D 変動地形である可能性は非常に低い

○ 傾斜の方向は、図中の矢印の方向を示す。  
○ 傾斜がないリニアメントは、その両側で高度の差が認められないもの。  
● 本図面上の番号は傾斜の方向は不明である。

4-4-467

第4.3-16図 出戸西方断層周辺の地質平面図



地質凡例

地質時代 地層名 記号

第 完新世 第 完新世

- dt 崖錐堆積層
- du 砂丘砂層
- af 沖積低地堆積層

第四紀

更新世

- L2 低位段丘堆積層
- L1 低位段丘堆積層
- M3' 中位段丘堆積層
- M3 中位段丘堆積層
- M2' 中位段丘堆積層
- M2 中位段丘堆積層
- M1 中位段丘堆積層

新第三紀

上新世

- T3 鷹架層 上部層
- T2 鷹架層 中部層
- T1 鷹架層 下部層
- Tol 安山岩溶岩
- Tob 凝灰角礫岩
- Tof 砂質凝灰岩
- Top 礫石凝灰岩
- Tos 凝灰質砂岩
- Tosg 砂岩・礫岩互層

断層 (---部は推定)

地層境界線

層理

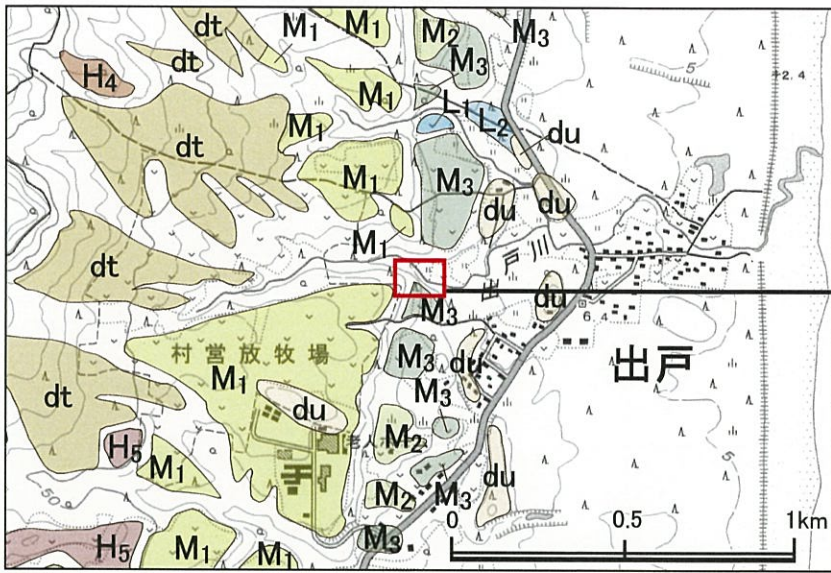
背斜軸

L<sub>B</sub> リニアメント

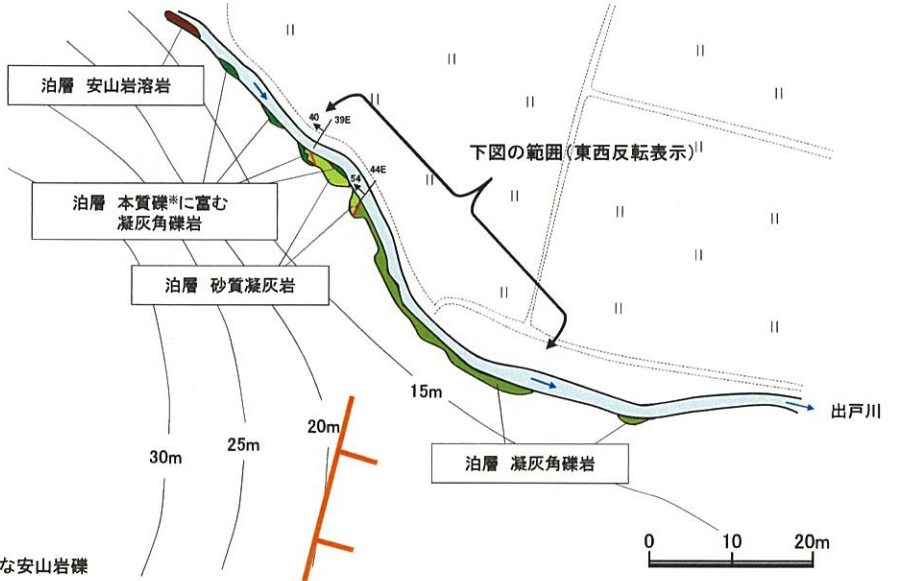
L<sub>C</sub> リニアメント

L<sub>D</sub> リニアメント

第4.3-17図 出戸西方断層周辺の地質断面図



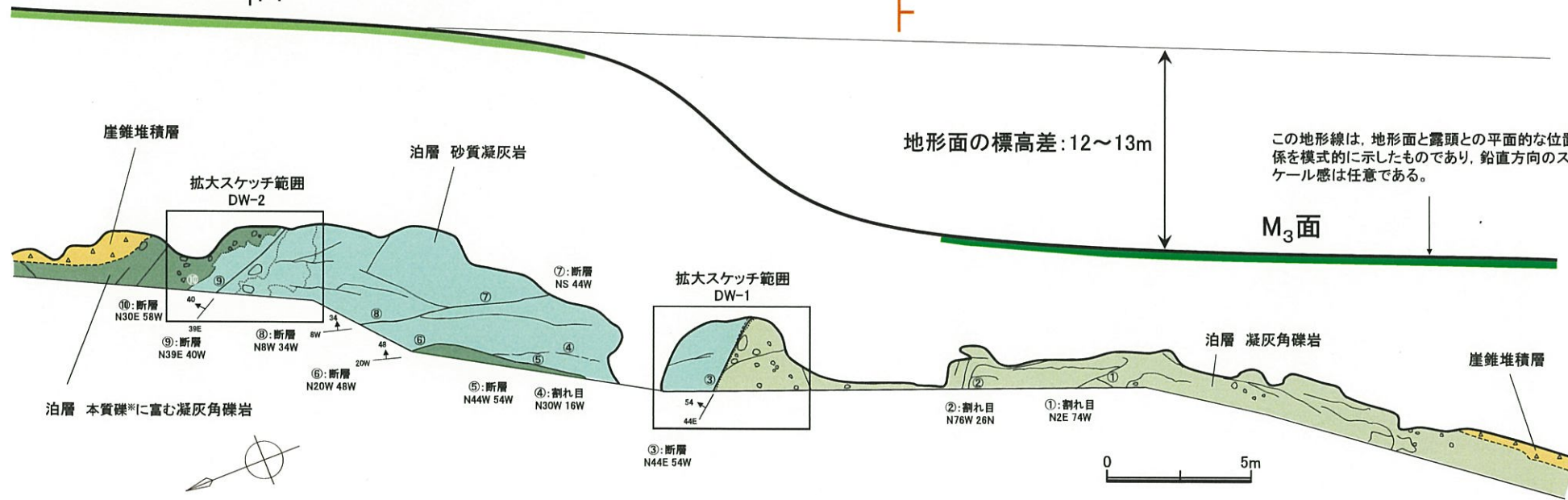
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHf1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



※: 新鮮な安山岩礫

L<sub>B</sub>リニアメント

M<sub>1</sub>面



地形面の標高差: 12~13m

この地形線は、地形面と露頭との平面的な位置関係を模式的に示したものであり、鉛直方向のスケール感は任意である。

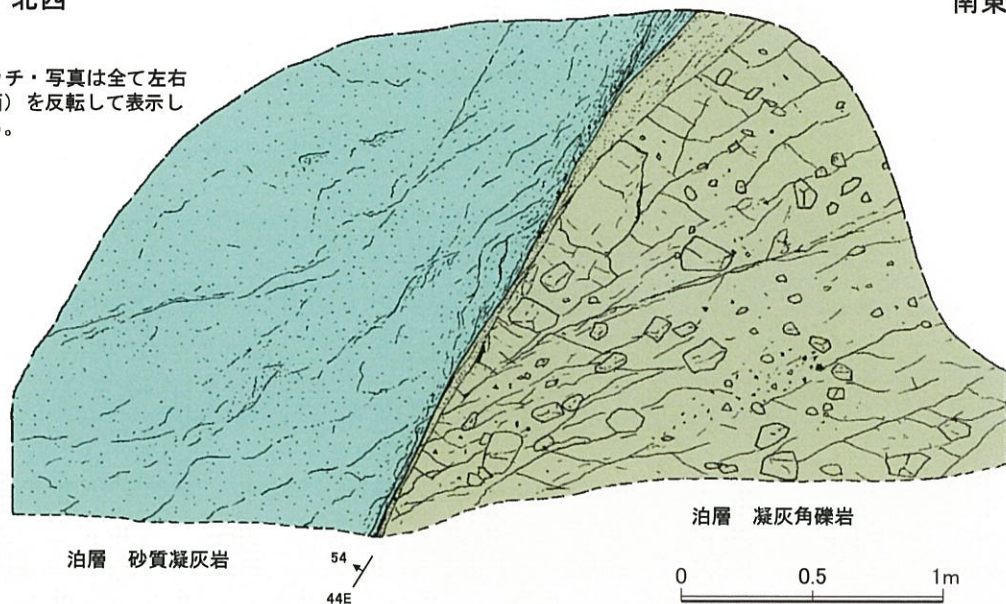
M<sub>3</sub>面

第4.3-18図 出戸川沿いの断層露頭周辺のルートマップ  
4-4-469

北西

南東

・スケッチ・写真は全て左右  
(東西)を反転して表示し  
ている。

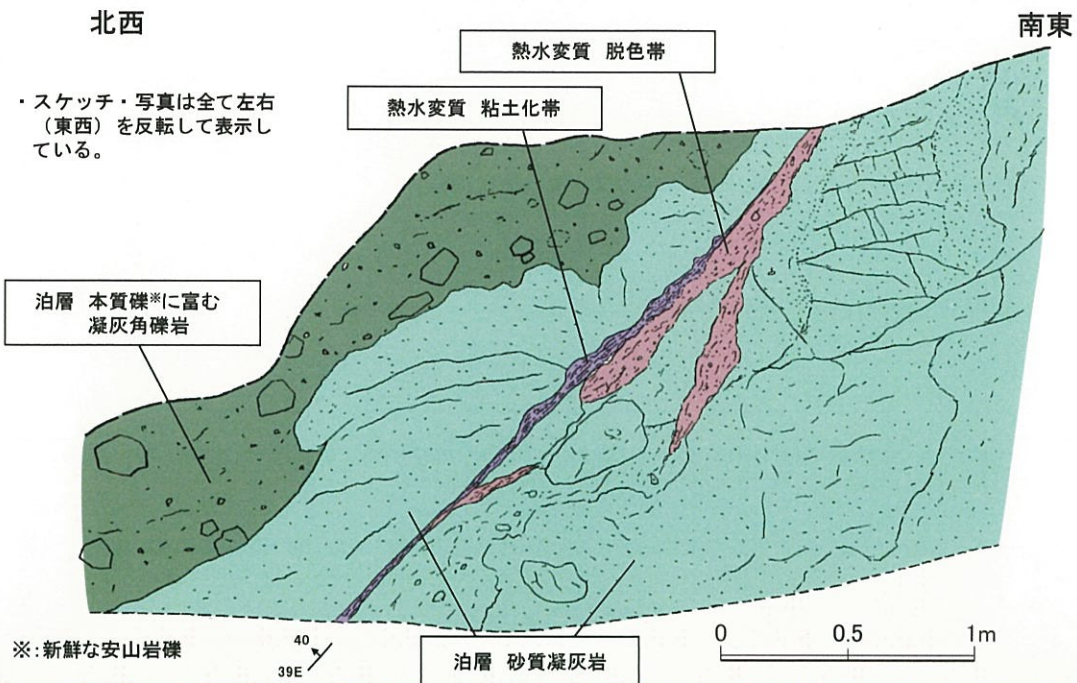


- ・ 泊層の凝灰角礫岩（下盤）と、砂質凝灰岩（上盤）とを境する断層。
- ・ 断層の走向傾斜は N44E, 54W であり、断層面は明瞭かつシャープである。



- ・ 断層面には、フィルム状の断層粘土が認められる。
- ・ 断層面の下盤側には、厚さ 5cm前後の砂状～礫状破砕部が認められる。
- ・ 断層面の上盤側には、断層面から幅約 40cmにわたり、断層と同系統の微細な割れ目が密集し、断層直近では角礫化した砂質凝灰岩礫が認められる。

第4.3-19図(1) 出戸川沿いの断層露头スケッチ図 (DW-1 露头)  
4-4-470

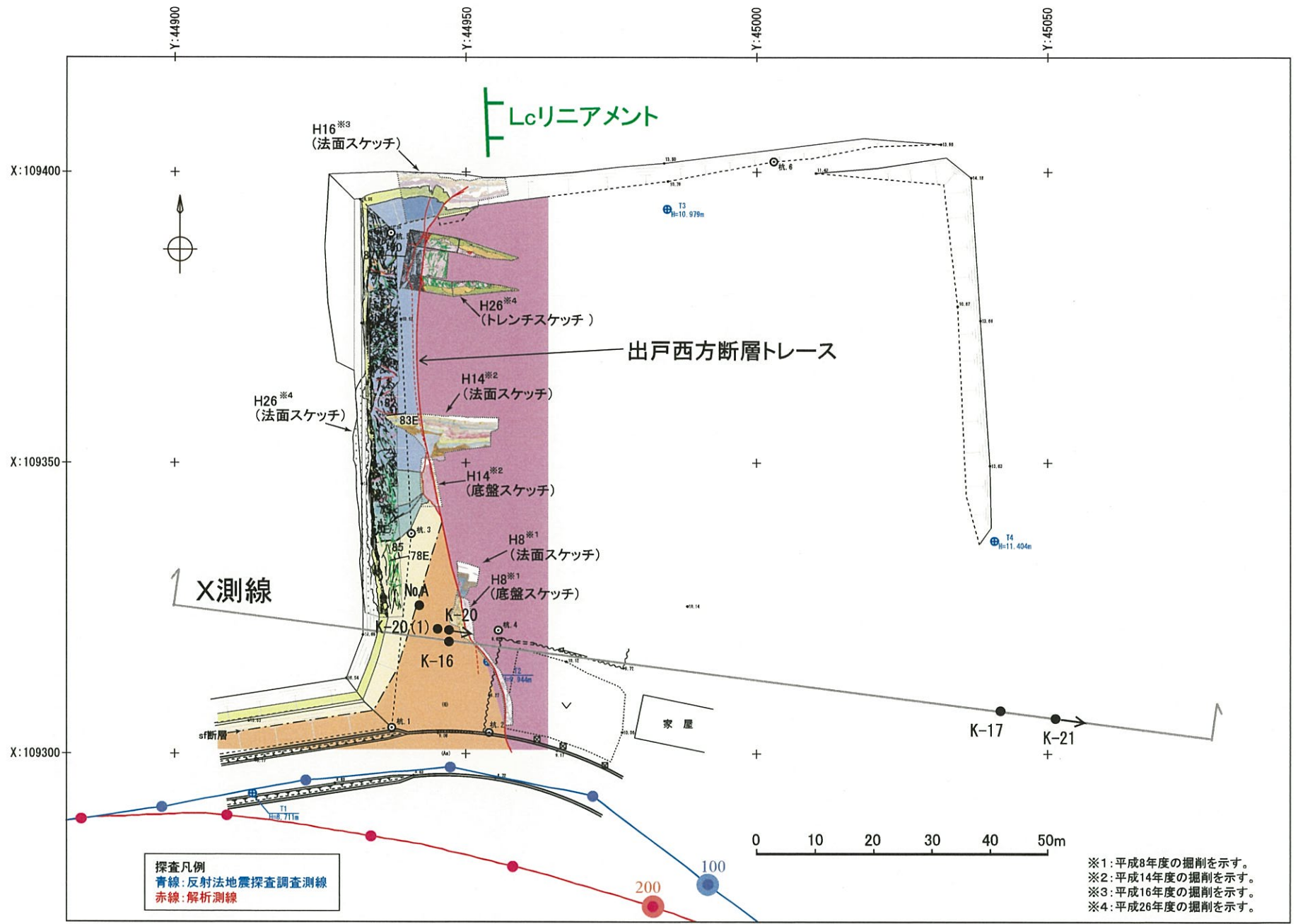


- ・断層に沿って全体に熱水変質が認められ、断層面付近では灰色の粘土化帯が認められ、その下盤側には黄灰色の脱色帯が認められる。
- ・一部に明瞭かつシャープな断層面が認められるものの、東側の断層と比較した場合、破碎の程度は全体的に低い。



- ・泊層の砂質凝灰岩中に認められる断層。
- ・断層の走向傾斜は N39E, 40W であり、露頭上端と下端では明瞭かつシャープな断層面が認められるものの、露頭中央部では熱水変質による変質粘土が厚く分布しており、断層面は不明瞭である。

第4.3-19図(2) 出戸川沿いの断層露頭スケッチ図 (DW-2 露頭)



第4.3-20図 D-1 露頭全体の調査位置図  
 4-4-472